

江差町地域公共交通活性化協議会委員の退任報告

○委員の退任

- ・ 小路 政信 江差中央商店街協同組合 理事長

(江差町地域公共交通活性化協議会設置要綱第 3 条 (3) 利用者又は住民の代表)

※ 諸事情による会議欠席が続いていることから、委員本人より退任の申し出があったもの。

令和4年度第2回 江差町地域公共交通活性化協議会 資料

バス利用実態調査の乗降結果

作成：日本データサービス株式会社



1.	調査概要	2
2.	調査結果（概要）	3
1	利用者の動き	3
2	OD図	4
3	利用者数	19
3.	函館・江差線（610系統）	20
4.	江差・小砂子線（621系統）	30
5.	江差・小砂子線（622系統）	38
6.	桧山海岸線（624系統）	44
7.	江差・木古内線（631系統）	54
8.	江差・木古内線（632系統）	64
9.	館線（643系統）	69
10.	館線（644系統）	74
11.	館線（661系統）	79
12.	稲見線（651線）	84

1. 調査概要



1 調査の目的

・町内を運行している各種公共交通の利用状況の把握に向け、各種公共交通の利用実態調査を実施

2 調査実施日

・令和4年7月12日(火)

3 調査対象路線 (全利用者数：450人/日)

路線	起点	→	終点	便数	利用者数	学生追加
函館・江差線 610系統	江差ターミナル	→	函館バスセンター	5	201	3
	函館バスセンター	→	江差ターミナル	5		
江差・小砂子線 621系統	江差ターミナル	→	原口漁港前	3	14	0
	原口漁港前	→	江差ターミナル	3		
江差・小砂子線 622系統	江差ターミナル	→	小砂子	1	9	0
	小砂子	→	江差ターミナル	2		
桧山海岸線 624系統	江差ターミナル	→	熊石	6	132	40
	熊石	→	江差ターミナル	6		
江差・木古内線 631系統、632系統	江差病院前/江差高校前	→	木古内駅前	6	72	18
	木古内駅前	→	江差病院前/江差高校前	6		
館線 641～644系統	江差ターミナル	→	富里	2	7	2
	富里	→	江差ターミナル	2		
館線 661系統、662系統	江差ターミナル	→	東部館	2	13	0
	東部館	→	江差ターミナル	2		
稲見線 651～653系統	江差ターミナル	→	稲見	2	2	5
	稲見	→	江差ターミナル	2		
木間内線 663系統	上木間内	→	江差ターミナル	1	0	5

4 調査方法

・調査員の全便乗り込み調査
 ※利用者数は、カウント調査
 ※利用実態は、右図のビンゴ式アンケート調査

※「学生追加」欄は、学生を対象としたアンケート調査結果に基づき、乗車するであろう人数を記載

5 調査票

バス乗降調査にご協力をお願いいたします

【調査実施主体】：江差町まちづくり推進課まちづくり推進係 担当者：滝口
 【調査実施機関】：日本データサービス㈱ 計画調査部 担当者：斉藤、中野

各質問について、該当箇所を指で折り込み、降車の際に調査員へお渡しください。

問1 利用目的

① 買い物 ② 通院 ③ 塾・その他 ④ 通勤 ⑤ 通学 ⑥ 業務 ⑦ 観光 ⑧ 帰宅

問2 職業

① 会社員 ② 自営業 ③ パート/アルバイト ④ 小学生/中学生 ⑤ 高校生 ⑥ 専門学校/大学など ⑦ 主婦/主夫 ⑧ その他

問3 このバスに乗車する前の交通手段

① 徒歩 ② 自転車 ③ 自動車(自ラ運転) ④ 自動車(送迎)

問4 このバスから降車した後の交通手段

① 徒歩 ② 自転車 ③ 自動車(自ラ運転) ④ 自動車(送迎)

問5 このバスの利用頻度

① ほぼ毎日 ② 週に2回以上 ③ 週1回

問6 運賃の支払い方法

① 現金 ② 回数券 ③ 定期券 ④ ICカード ⑤ IC定期券

問7 乗車区間の運賃

① 高い ② ちょうど良い ③ 安い

問8 年齢

① 10代未満 ② 10代 ③ 20～50代 ④ 60～64歳 ⑤ 65～69歳 ⑥ 70～74歳 ⑦ 75歳以上

問9 性別

① 男性 ② 女性 ③ 回答しない

問10 免許の保有状況

① 持っている ② 持っていない ③ 返した

問11 自動車の保有状況

① 持っている ② 持っていない

ご協力ありがとうございました。降車の際に調査員へお渡しください。

【調査員記入欄】

時	分	発	路線・系統名																																										
乗車	No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40				
降車	No.	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80				
乗車	No.	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120				
降車	No.																																												

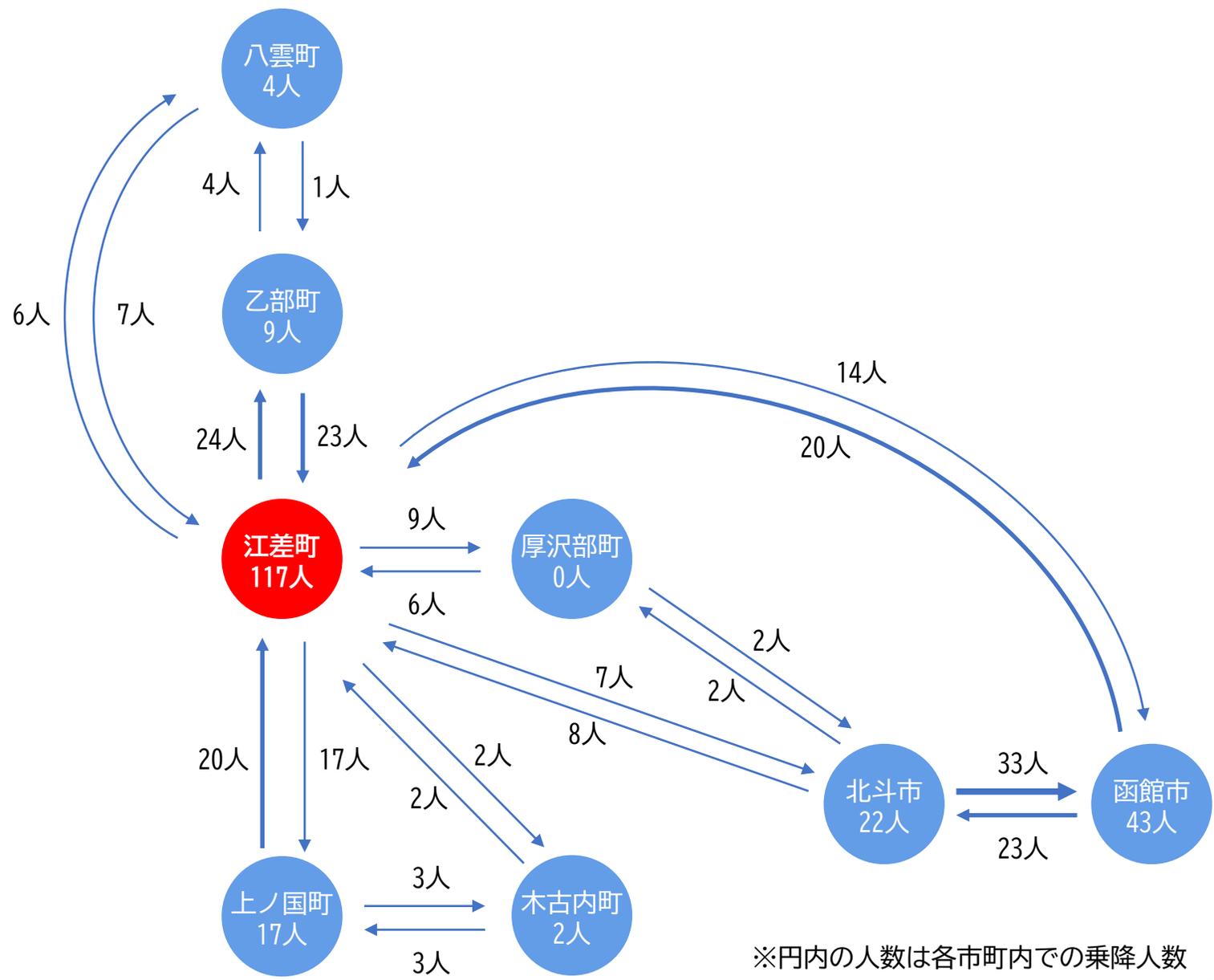


2. 調査結果 (概要)

1 利用者の動き

- 江差町を発着する人数
 - ・江差町内 117人
 - ・江差町→町外 79人
 - ・町外→江差町 86人
- 江差町を発地とする利用者の多い区間
 - ・江差町→乙部町 24人
 - ・江差町→上ノ国町 17人
 - ・江差町→函館市 14人
- 江差町を着地とする利用者の多い区間
 - ・乙部町→江差町 23人
 - ・函館市→江差町 20人
 - ・上ノ国町→江差町 20人
- 江差町を発着地とする利用者の多い区間
 - ・江差町～乙部町 47人
 - ・江差町～上ノ国町 37人
 - ・江差町～函館市 34人

【注意】
本資料の利用者数はバス路線ごとの調査を集計したものであり、乗り継ぎなどによる最終的な目的地を把握するものではない。



※円内の人数は各市町内での乗降人数



2. 調査結果（概要）

2 OD図（図化は近隣自治体間の動きのみ）

2-1 函館・江差線（610系統）

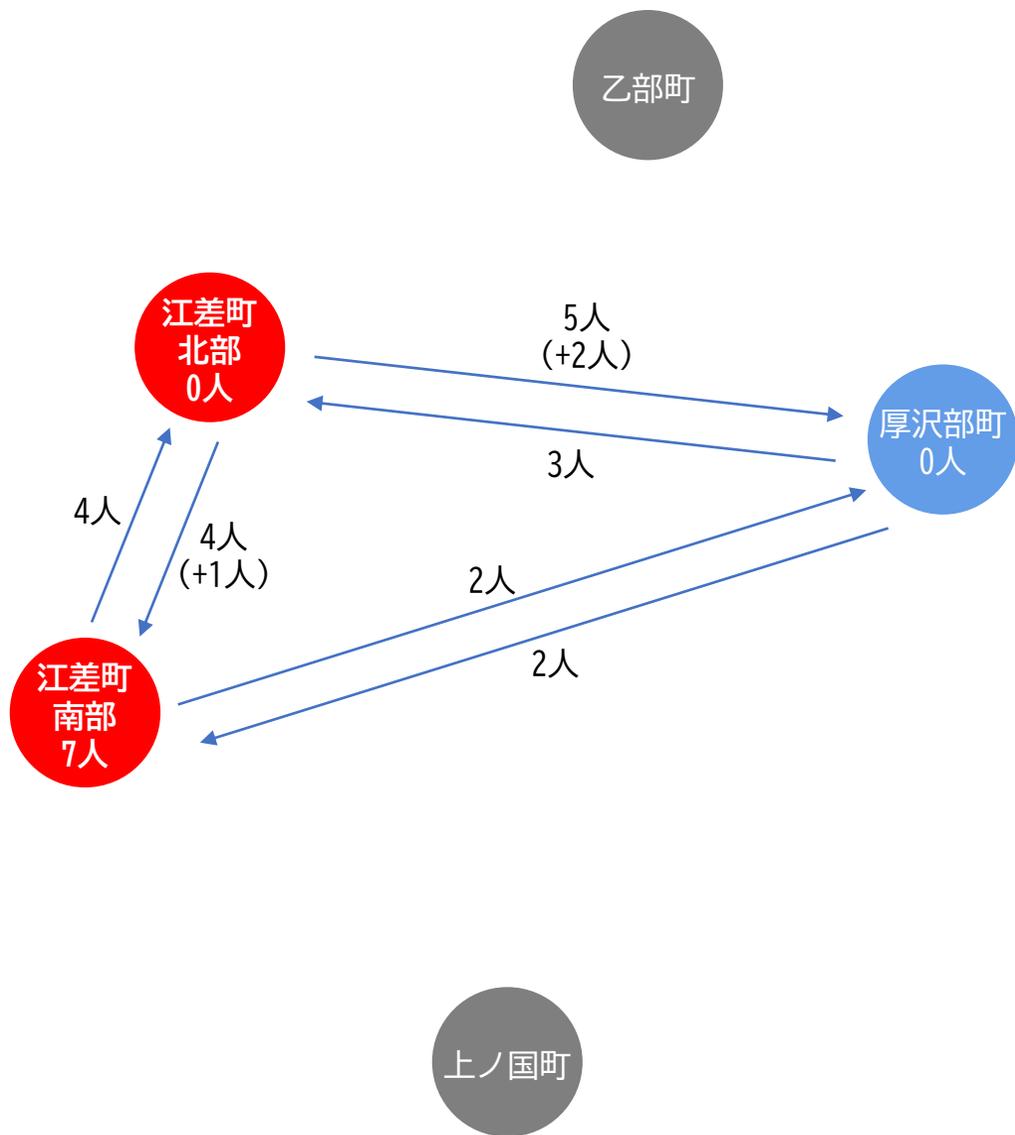


表 北斗市・函館市までの移動状況

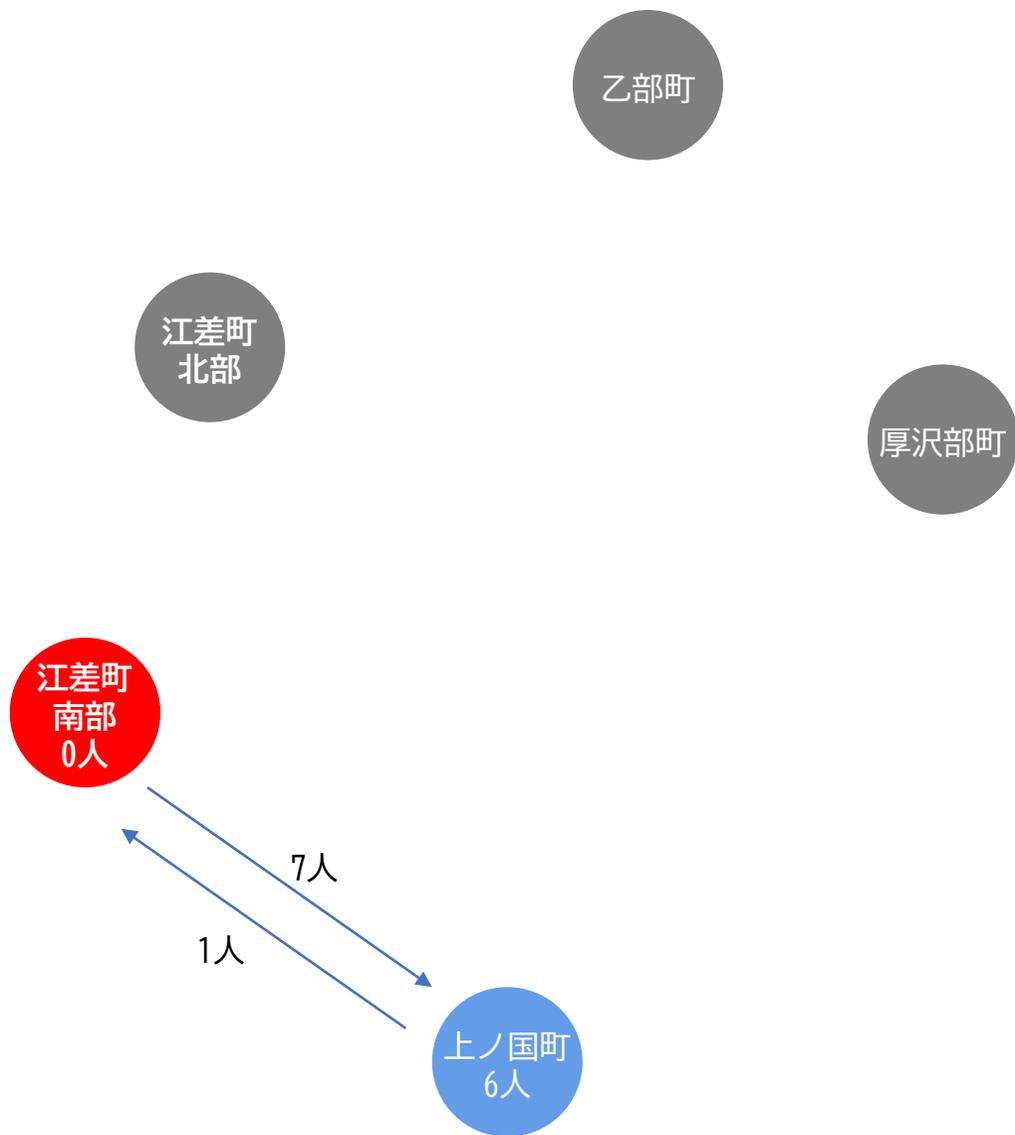
乗車	降車	利用者数
江差町南部	北斗市	6人
〃	函館市	9人
江差町北部	北斗市	1人
〃	函館市	5人
厚沢部町	北斗市	2人
〃	函館市	0人
北斗市	北斗市	22人
〃	函館市	33人
〃	江差町南部	8人
〃	江差町北部	0人
〃	厚沢部町	2人
函館市	北斗市	23人
〃	函館市	43人
〃	江差町南部	13人
〃	江差町北部	7人
〃	厚沢部町	0人



2. 調査結果（概要）

2 OD図（図化は近隣自治体間の動きのみ）

2-2 江差・小砂子線（621系統）

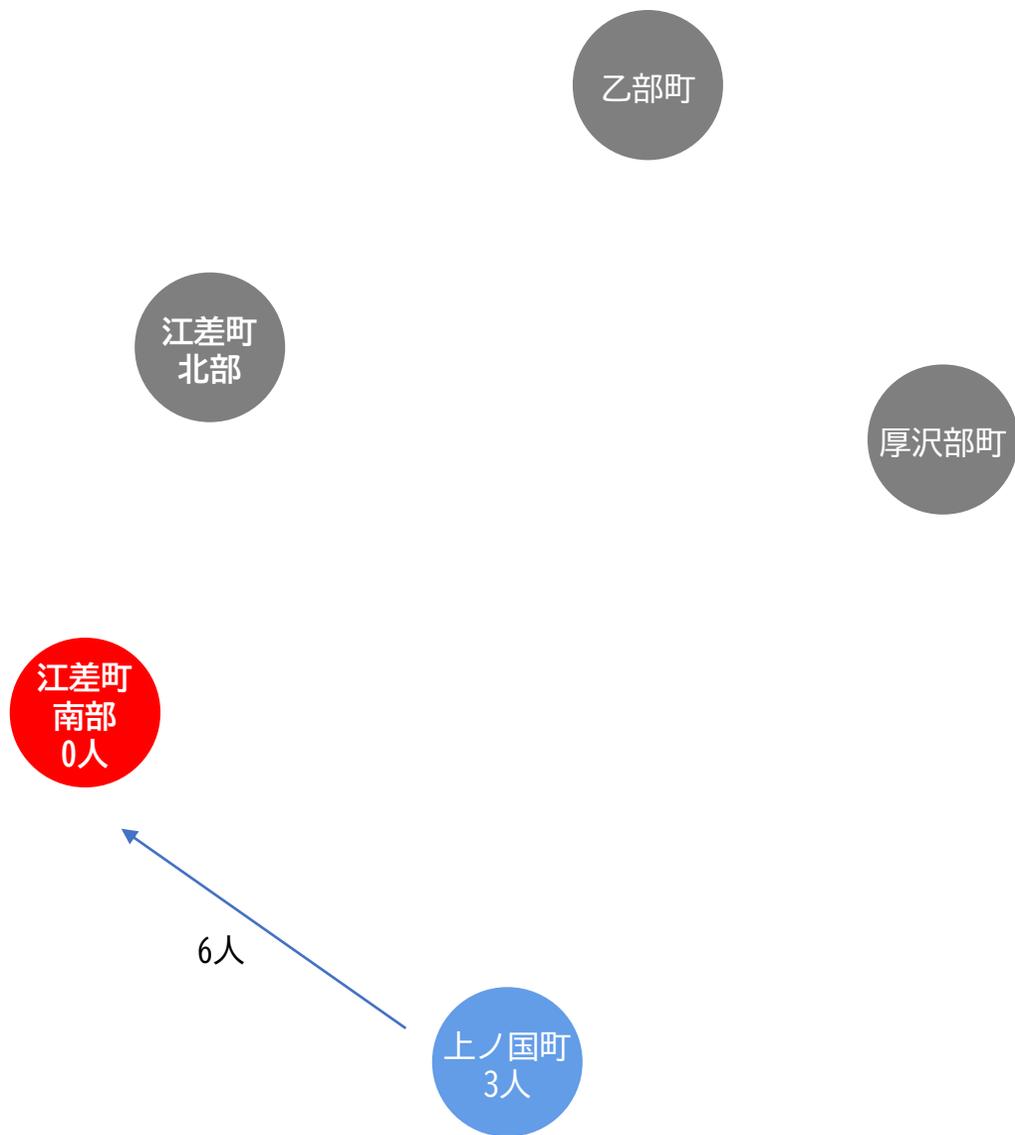




2. 調査結果（概要）

2 OD図（図化は近隣自治体間の動きのみ）

2-3 江差・小砂子線（622系統）



2. 調査結果（概要）



2 OD図（図化は近隣自治体間の動きのみ）

2-4 桧山海岸線（624系統）

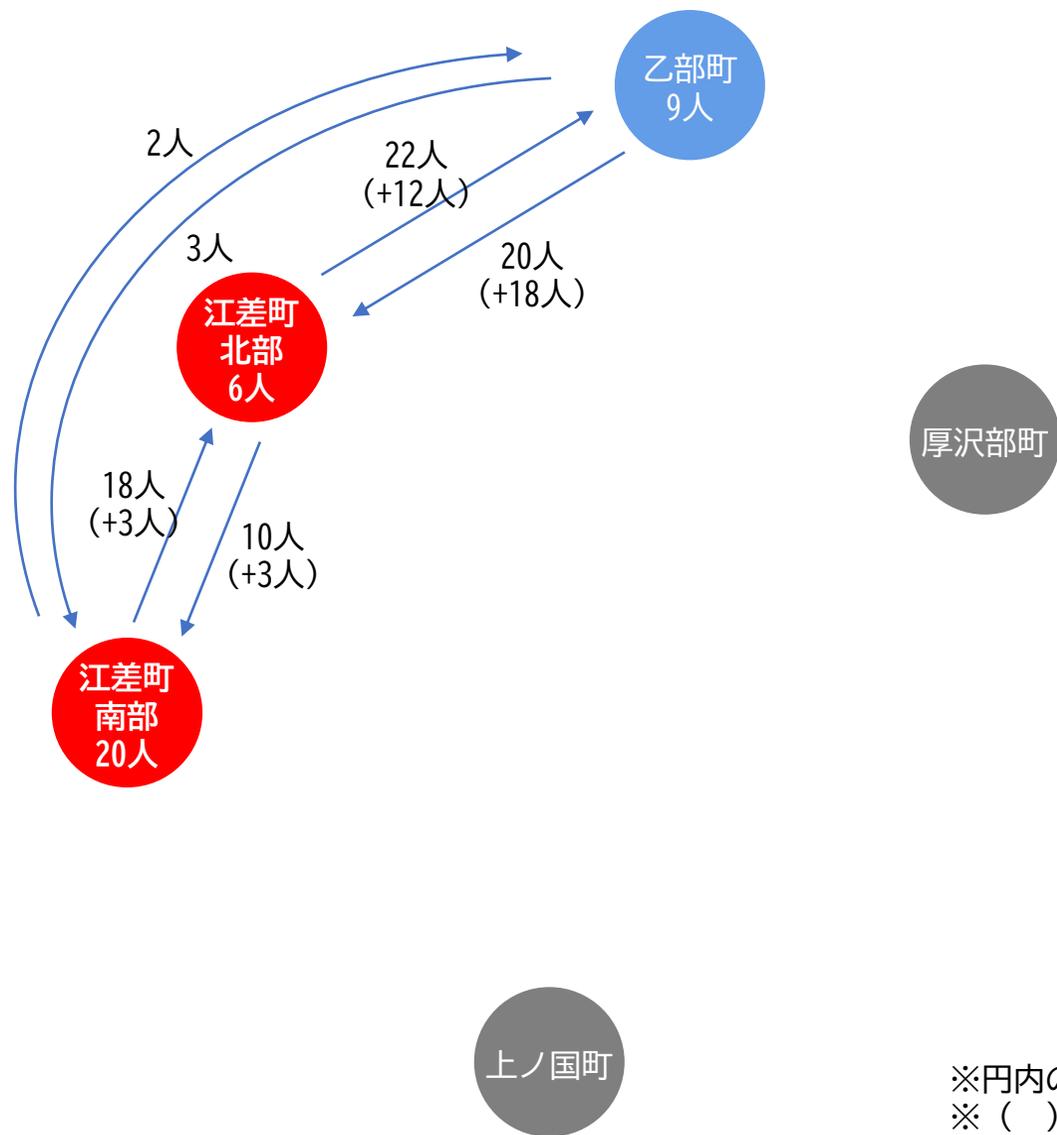


表 八雲町までの移動状況

乗車	降車	利用者数
江差町南部	八雲町	0人
江差町北部	八雲町	6人 (+3人)
乙部町	八雲町	4人
八雲町	八雲町	4人
〃	江差町北部	4人 (+1人)
〃	江差町南部	3人
〃	乙部町	1人

※円内の人数は各市町内での乗降人数
 ※（ ）内は学生を対象としたアンケート調査結果に基づき、乗車するであろう人数を記載



2. 調査結果（概要）

2 OD図（図化は近隣自治体間の動きのみ）

2-5 江差・木古内線（631系統）

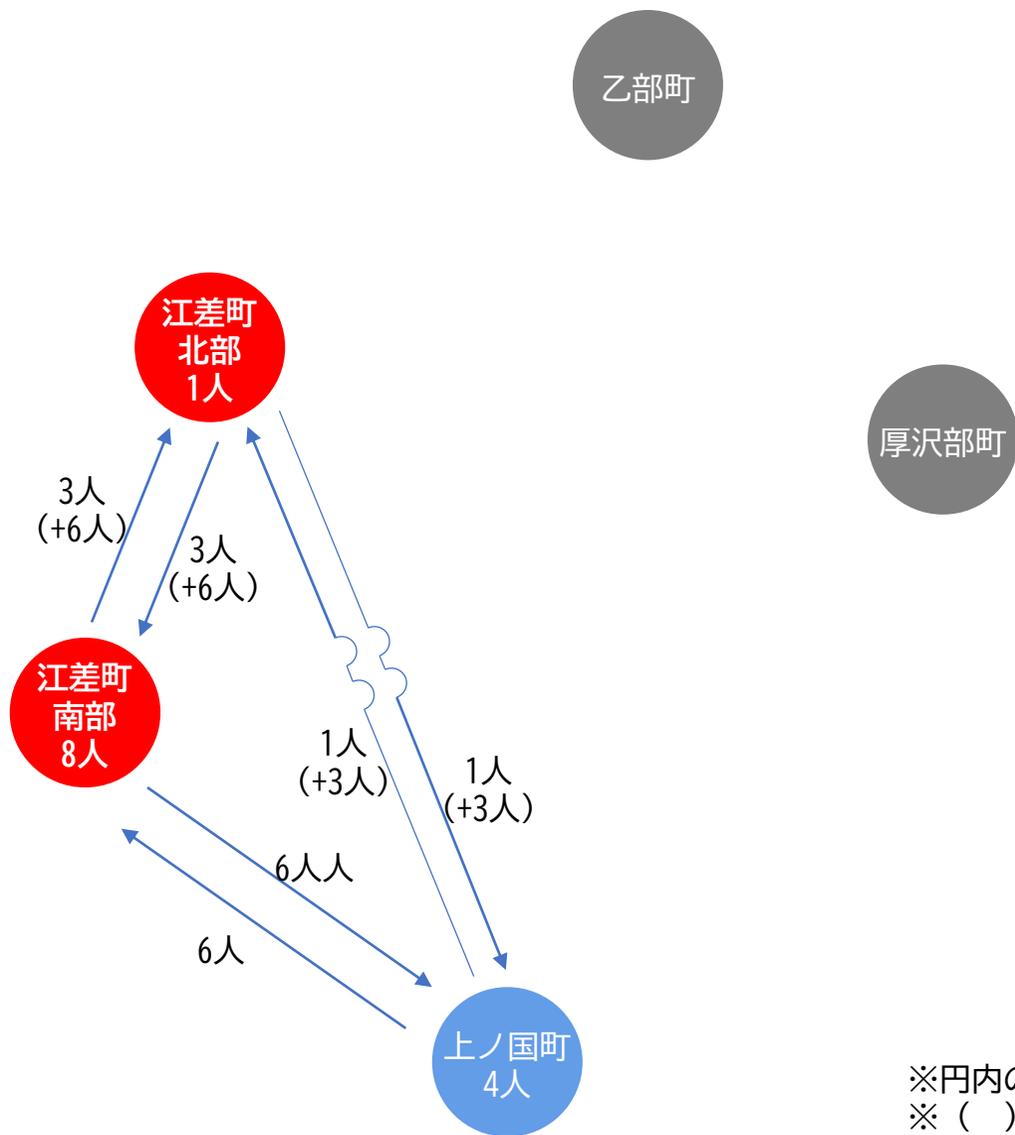


表 木古内町までの移動状況

乗車	降車	利用者数
江差町南部	木古内町	1人
江差町北部	木古内町	0人
上ノ国町	木古内町	2人
木古内町	木古内町	1人
〃	江差町北部	0人
〃	江差町南部	1人
〃	上ノ国町	2人

※円内の人数は各市町内での乗降人数
 ※（ ）内は学生を対象としたアンケート調査結果に基づき、乗車するであろう人数を記載



2. 調査結果（概要）

2 OD図（図化は近隣自治体間の動きのみ）

2-6 江差・木古内線（632系統）

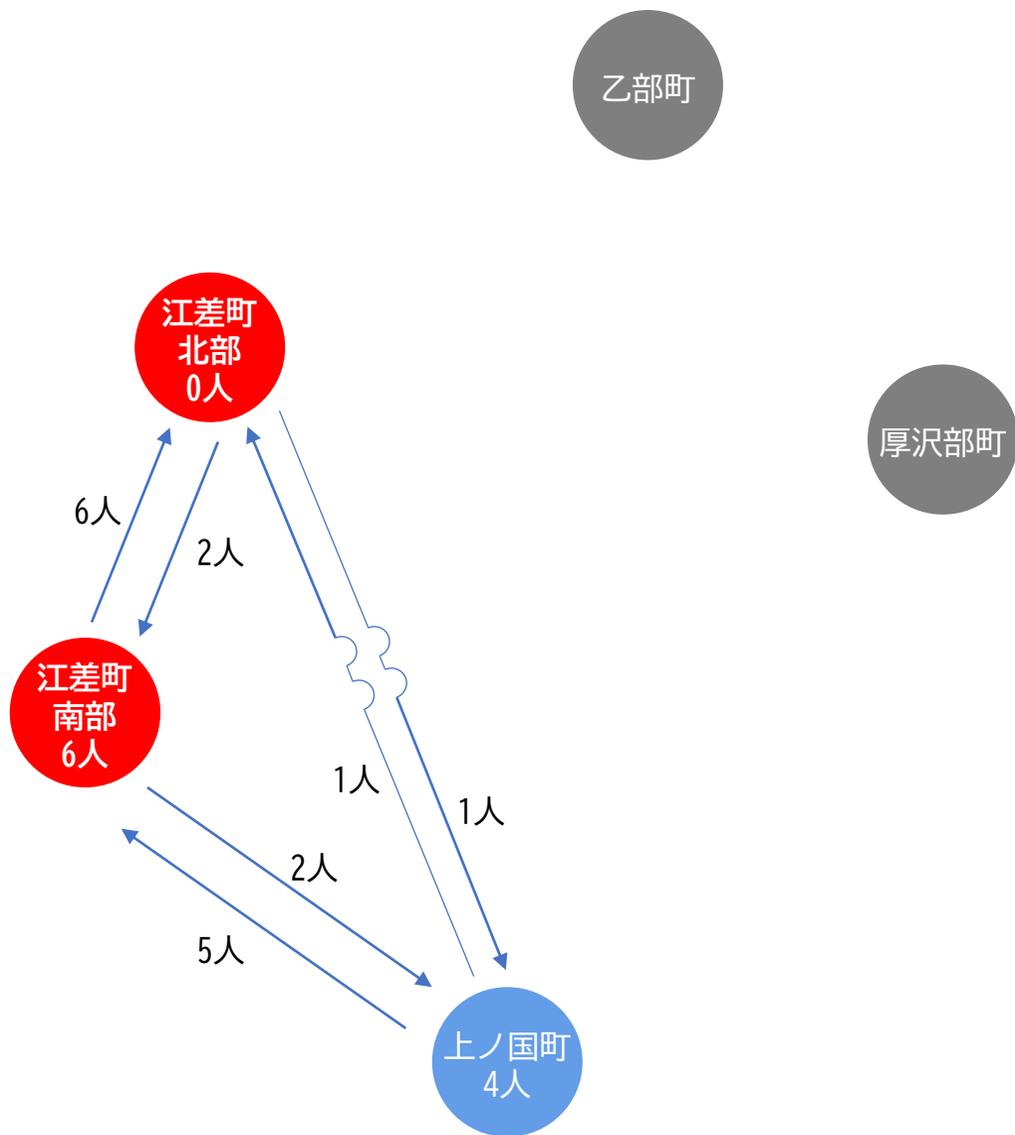


表 木古内町までの移動状況

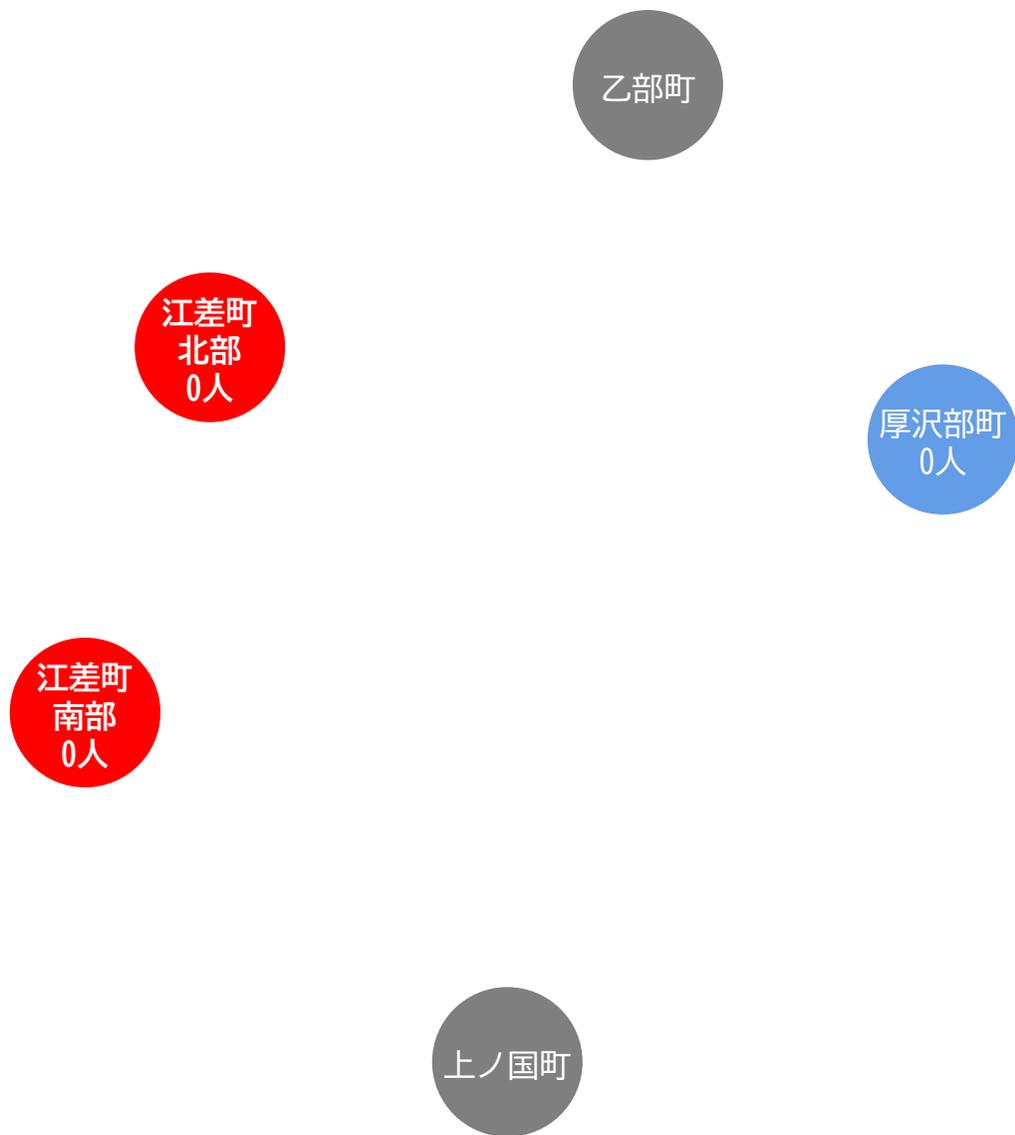
乗車	降車	利用者数
江差町南部	木古内町	1人
江差町北部	木古内町	0人
上ノ国町	木古内町	1人
木古内町	木古内町	1人
〃	江差町北部	0人
〃	江差町南部	1人
〃	上ノ国町	1人



2. 調査結果（概要）

2 OD図（図化は近隣自治体間の動きのみ）

2-7 館線（641系統）



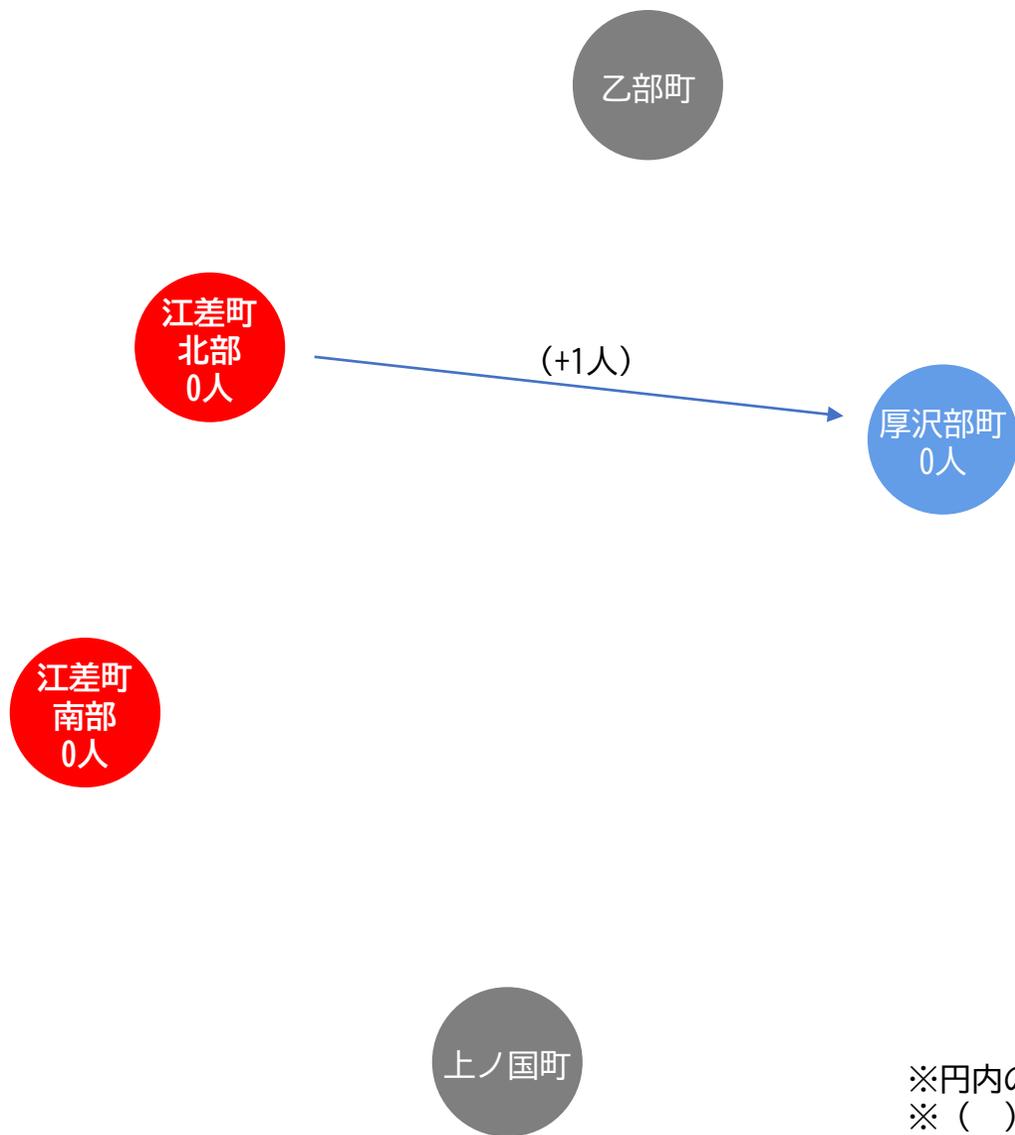
※円内の人数は各市町内での乗降人数 10



2. 調査結果（概要）

2 OD図（図化は近隣自治体間の動きのみ）

2-8 館線（642系統）



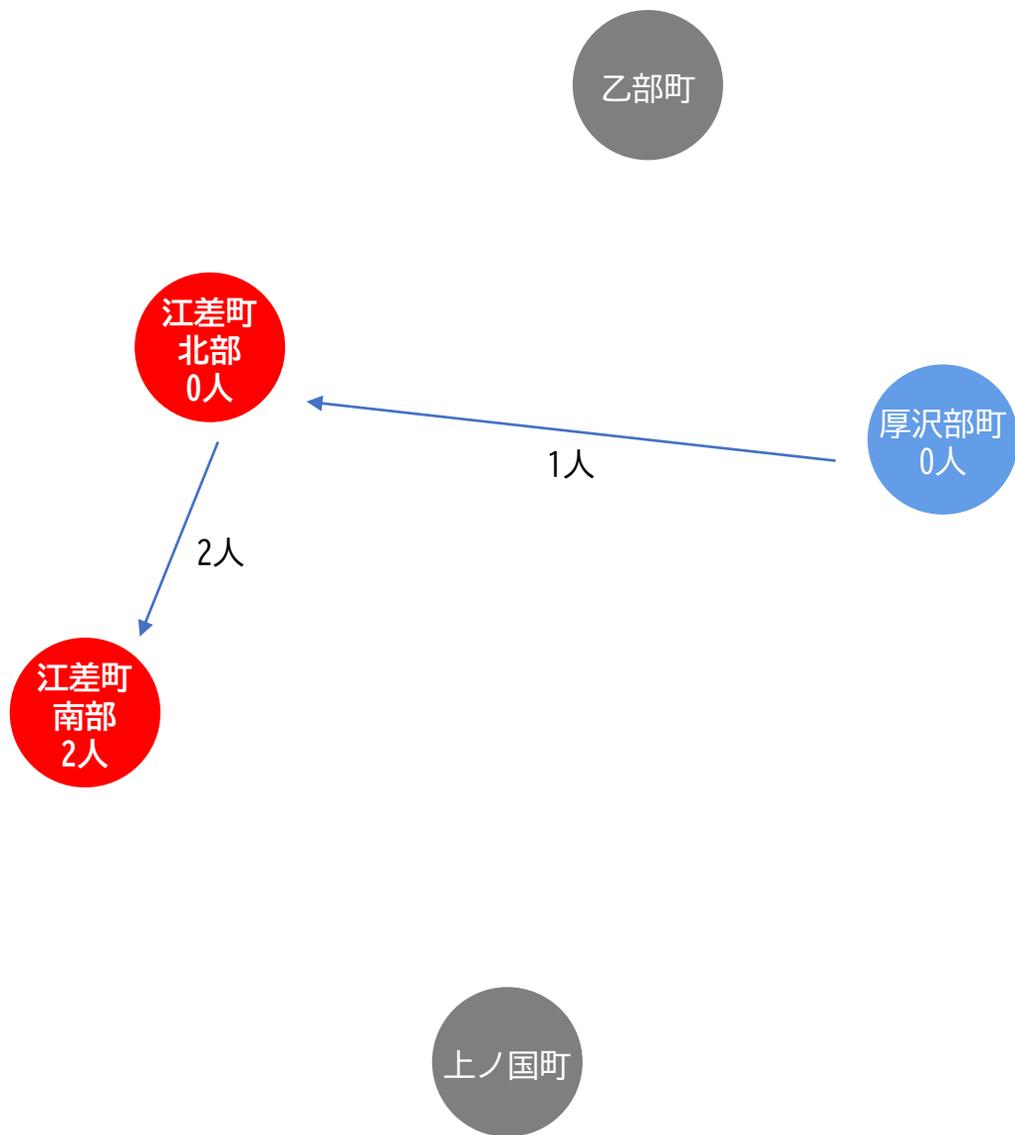
※円内の人数は各市町内での乗降人数
※（ ）内は学生を対象としたアンケート調査結果に基づき、乗車するであろう人数を記載



2. 調査結果（概要）

2 OD図（図化は近隣自治体間の動きのみ）

2-9 館線（643系統）

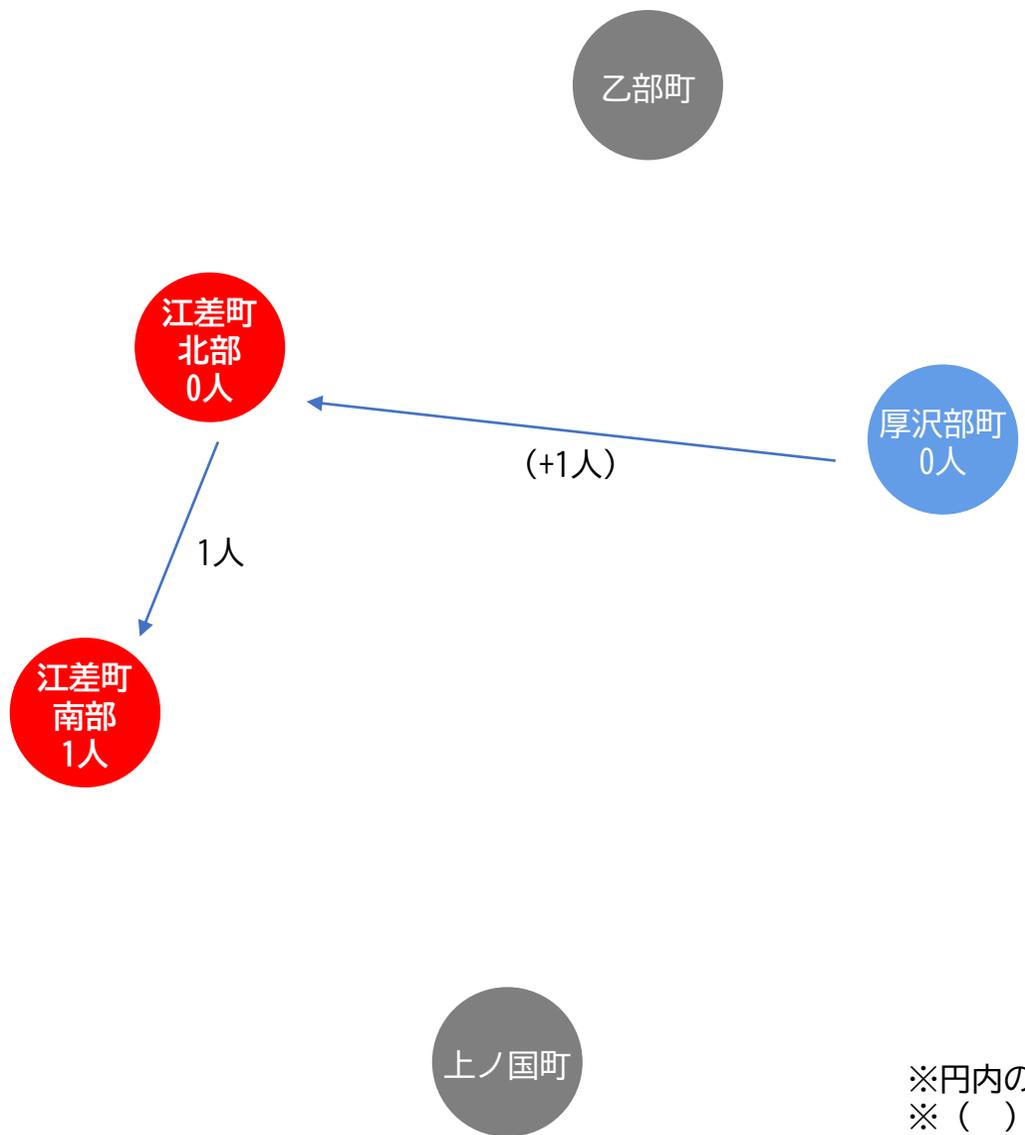




2. 調査結果（概要）

2 OD図（図化は近隣自治体間の動きのみ）

2-10 館線（644系統）



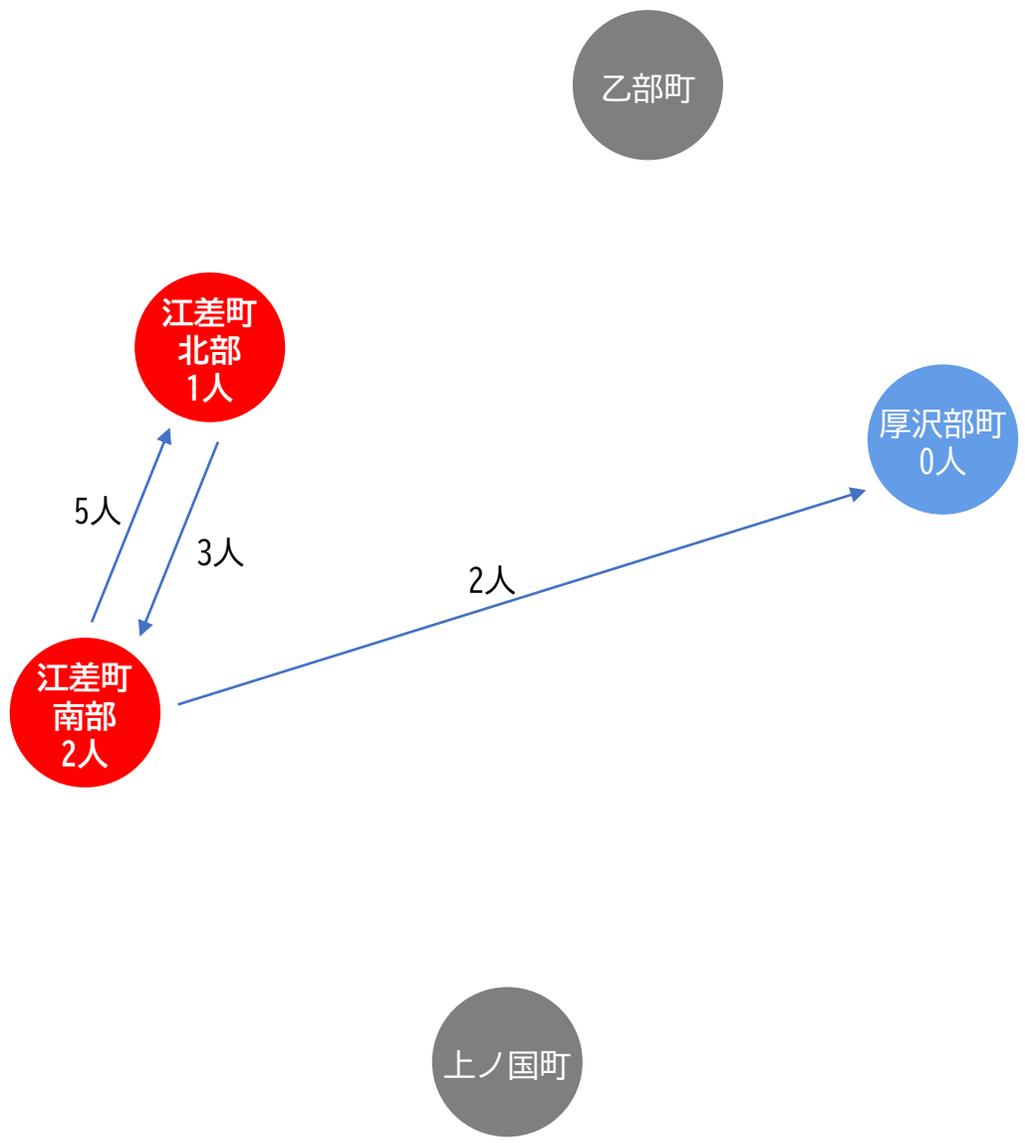
※円内の人数は各市町内での乗降人数
※（ ）内は学生を対象としたアンケート調査結果に基づき、乗車するであろう人数を記載



2. 調査結果（概要）

2 OD図（図化は近隣自治体間の動きのみ）

2-11 館線（661系統）

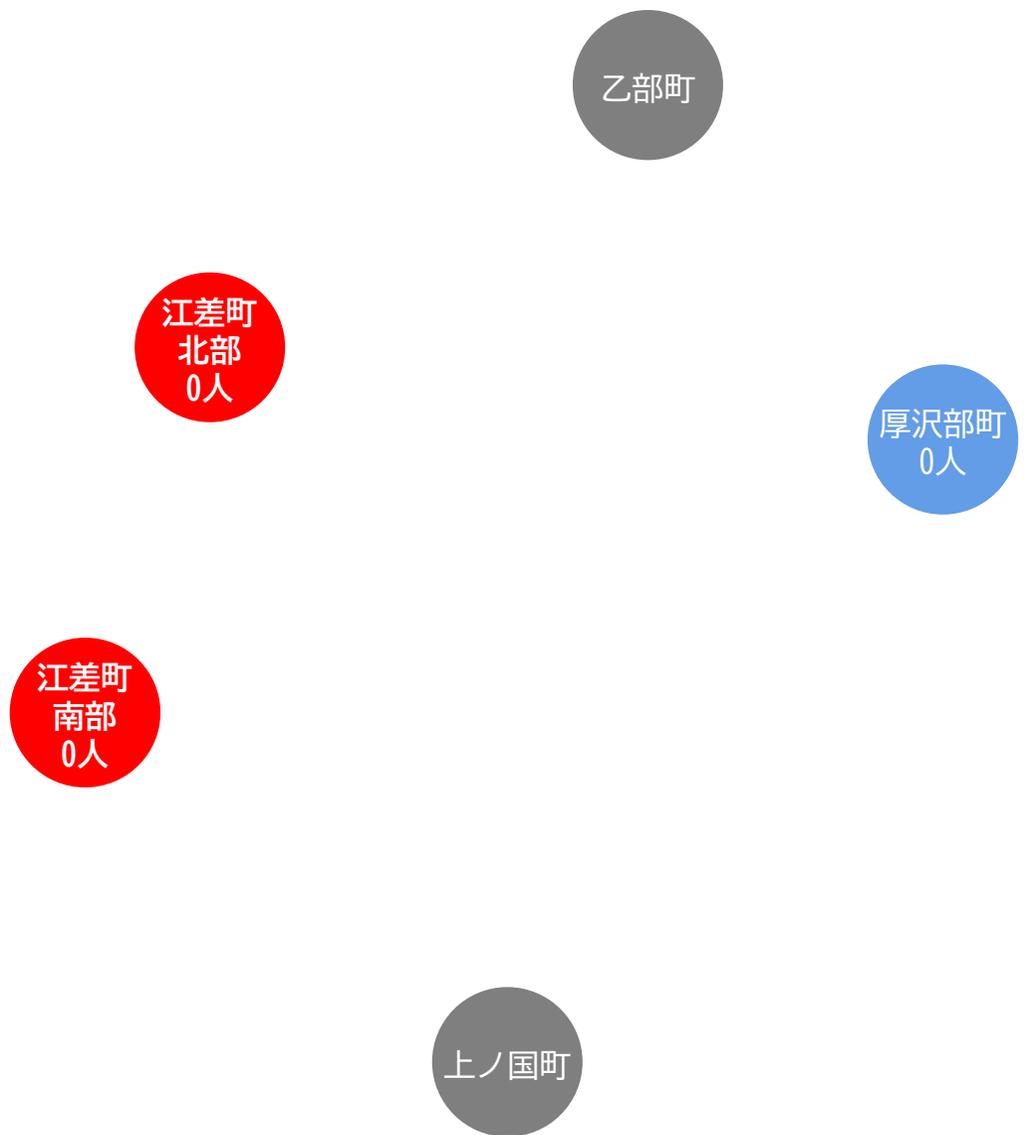




2. 調査結果（概要）

2 OD図（図化は近隣自治体間の動きのみ）

2-12 館線（662系統）

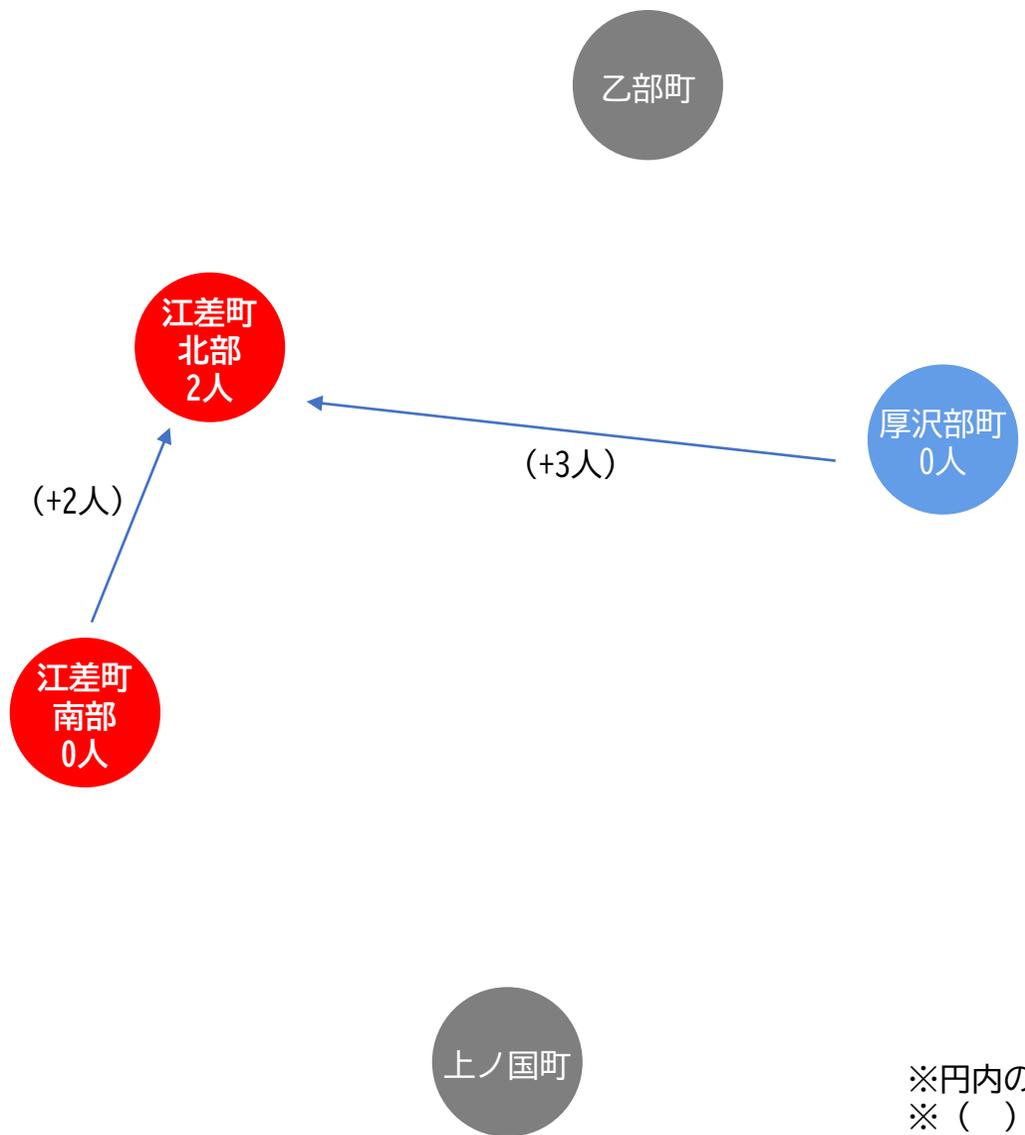




2. 調査結果（概要）

2 OD図（図化は近隣自治体間の動きのみ）

2-13 稲見線（651系統）



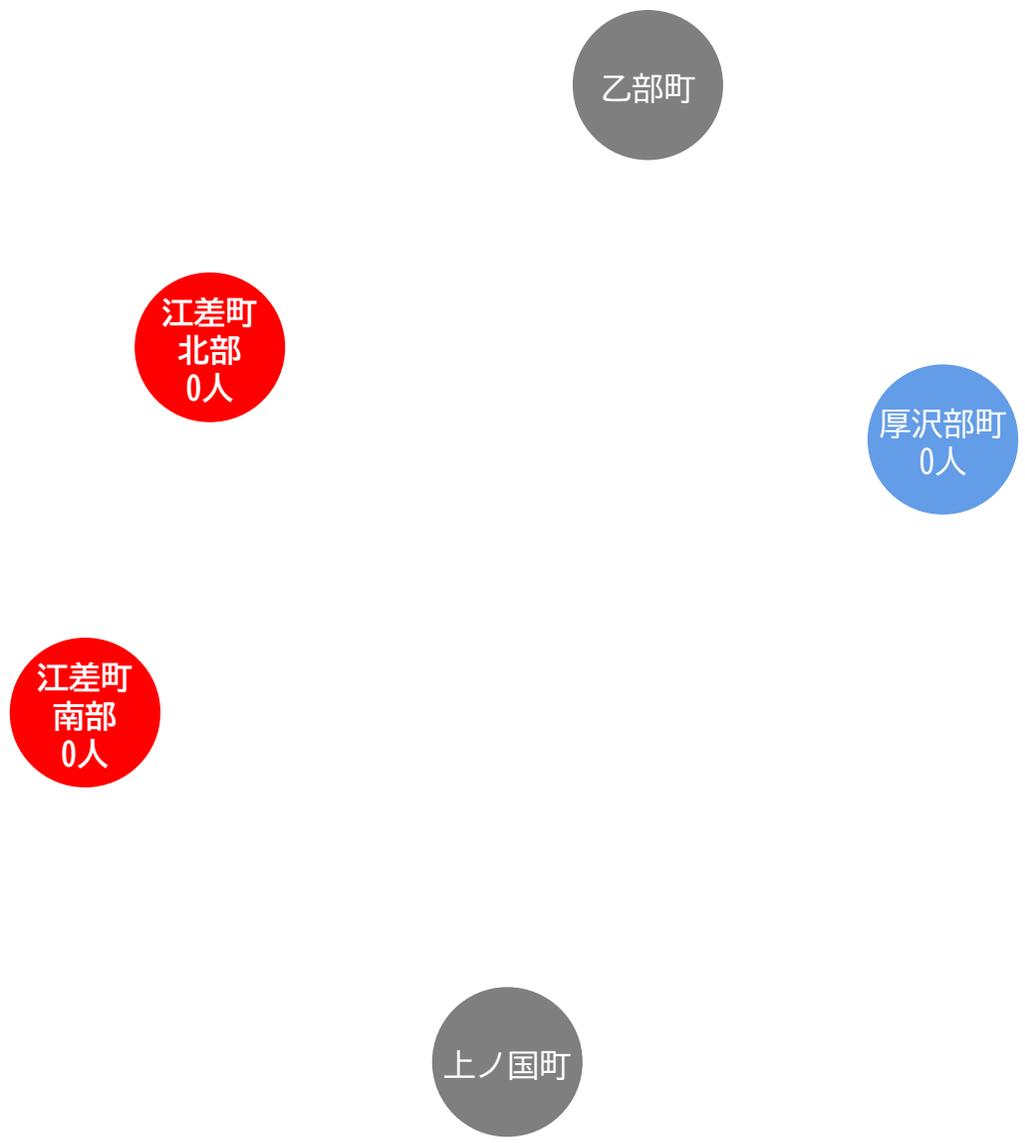
※円内の人数は各市町内での乗降人数
※（ ）内は学生を対象としたアンケート調査結果に基づき、乗車するであろう人数を記載



2. 調査結果（概要）

2 OD図（図化は近隣自治体間の動きのみ）

2-14 稲見線（652系統）

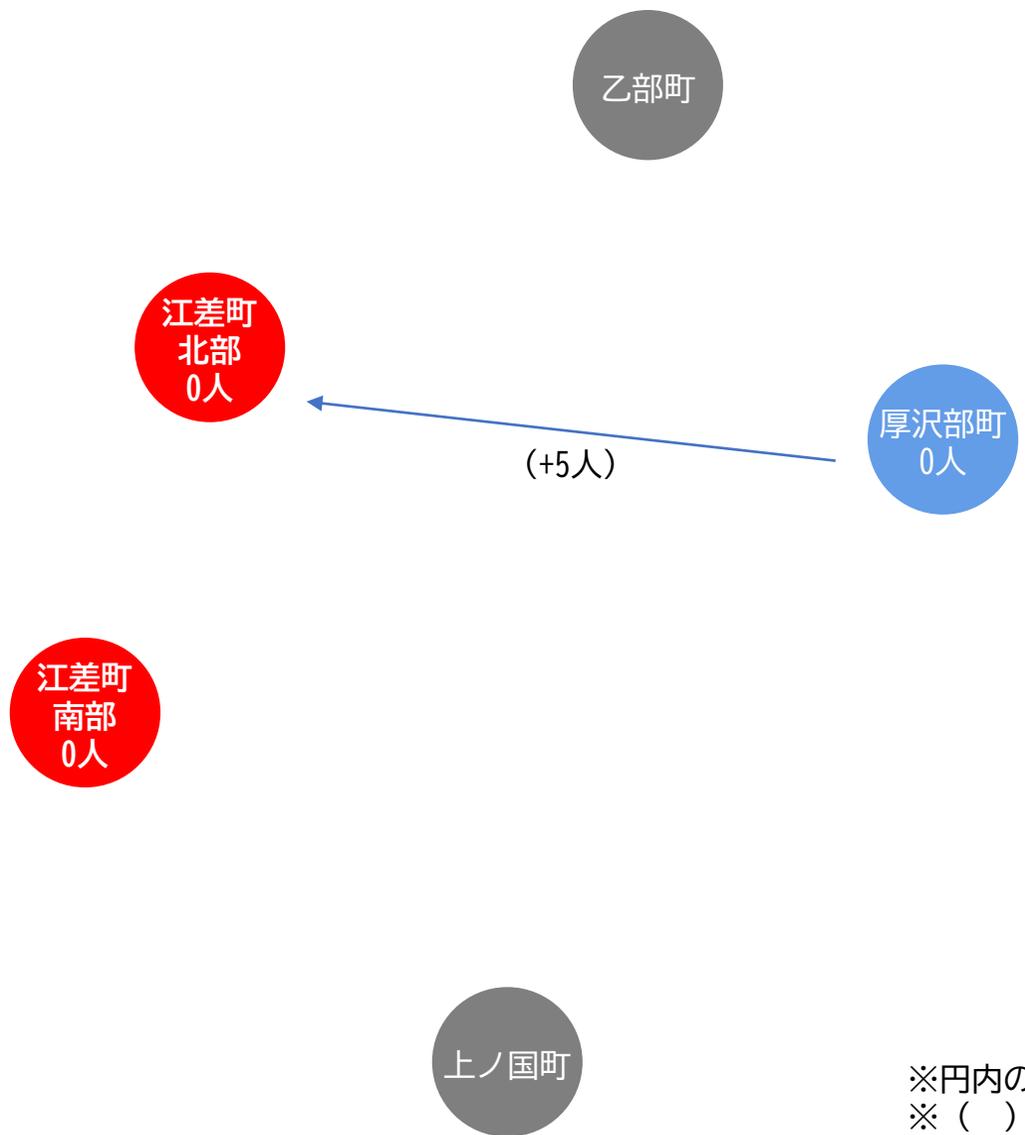




2. 調査結果（概要）

2 OD図（図化は近隣自治体間の動きのみ）

2-15 木間内線（663系統）



※円内の人数は各市町内での乗降人数
※（ ）内は学生を対象としたアンケート調査結果に基づき、乗車するであろう人数を記載



2. 調査結果 (概要)

3 利用者数

路線名	系統	起点→終点	便数 (便)	利用者数 (人)	1便当たり利用者数 (人/便)	最も利用者数の多い便		
						発時刻	発バス停	利用者数 (人)
函館・江差線	610	江差ターミナル → 函館バスセンター	5	102	20.4	05:50	江差ターミナル	28
		函館バスセンター → 江差ターミナル	5	99	19.8	06:44	函館バスセンター	30
江差・小砂子線	621	原口漁港前 → 江差ターミナル	3	3	1.0	11:46	原口漁港前	2
		江差ターミナル → 原口漁港前	3	11	3.7	10:27	江差ターミナル	7
	622	江差ターミナル → 小砂子	1	0	0.0	-	-	-
		小砂子 → 江差ターミナル	2	9	4.5	06:26	小砂子	5
桧山海岸線	624	熊石 → 江差ターミナル	6	65	10.8	09:05	熊石	32
		江差ターミナル → 熊石	6	67	11.2	12:00	江差ターミナル	22
江差・木古内線	631	江差高校前 → 木古内駅前	2	9	4.5	18:13	江差高校前	7
		江差病院前 → 木古内駅前	3	8	2.7	07:10、10:40	江差病院前	3
		木古内駅前 → 江差高校前	1	9	9.0	06:19	木古内駅前	9
		木古内駅前 → 江差病院前	4	14	3.5	15:05	木古内駅前	7
	632	江差高校前 → 木古内駅前	1	12	12.0	12:18	江差高校前	12
		木古内駅前 → 江差病院前	1	20	20.0	09:16	木古内駅前	20
館線	641	江差ターミナル → 富里	1	0	0.0	-	-	-
	642	江差ターミナル → 富里	1	0	0.0	-	-	-
	643	富里 → 江差ターミナル	1	5	5.0	16:46	富里	5
	644	富里 → 江差ターミナル	1	2	2.0	07:22	富里	2
	661	江差ターミナル → 東部館	1	9	9.0	11:53	江差ターミナル	9
		東部館 → 江差ターミナル	1	4	4.0	13:08	東部館	4
	662	江差ターミナル → 東部館	1	0	0.0	-	-	-
		東部館 → 江差ターミナル	1	0	0.0	-	-	-
稲見線	651	稲見 → 江差ターミナル	1	2	2.0	07:32	稲見	2
	652	稲見 → 江差ターミナル	1	0	0.0	-	-	-
		江差ターミナル → 稲見	1	0	0.0	-	-	-
	653	江差ターミナル → 稲見	1	0	0.0	-	-	-
木間内線	663	上木間内 → 江差ターミナル	1	0	0.0	-	-	-



3. 函館・江差線 (610系統)

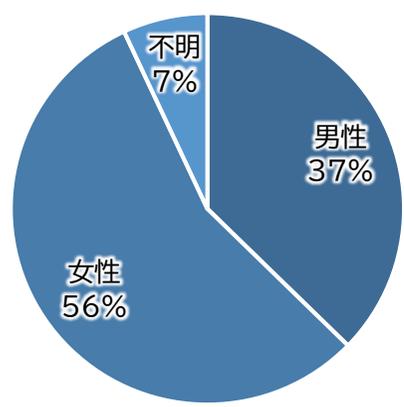
1 運行便数と利用者数

起点 → 終点	発時刻	着時刻	利用者数 (人)
江差ターミナル → 函館バスセンター	5時 50分	8時 28分	28
	7時 45分	10時 23分	26
	11時 0分	13時 38分	17
	15時 12分	17時 50分	25
	18時 46分	21時 24分	6
函館バスセンター → 江差ターミナル	6時 44分	9時 20分	30
	10時 0分	12時 36分	19
	13時 24分	16時 0分	18
	15時 0分	17時 36分	23
	18時 51分	21時 27分	9

2 利用者の属性 (利用者数 201人)

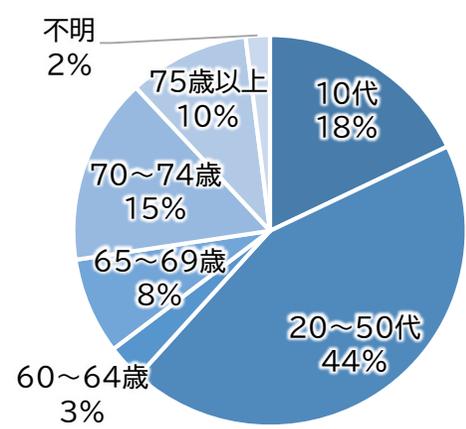
性別

女性が5割以上



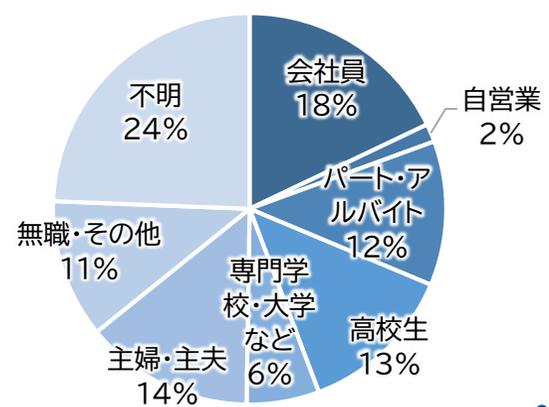
年齢

20～50代が4割以上



職業

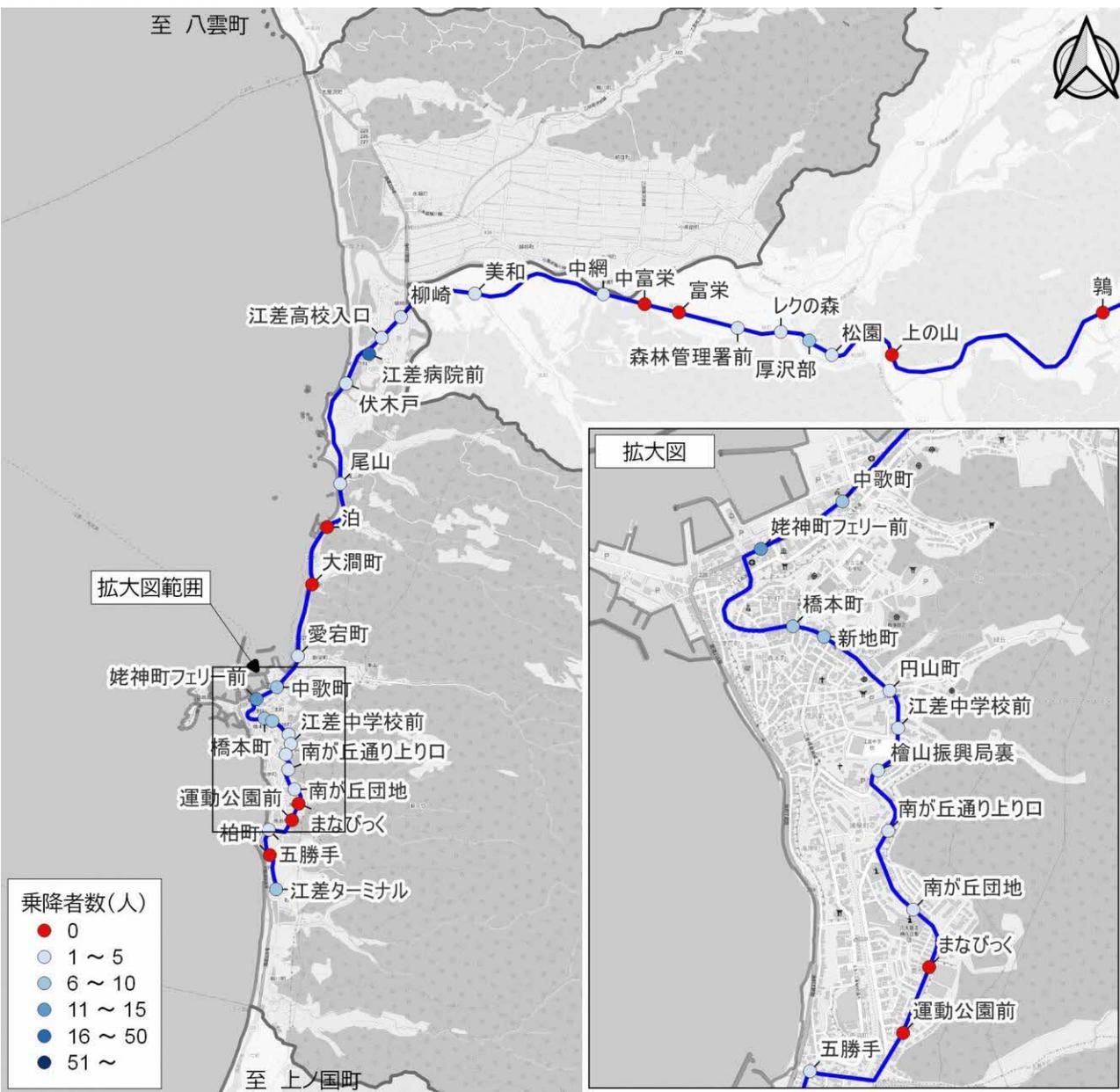
会社員、主婦・主夫、高校生の順が多い



3. 函館・江差線 (610系統)



3 バス停別乗降者数



「鶉」以東のバス停

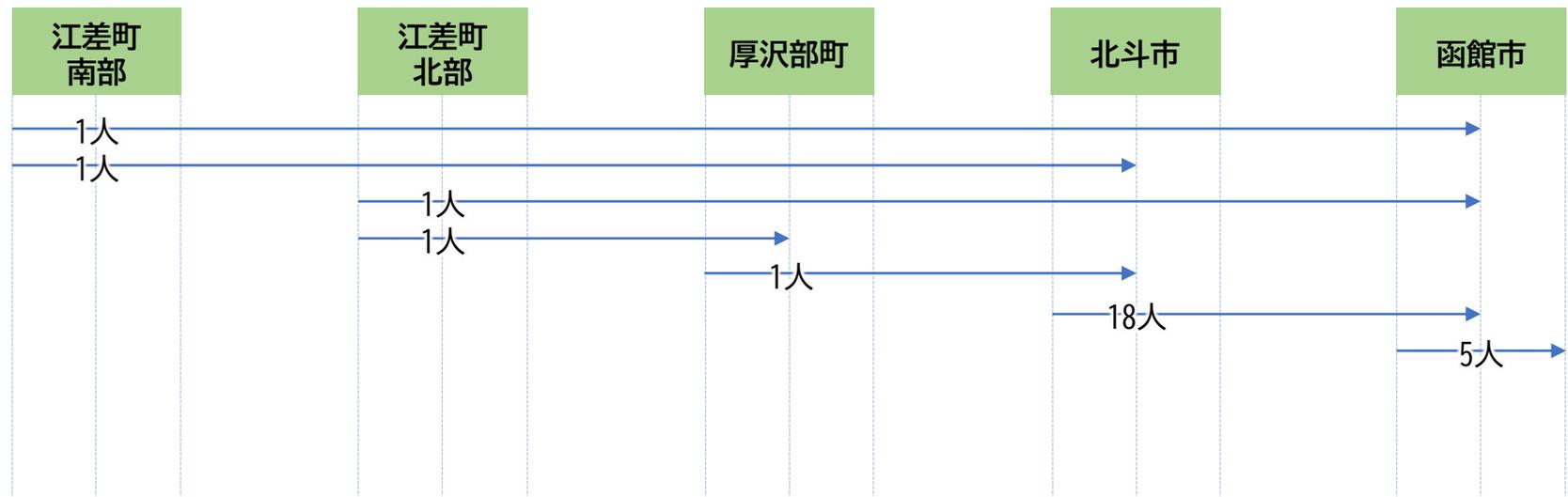
乗降者数	バス停	乗降者数	バス停
●	うずら神社前	●	秋野
●	うずら温泉入口	●	追分福祉センター
●	鶉農協前	●	追分グリーンヴィラ
●	鶉学校前	●	浜分小学校前
●	下木間内	●	七重浜5丁目
●	旭丘 (厚沢部)	●	七重浜駅通
●	木間内	●	桜ヶ丘団地前
●	上木間内	●	北大妻
●	村山	●	東港
●	石山	●	鶉小学校前
●	小川	●	市立函館病院 (2番のりば)
●	新函館北斗駅 (5番のりば)	●	港町1丁目
●	市渡北	●	亀田小学校前
●	市渡本町	●	変電所前
●	市渡	●	田家入口
●	鹿島神社前	●	警察署前 (警察署側)
●	本郷	●	五稜郭公園入口
●	大野小学校前	●	五稜郭 ((2)シエスタハコダテ前)
●	総合分庁舎前	●	五稜郭 ((5)丸井今井横)
●	新道	●	中央病院前
●	北斗消防署北分署	●	千代台
●	大野中学校前	●	堀川町
●	清水川	●	昭和橋
●	工業団地前	●	千歳町
●	開発	●	新川町
●	東前	●	松風町 ((3)成田山函館別院近く)
●	中央東前	●	函館駅前 (7番のりば)
●	しんわの湯	●	松風町・グループホームそよかぜ前
●	八軒家	●	函館バスセンター



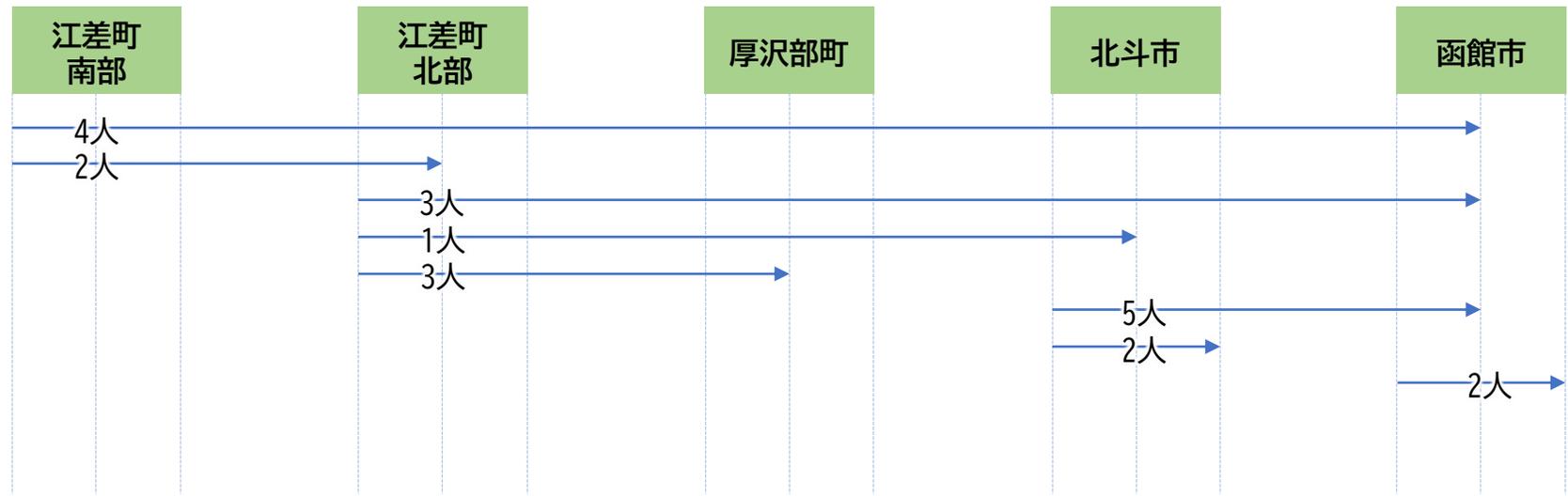
3. 函館・江差線 (610系統)

4 OD整理

4-1 江差ターミナル→函館バスセンター (6:44発)



4-2 江差ターミナル→函館バスセンター (10:00発)

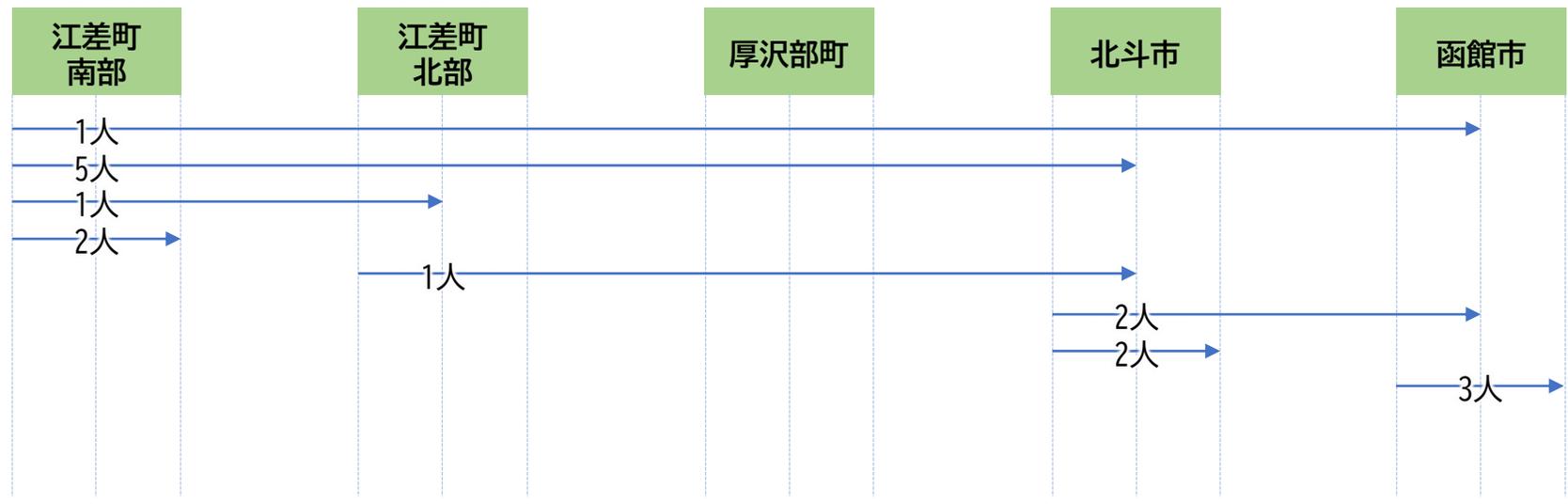




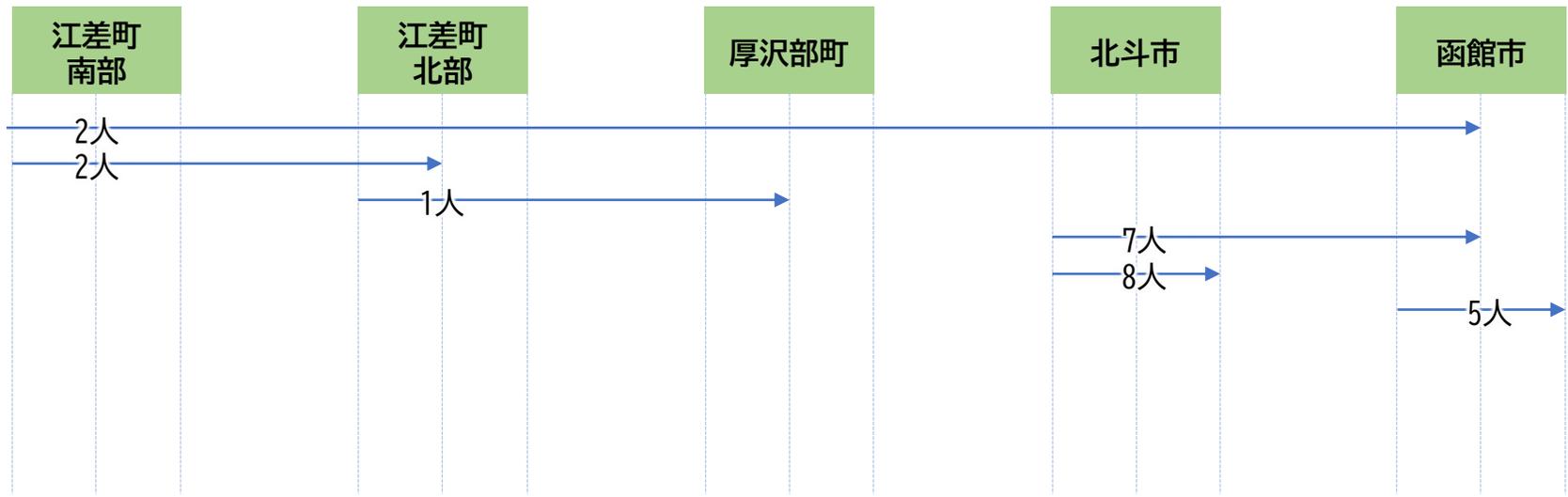
3. 函館・江差線 (610系統)

4 OD整理

4-3 江差ターミナル→函館バスセンター (13:24発)



4-4 江差ターミナル→函館バスセンター (15:00発)

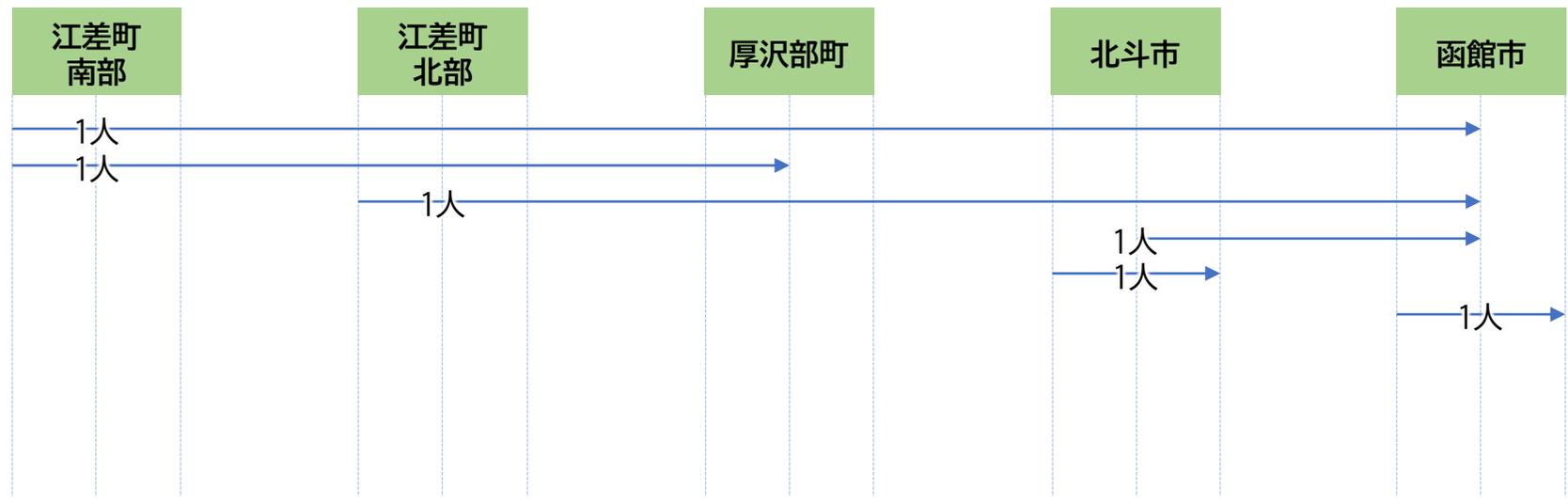




3. 函館・江差線 (610系統)

4 OD整理

4-5 江差ターミナル→函館バスセンター (18:51発)

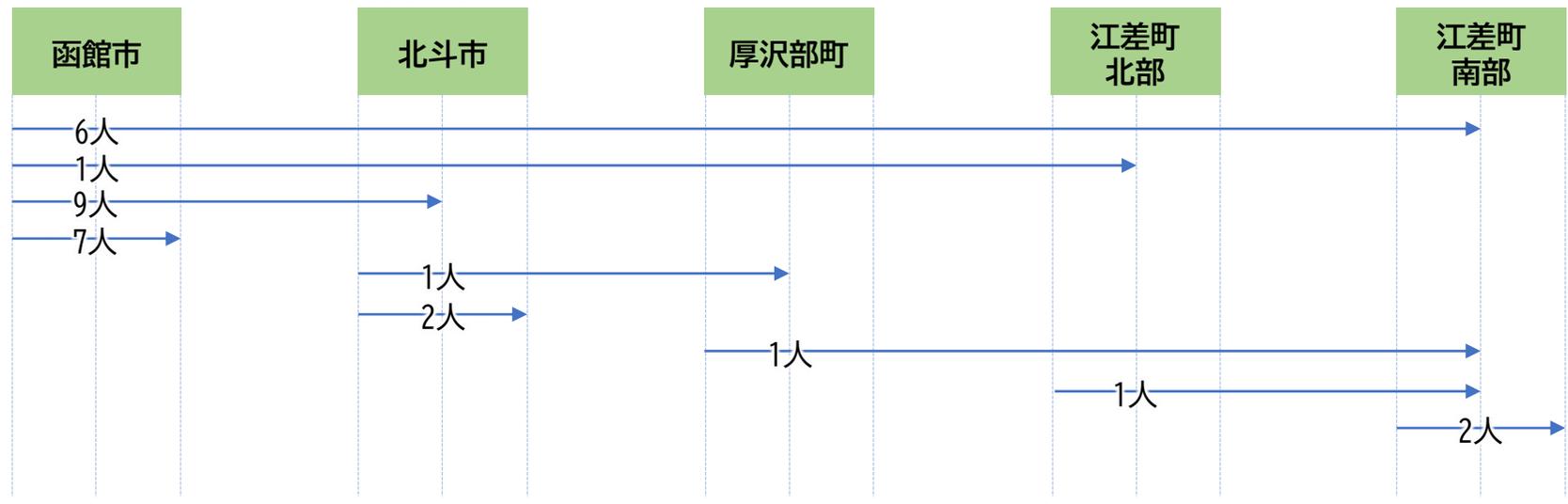




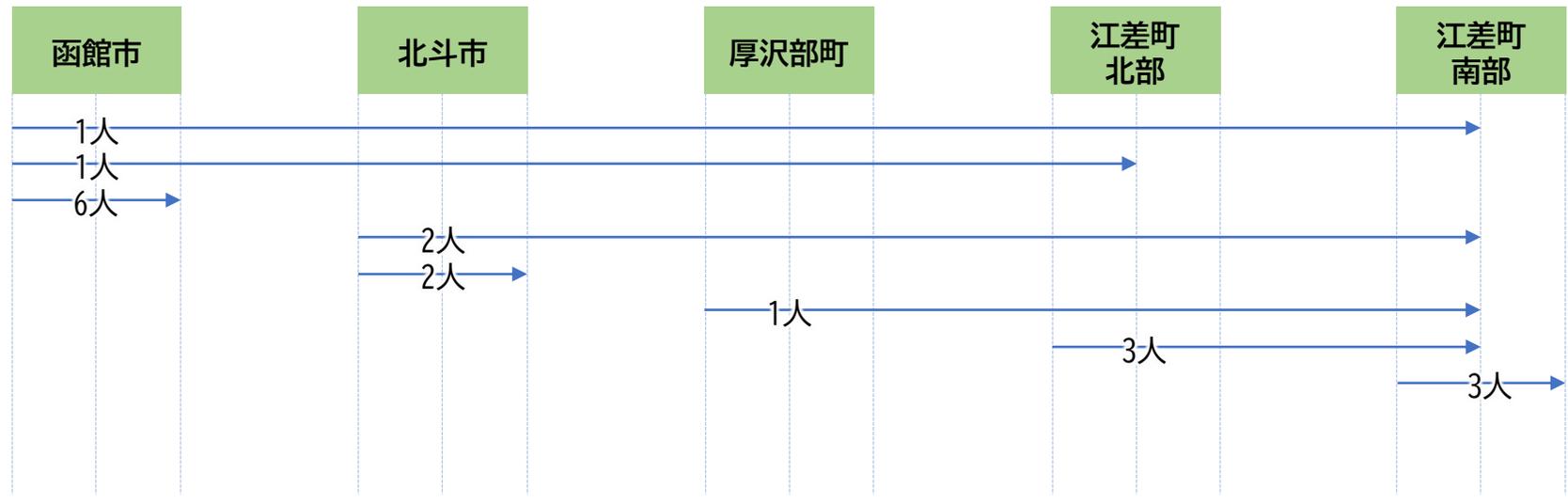
3. 函館・江差線 (610系統)

4 OD整理

4-6 函館バスセンター→江差ターミナル (5:50発)



4-7 函館バスセンター→江差ターミナル (7:45発)

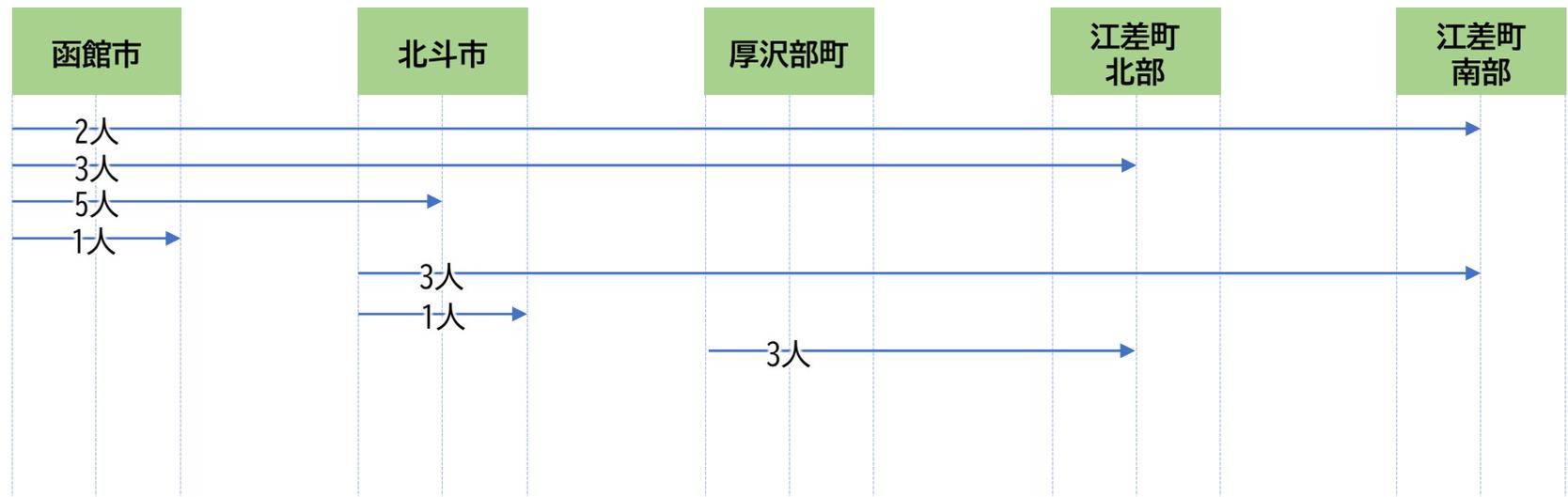




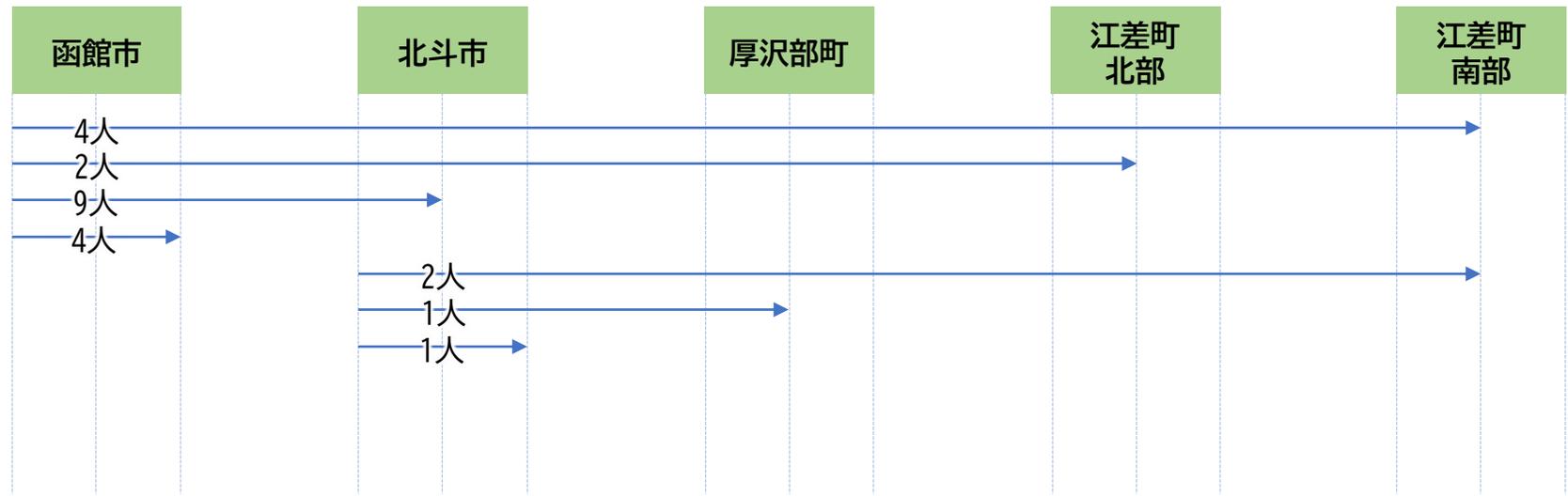
3. 函館・江差線 (610系統)

4 OD整理

4-8 函館バスセンター→江差ターミナル (11:00発)



4-9 函館バスセンター→江差ターミナル (15:12発)

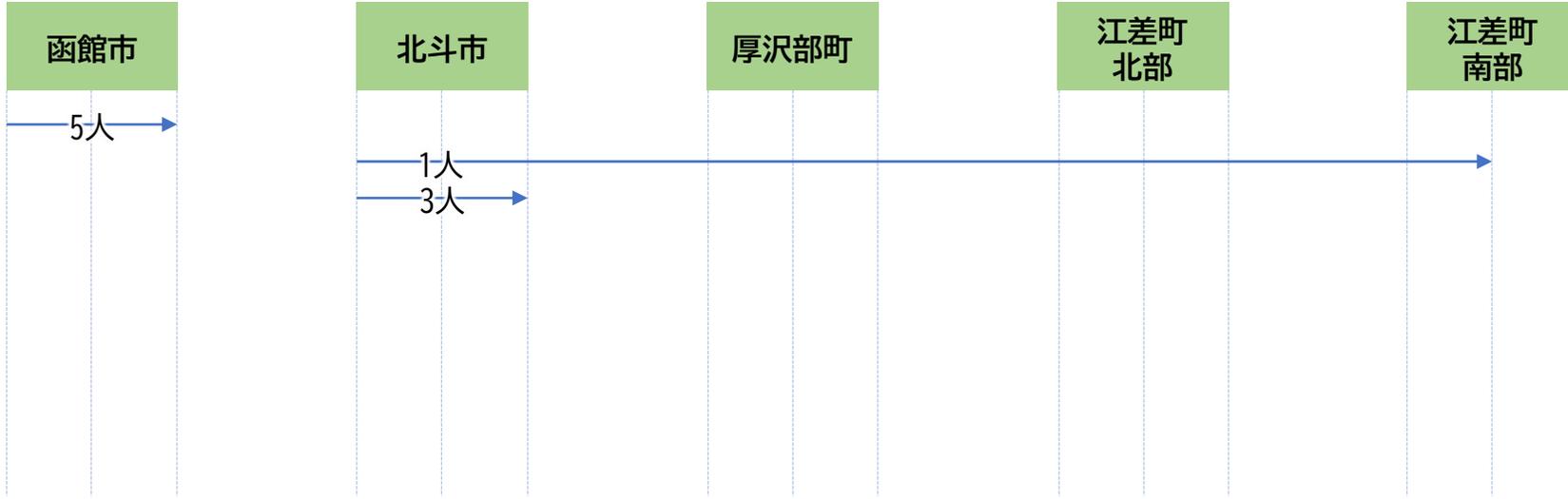




3. 函館・江差線 (610系統)

4 OD整理

4-11 函館バスセンター→江差ターミナル (18:46発)



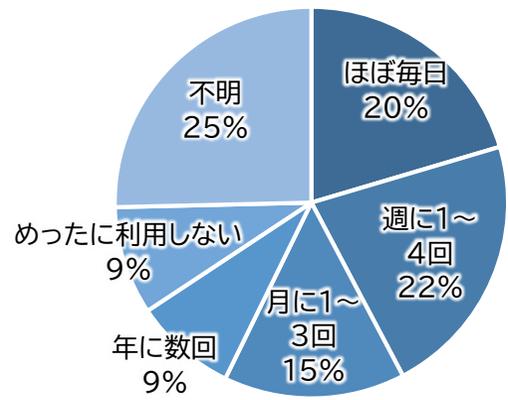


3. 函館・江差線 (610系統)

5 利用状況 (利用者数 201人)

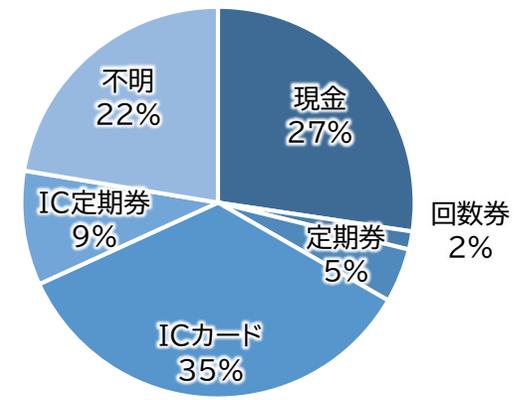
利用頻度

週に1回以上の利用が4割以上



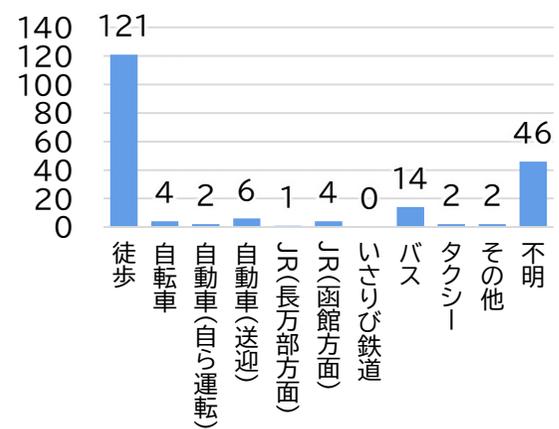
運賃の支払い方法

ICカードが3割以上



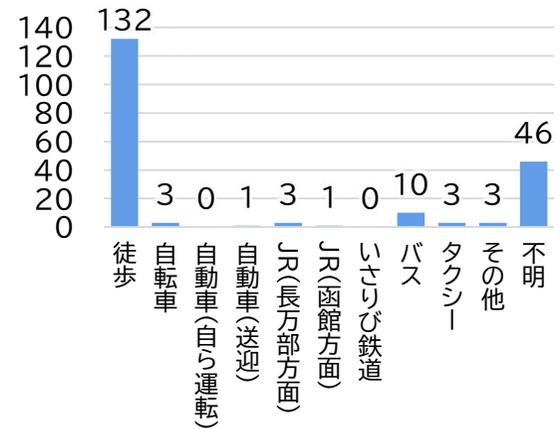
乗車前の交通手段

徒歩、バスの順が多い



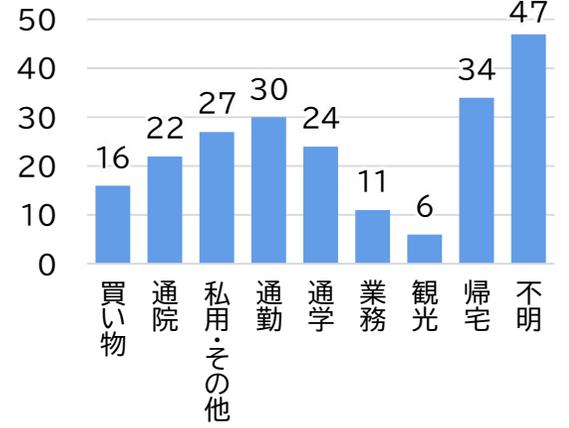
降車後の交通手段

徒歩、バスの順が多い



利用目的

帰宅以外では、通勤、私用・その他、通学の順が多い



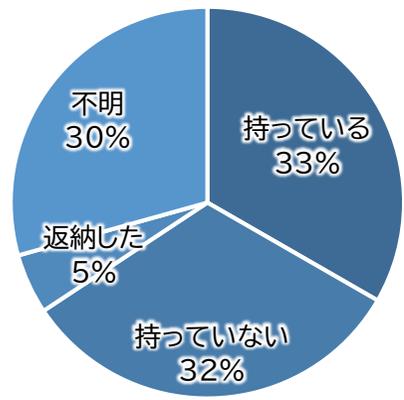


3. 函館・江差線 (610系統)

6 運転免許・自動車の保有状況 (利用者数 201人)

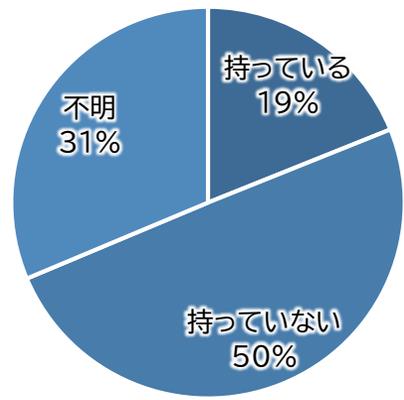
運転免許の保有

保有、保有していないが共に3割



自動車の保有

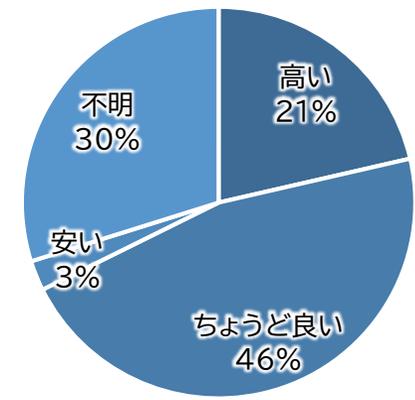
半数が保有していない



7 運賃 (利用者数 201人)

乗車区間の運賃

ちょうど良いが4割以上





4. 江差・小砂子線（621系統）

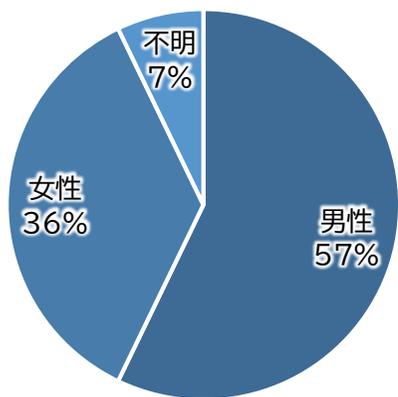
1 運行便数と利用者数

起点 → 終点	発時刻	着時刻	利用者数 (人)
江差ターミナル → 原口漁港前	10時 27分	11時 36分	7
	13時 17分	14時 26分	4
	16時 8分	17時 17分	0
原口漁港前 → 江差ターミナル	11時 46分	12時 55分	2
	14時 36分	15時 45分	1
	17時 27分	18時 36分	0

2 利用者の属性（利用者数 14人）

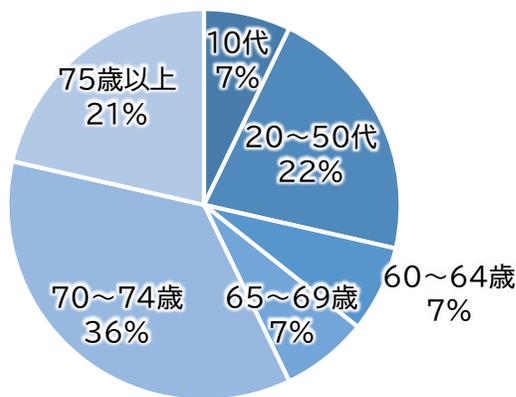
性別

男性が6割程度



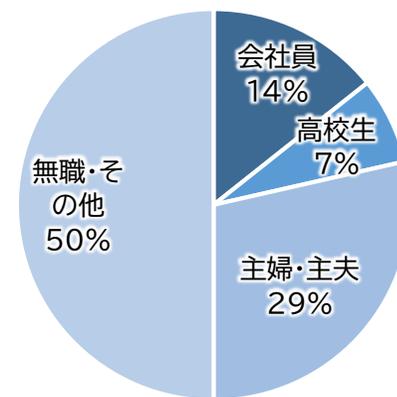
年齢

70歳以上が6割程度



職業

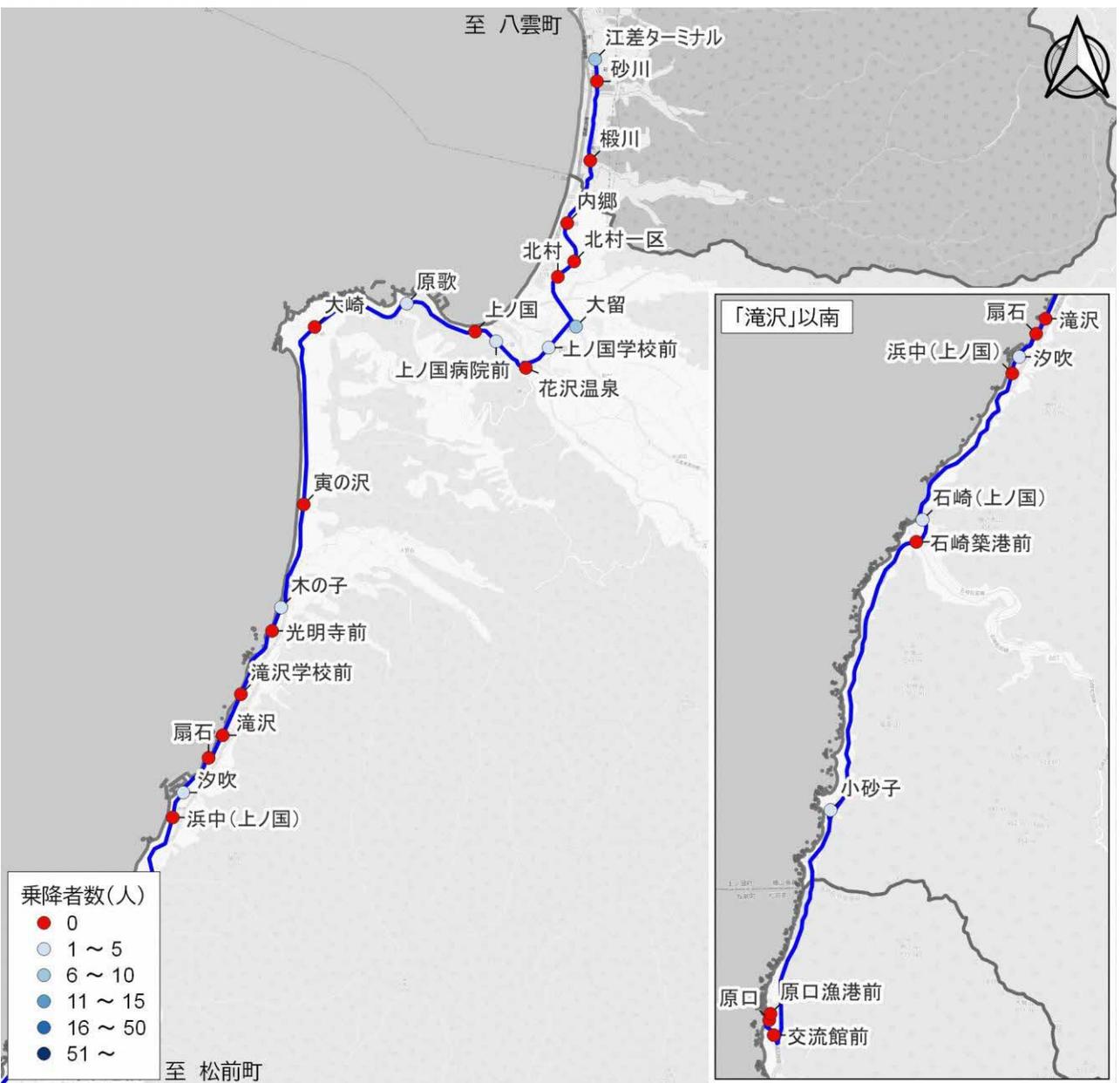
無職・その他が半数





4. 江差・小砂子線 (621系統)

3 バス停別乗降者数

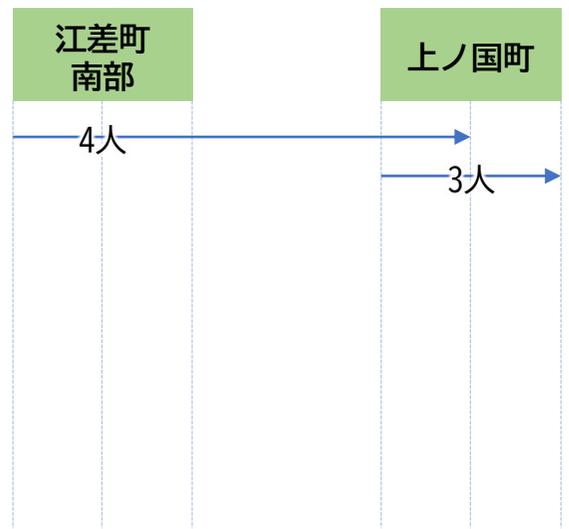




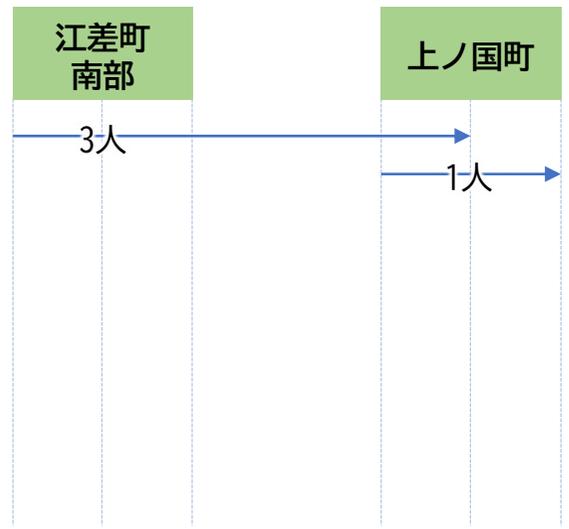
4. 江差・小砂子線 (621系統)

4 OD整理

4-1 江差ターミナル→原口漁港前 (10:27発)



4-2 江差ターミナル→原口漁港前 (13:17発)

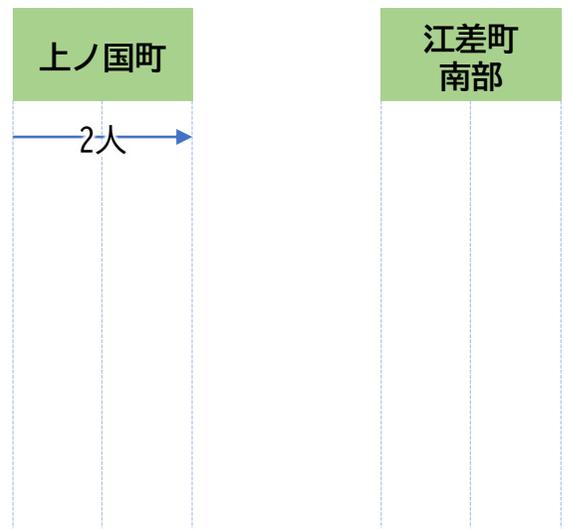




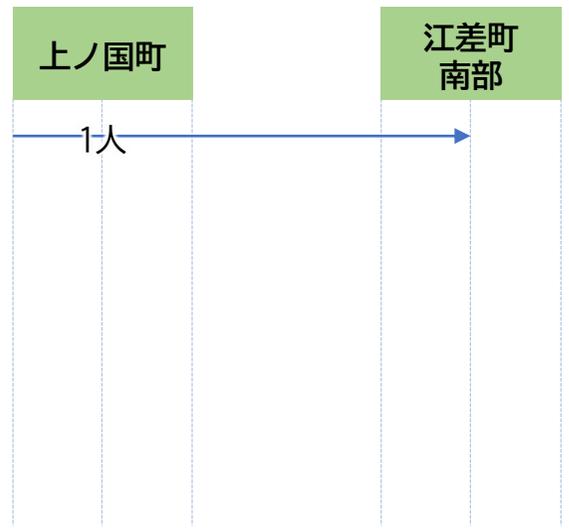
4. 江差・小砂子線 (621系統)

4 OD整理

4-4 原口漁港前→江差ターミナル (11:46発)



4-5 原口漁港前→江差ターミナル (14:36発)





4. 江差・小砂子線（621系統）

4 OD整理

4-6 原口漁港前→江差ターミナル（17：27発）

上ノ国町

江差町
南部

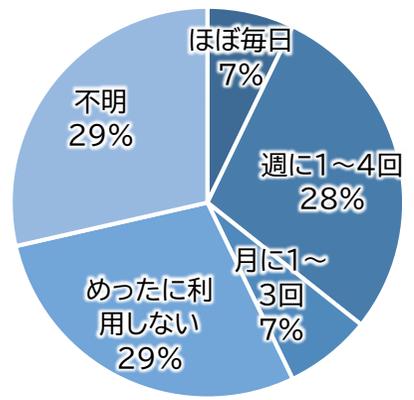


4. 江差・小砂子線 (621系統)

5 利用状況 (利用者数 14人)

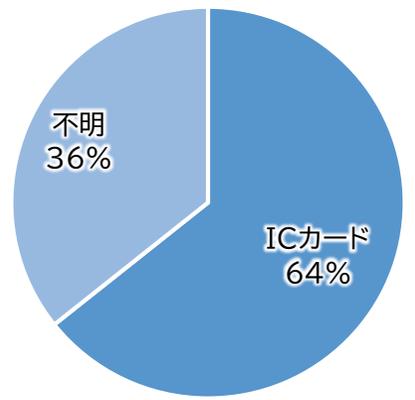
利用頻度

週に1回以上の利用が3割以上



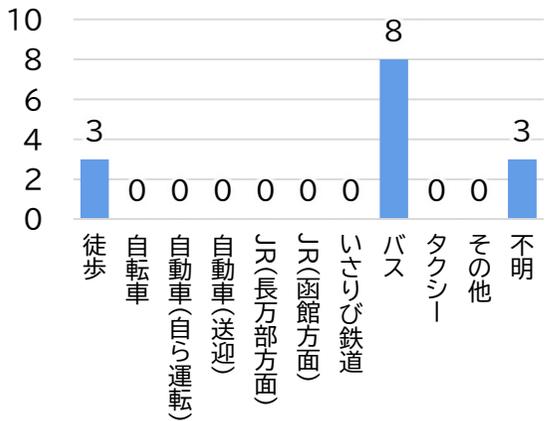
運賃の支払い方法

ICカードが6割以上



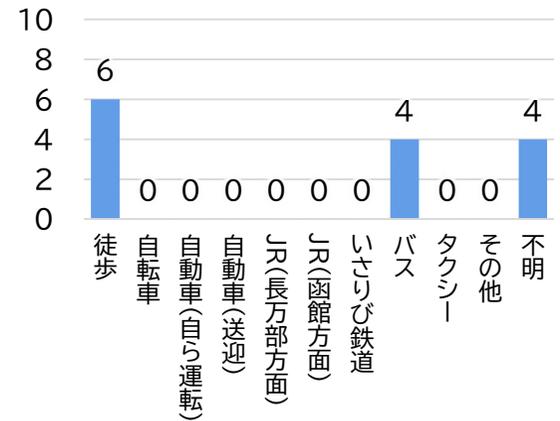
乗車前の交通手段

バス、徒歩の順が多い



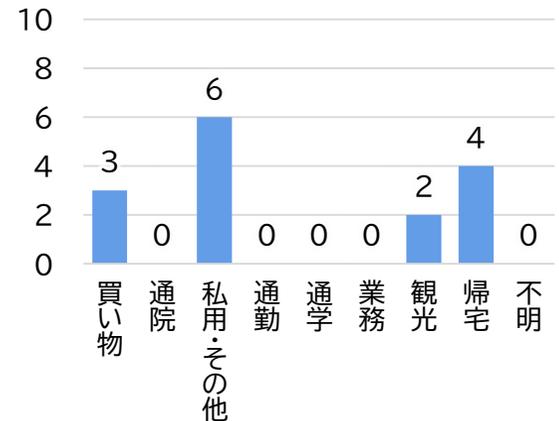
降車後の交通手段

徒歩、バスの順が多い



利用目的

帰宅以外では、私用・その他、買い物の順が多い



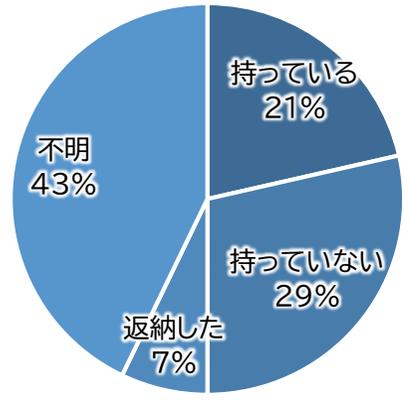


4. 江差・小砂子線 (621系統)

6 運転免許・自動車の保有状況 (利用者数 201人)

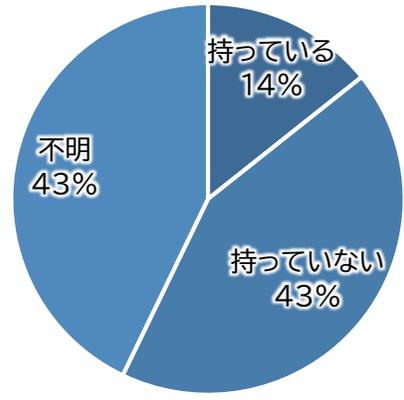
運転免許の保有

保有、保有していないが共に3割



自動車の保有

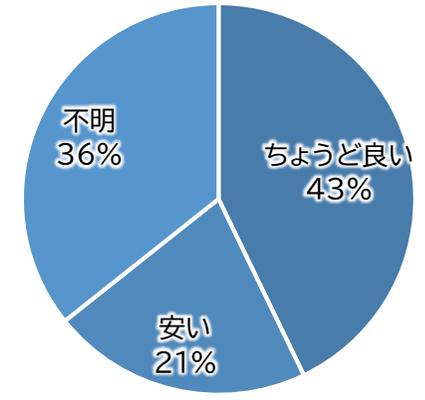
半数が保有していない



7 運賃 (利用者数 201人)

乗車区間の運賃

ちょうど良いが4割以上





5. 江差・小砂子線（622系統）

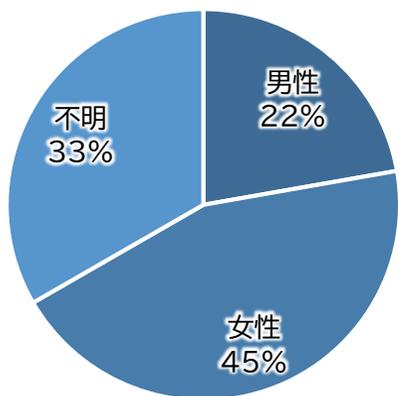
1 運行便数と利用者数

起点 → 終点	発時刻	着時刻	利用者数 (人)
江差ターミナル → 小砂子	18時 50分	19時 49分	0
小砂子 → 江差ターミナル	6時 26分	7時 25分	5
	9時 16分	10時 15分	4

2 利用者の属性（利用者数 9人）

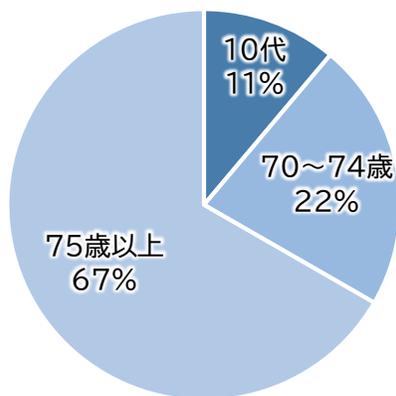
性別

女性が4割以上



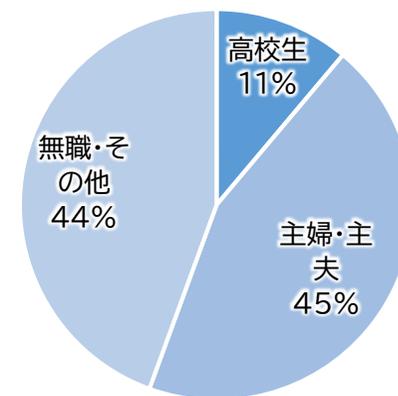
年齢

70歳以上が9割程度



職業

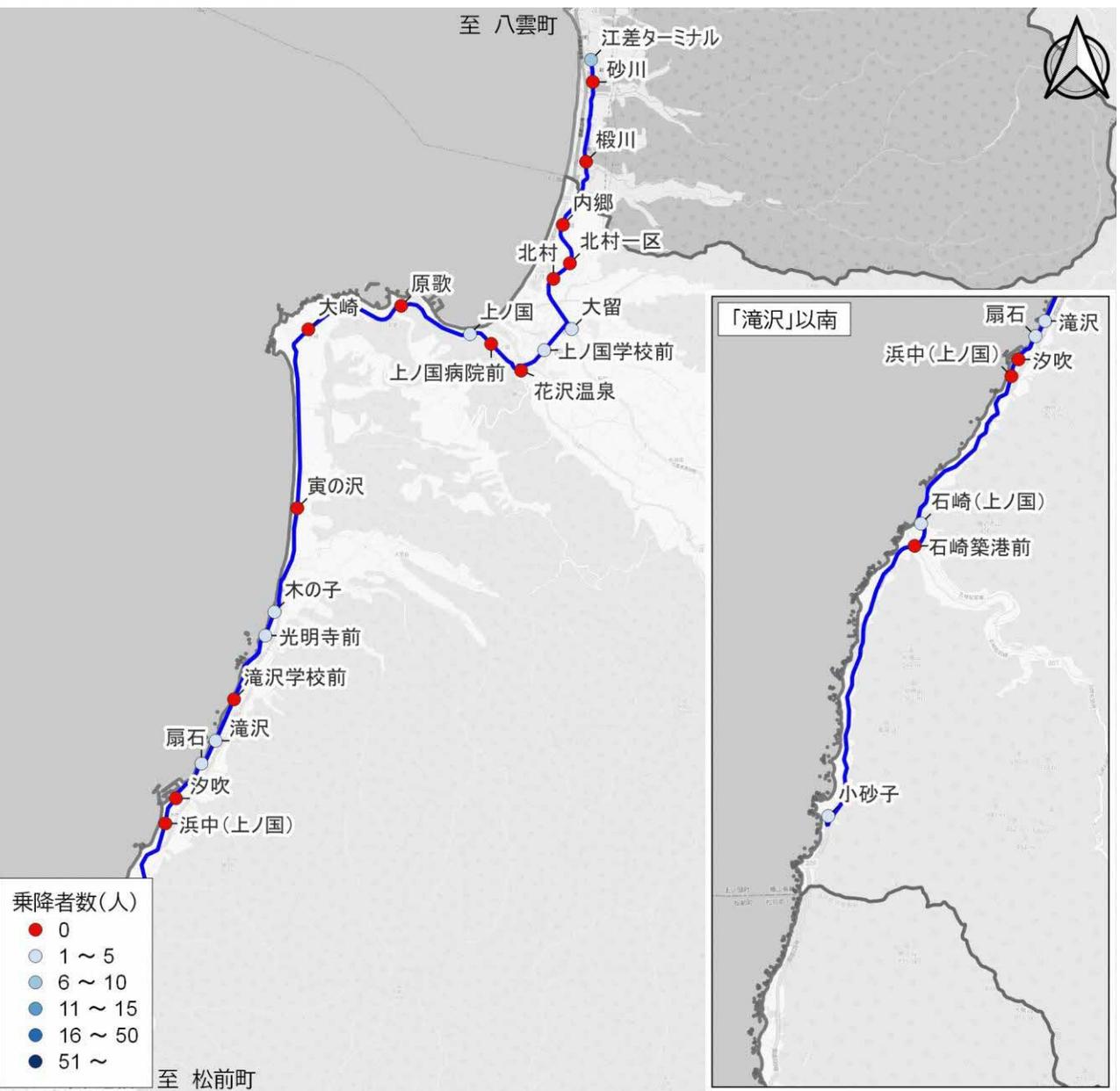
主婦・主夫と無職・その他が同数



5. 江差・小砂子線 (622系統)



3 バス停別乗降者数

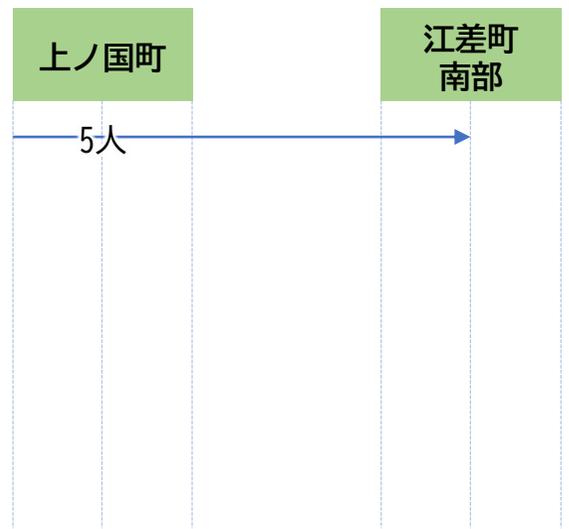




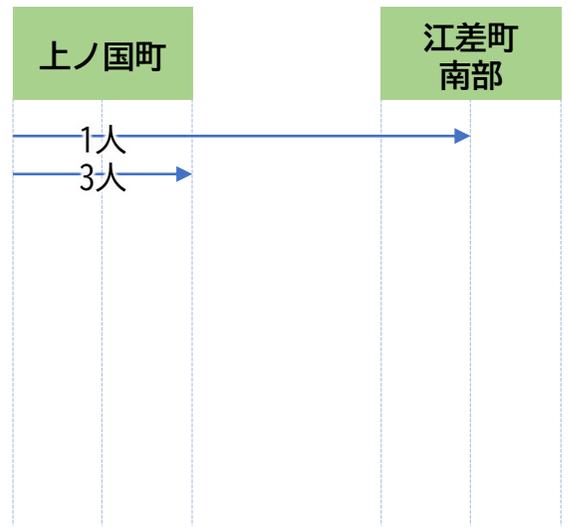
5. 江差・小砂子線 (622系統)

4 OD整理

4-2 小砂子→江差ターミナル (6:26発)



4-3 小砂子→江差ターミナル (9:16発)



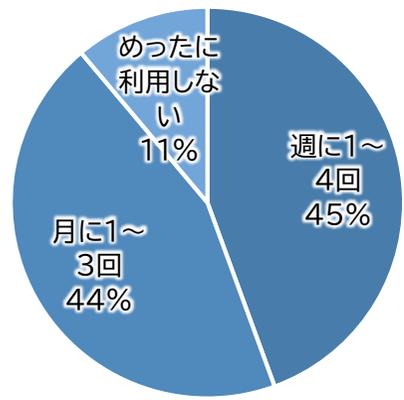


5. 江差・小砂子線（622系統）

5 利用状況（利用者数 9人）

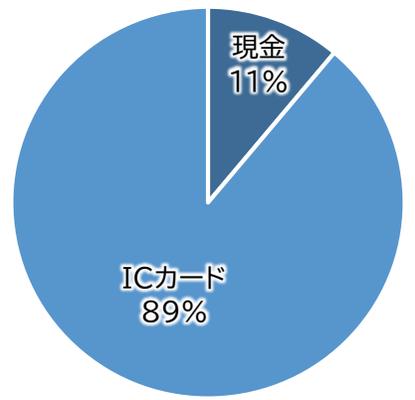
利用頻度

週に1回以上、月に数回の利用が同数



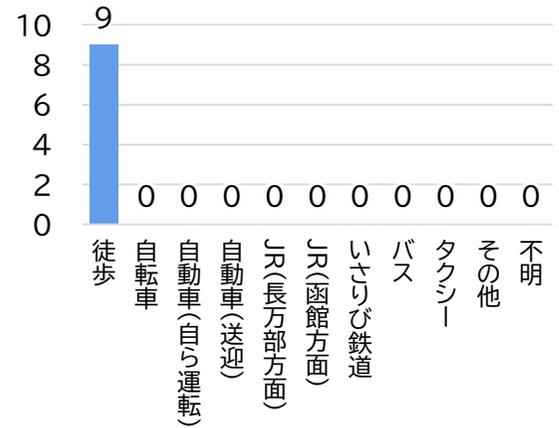
運賃の支払い方法

ICカードが9割



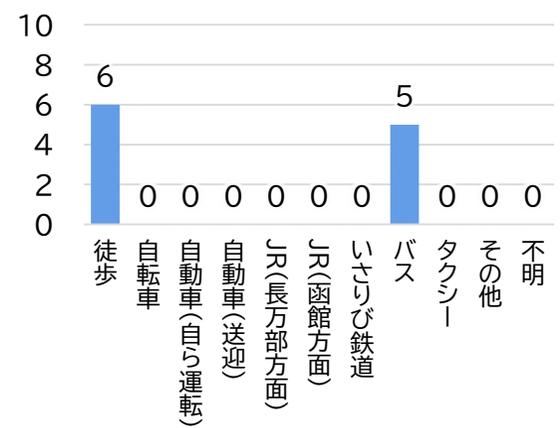
乗車前の交通手段

徒歩のみ



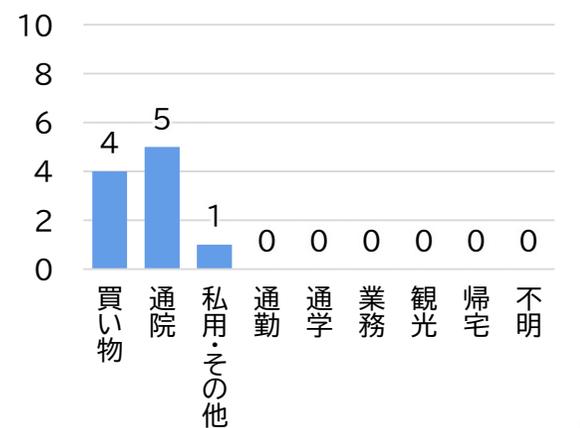
降車後の交通手段

徒歩、バスの順が多い



利用目的

通院、買い物の順が多い



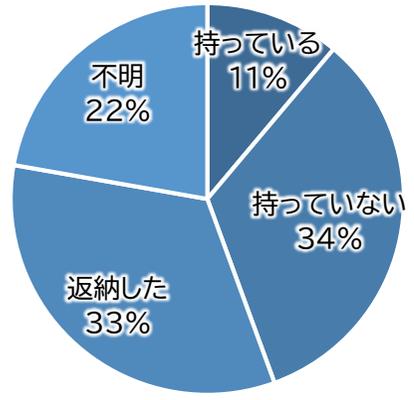


5. 江差・小砂子線（622系統）

6 運転免許・自動車の保有状況（利用者数 9人）

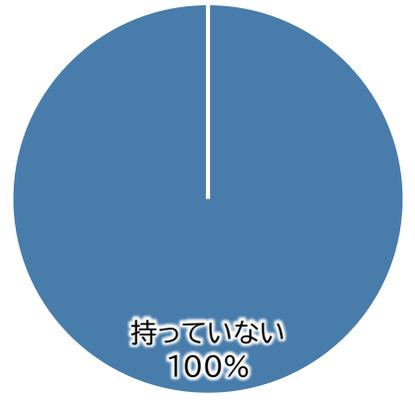
運転免許の保有

保有していない返納したが共に3割



自動車の保有

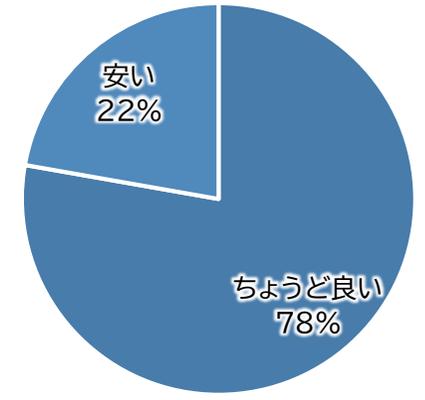
全員が保有していない



7 運賃（利用者数 9人）

乗車区間の運賃

ちょうど良いが8割程度



6. 桧山海岸線（624系統）



1 運行便数と利用者数

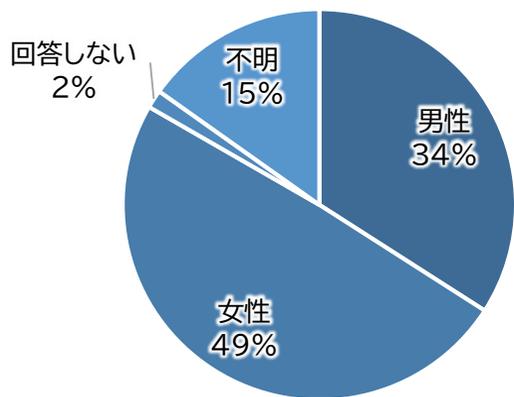
起点 → 終点	発時刻	着時刻	利用者数 (人)
江差ターミナル → 熊石	5時 25分	6時 45分	3
	7時 27分	8時 50分	11
	8時 43分	10時 3分	17
	12時 0分	13時 20分	22
	15時 47分	17時 10分	9
	17時 35分	18時 58分	5

起点 → 終点	発時刻	着時刻	利用者数 (人)
熊石 → 江差ターミナル	7時 0分	8時 24分	12
	9時 5分	10時 26分	32
	10時 18分	11時 39分	10
	14時 24分	15時 48分	7
	17時 25分	18時 46分	3
	19時 13分	20時 34分	1

2 利用者の属性（利用者数 132人）

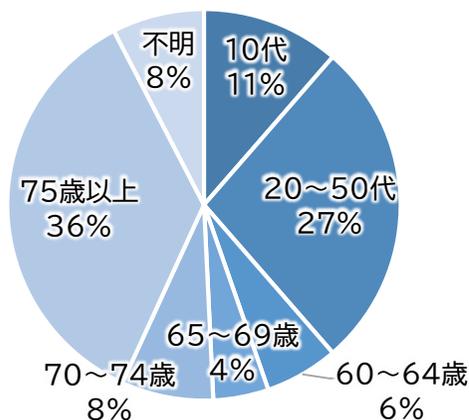
性別

女性が半数



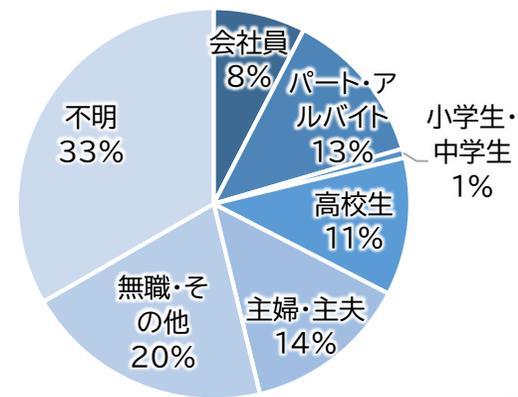
年齢

70歳以上が4割以上



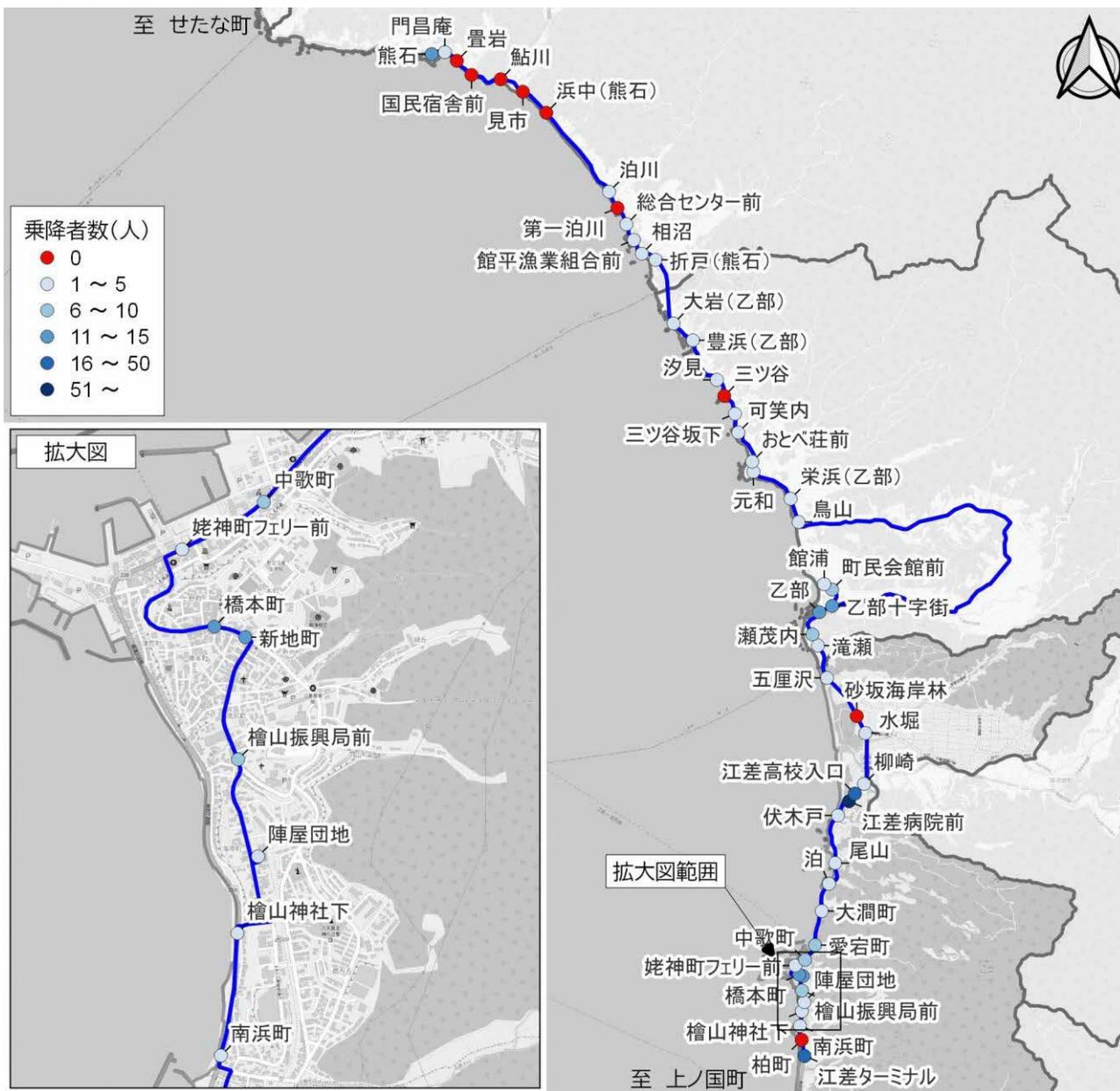
職業

偏りは見られない





3 バス停別乗降者数

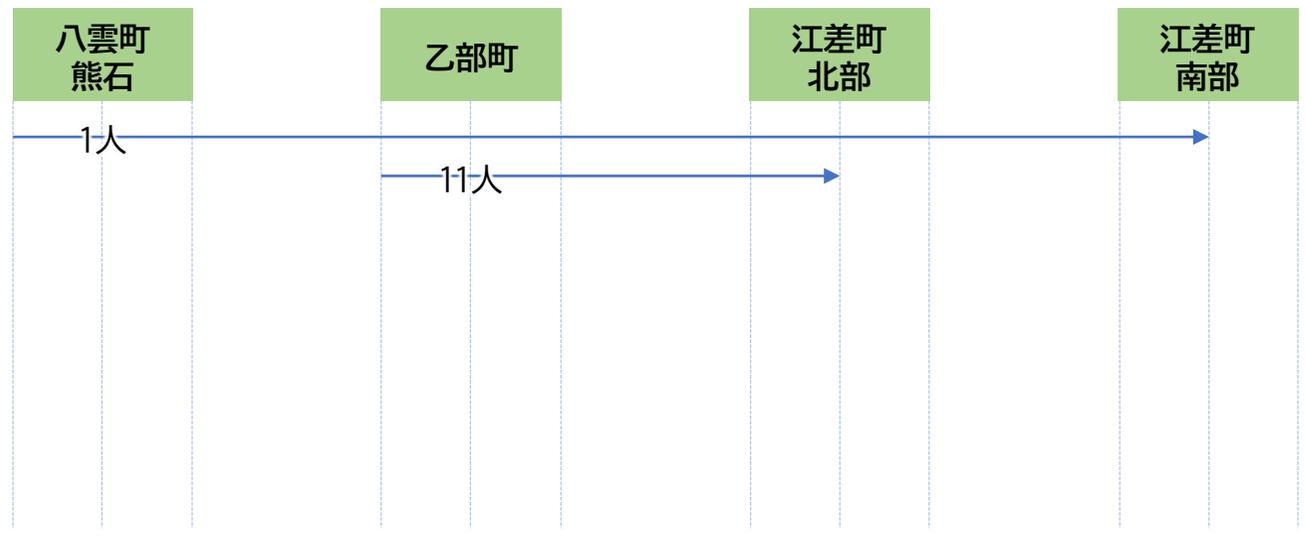




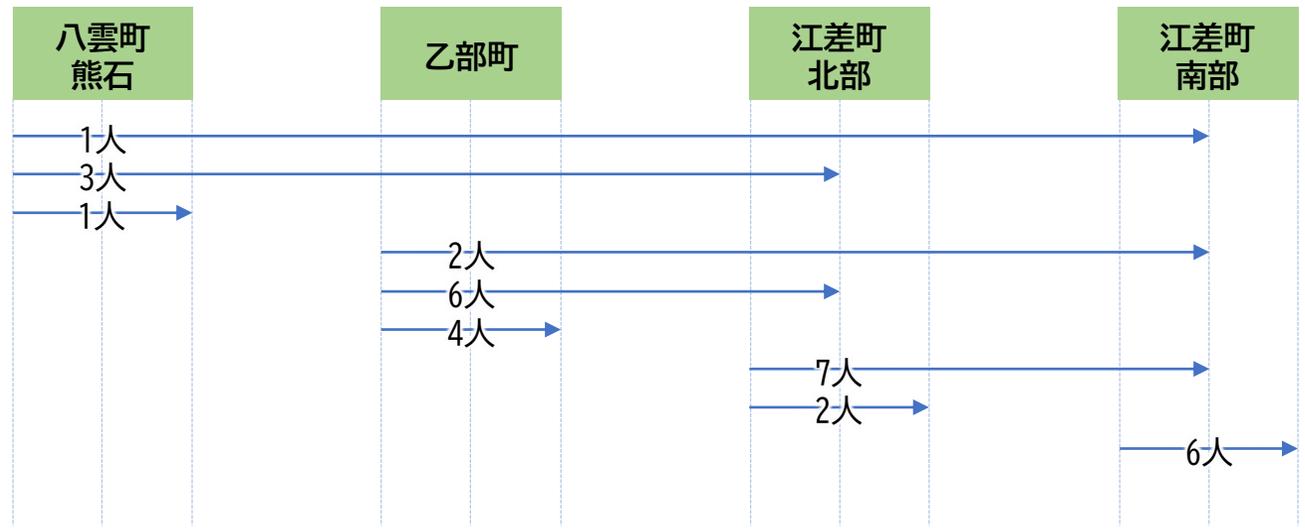
6. 桧山海岸線 (624系統)

4 OD整理

4-1 熊石→江差ターミナル (7:00発)



4-2 熊石→江差ターミナル (9:05発)

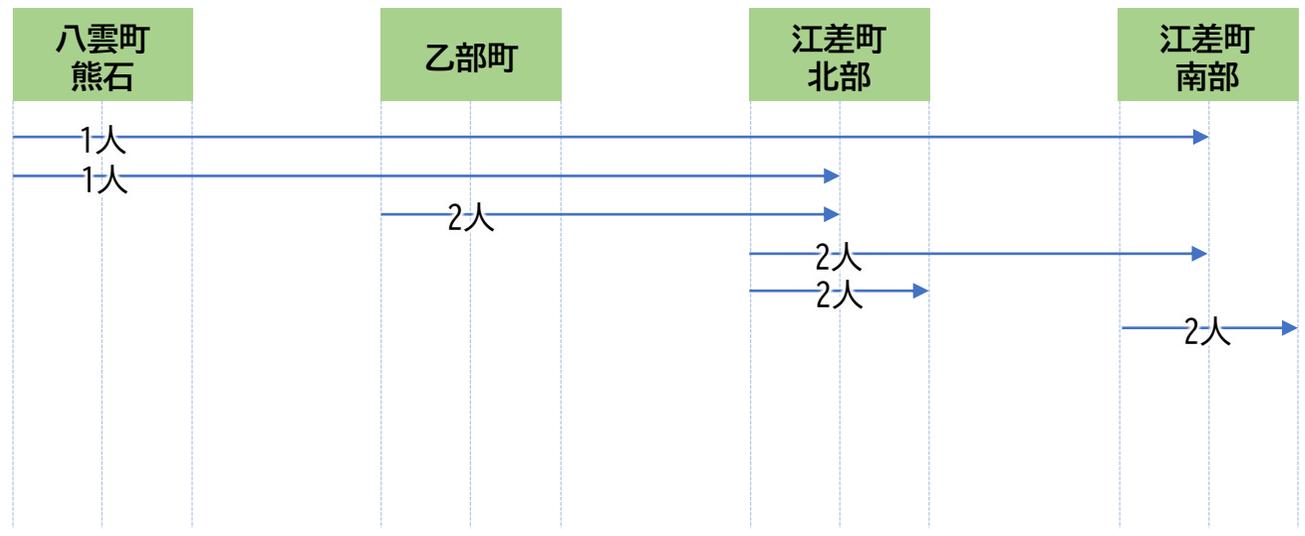




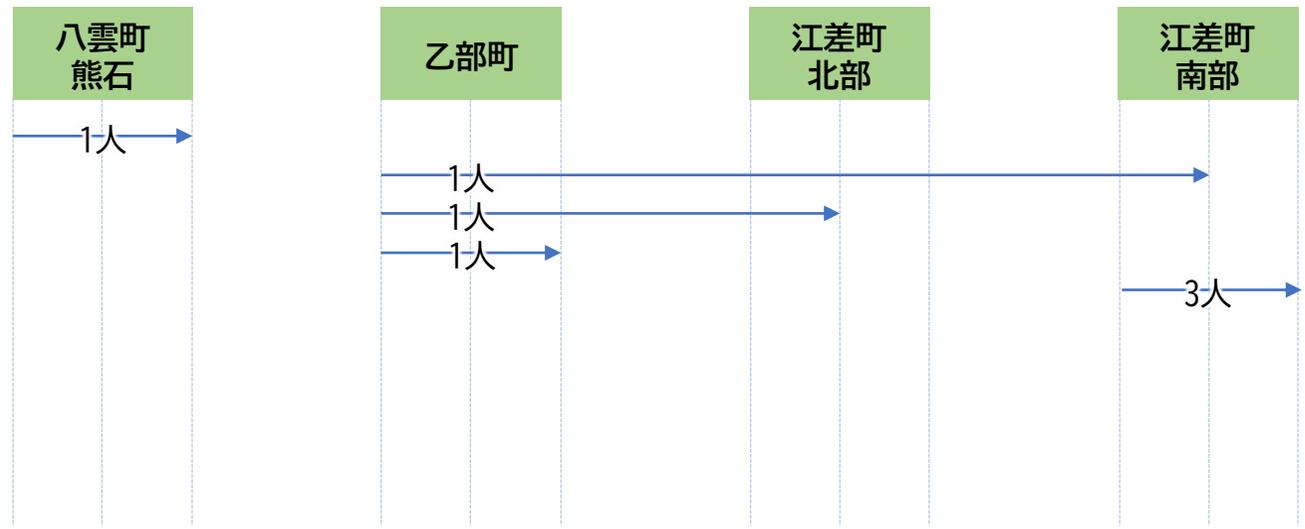
6. 桧山海岸線 (624系統)

4 OD整理

4-3 熊石→江差ターミナル (10:18発)



4-4 熊石→江差ターミナル (14:24発)

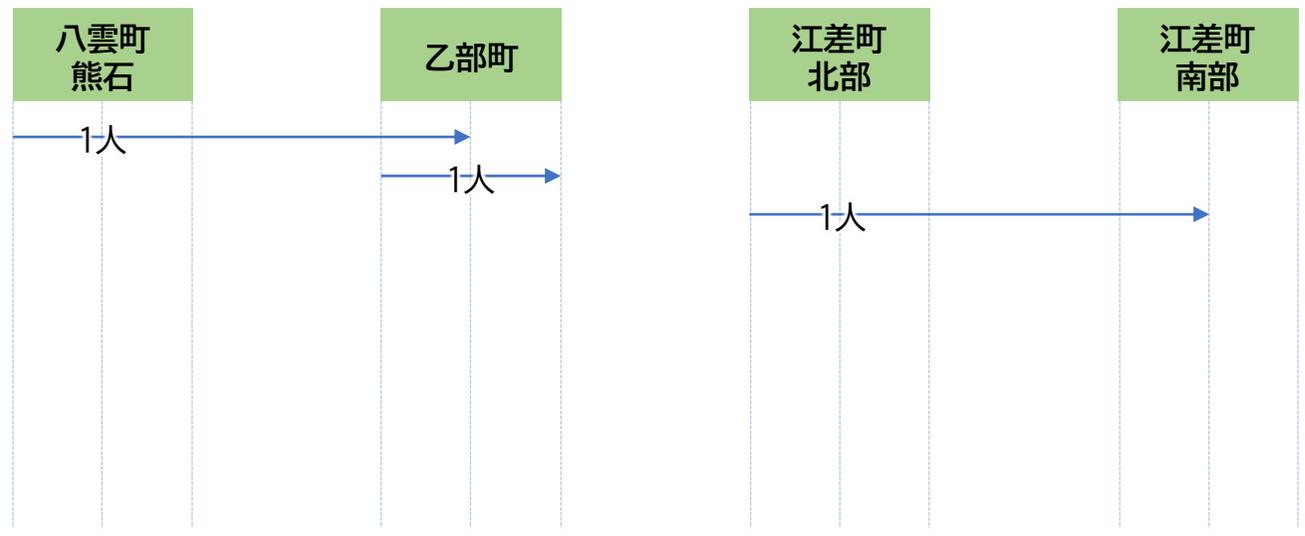




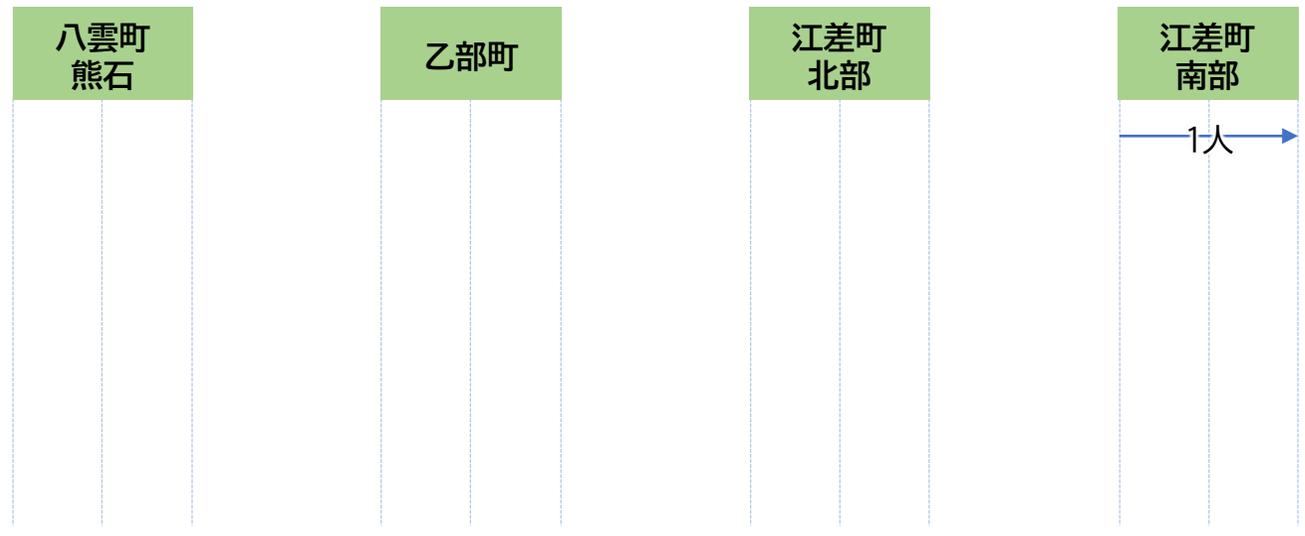
6. 桧山海岸線 (624系統)

4 OD整理

4-5 熊石→江差ターミナル (17:25発)



4-6 熊石→江差ターミナル (19:13発)

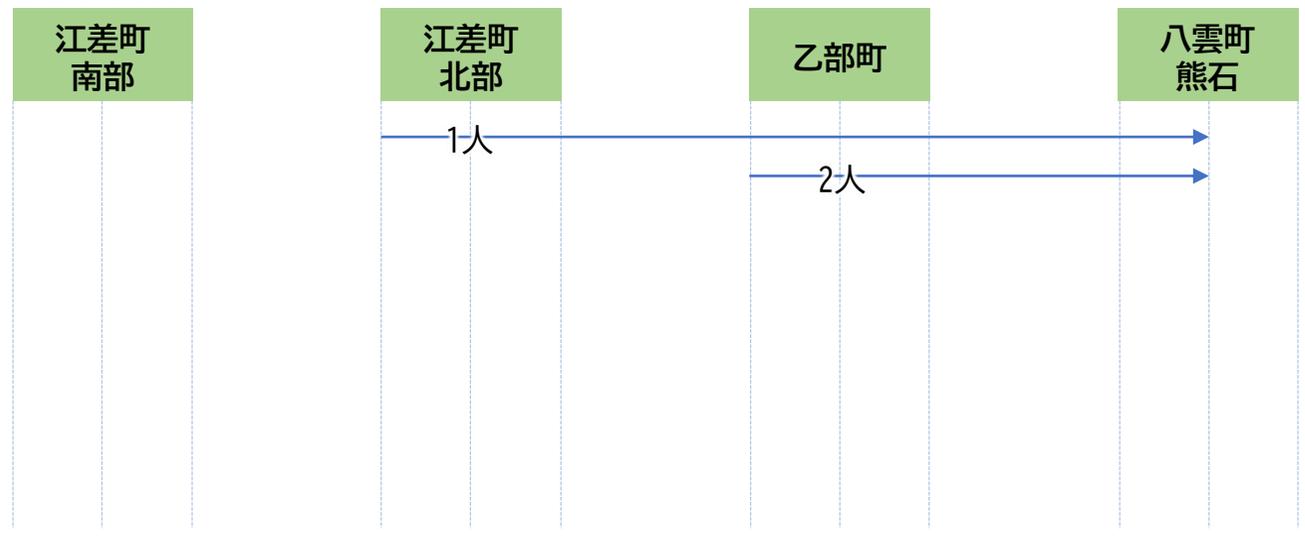




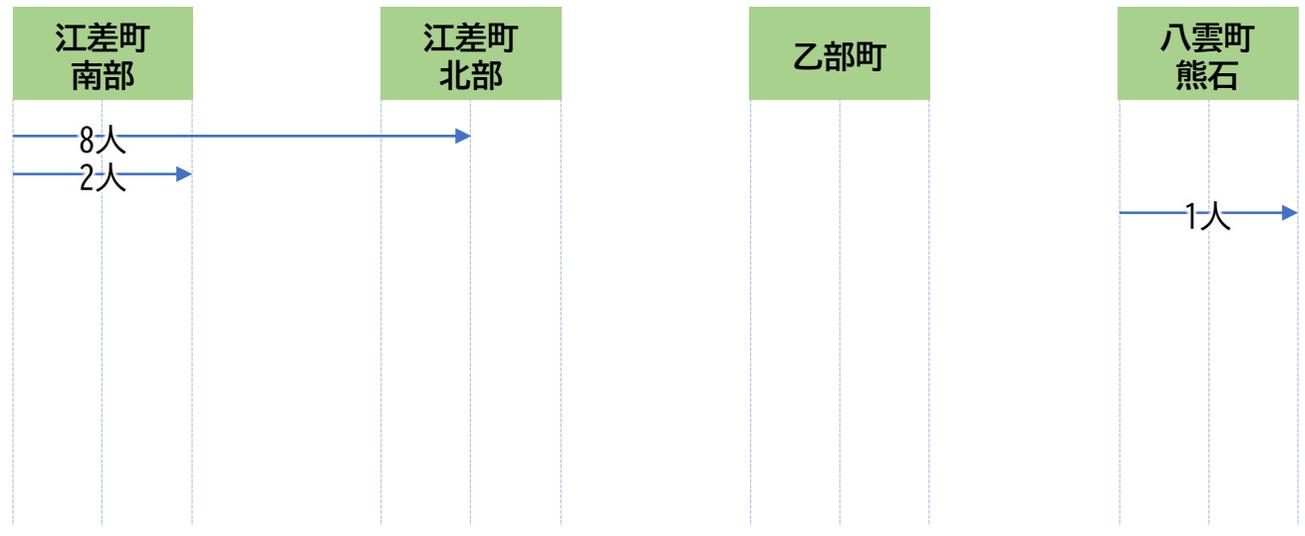
6. 桧山海岸線 (624系統)

4 OD整理

4-7 江差ターミナル→熊石 (5:25発)



4-8 江差ターミナル→熊石 (7:27発)

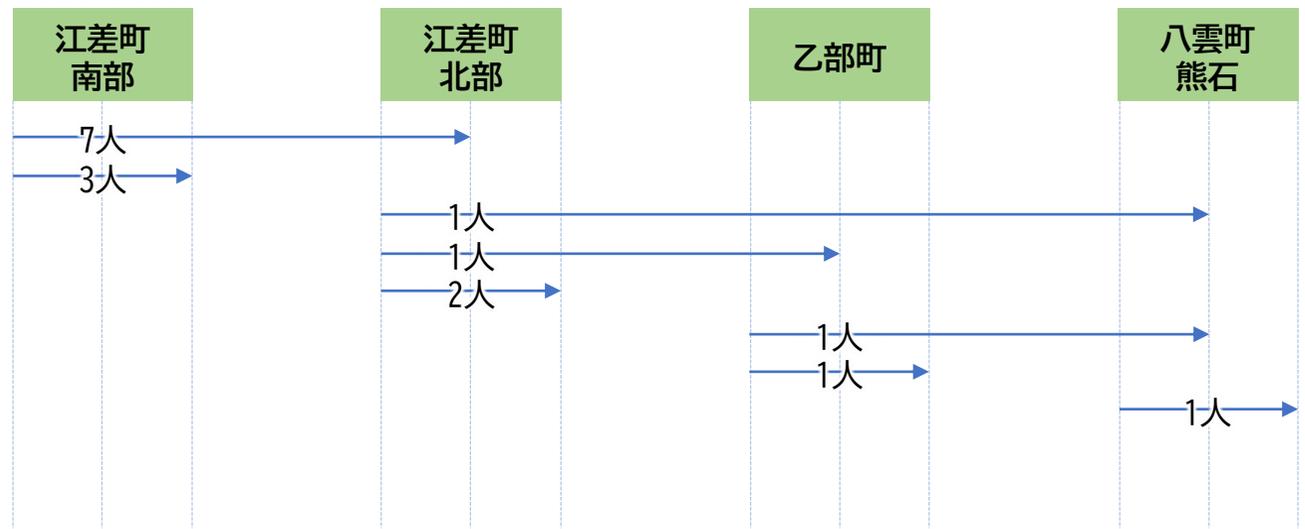




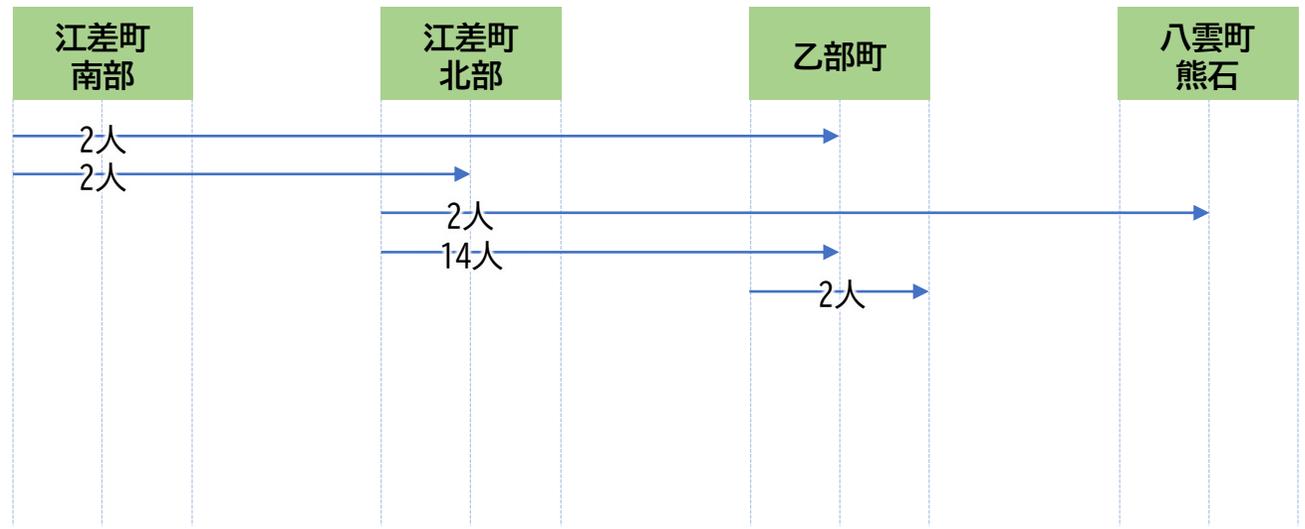
6. 桧山海岸線 (624系統)

4 OD整理

4-9 江差ターミナル→熊石 (8:43発)



4-10 江差ターミナル→熊石 (12:00発)

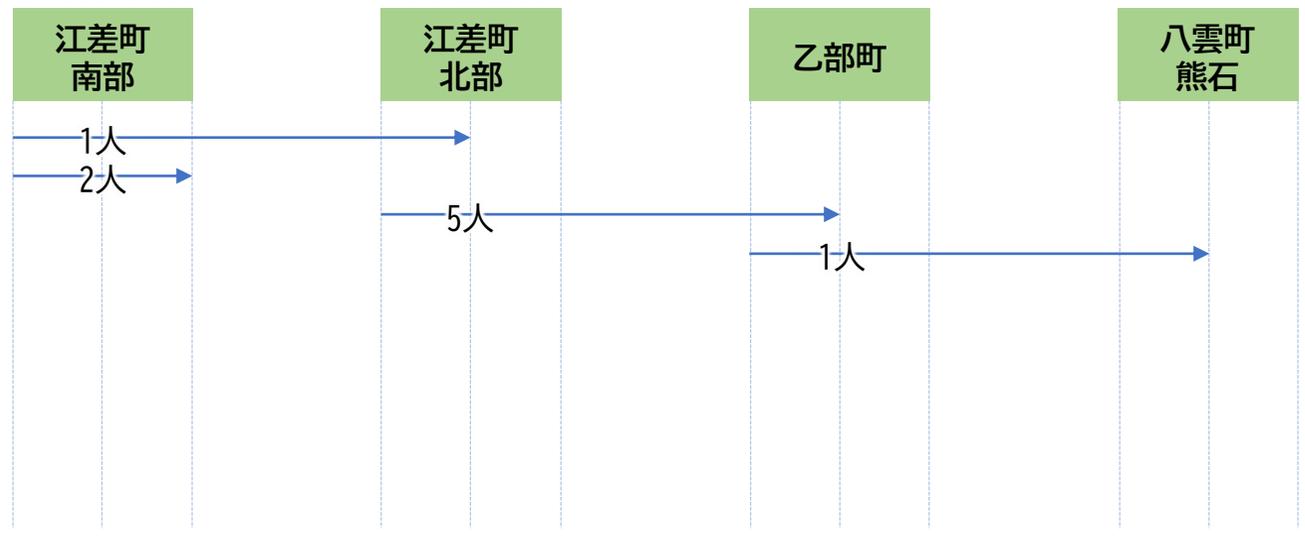




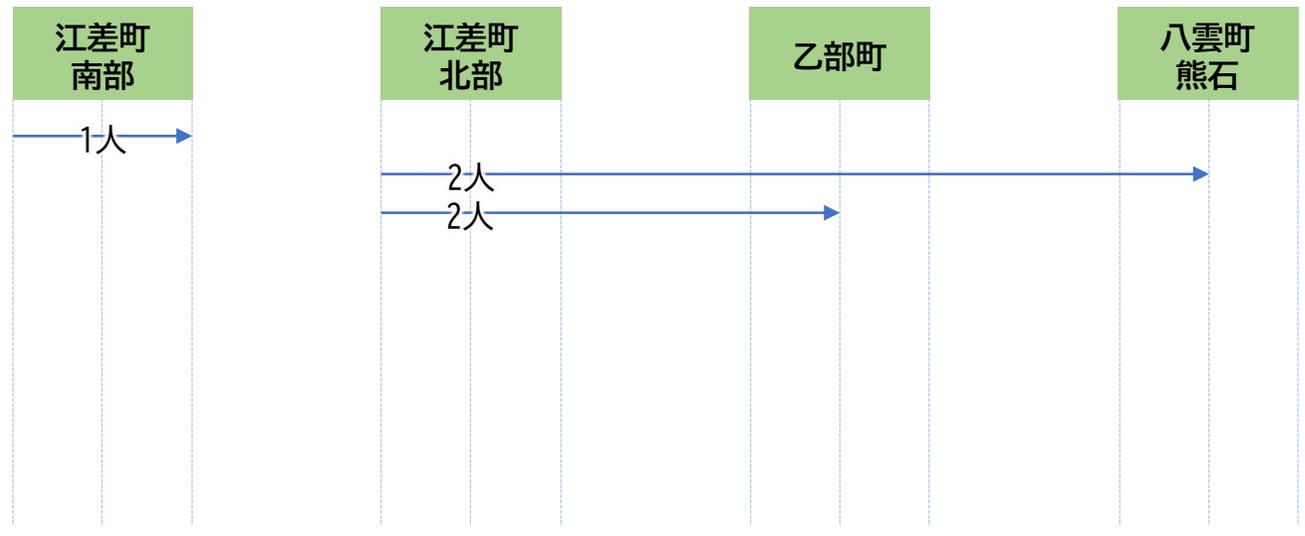
6. 桧山海岸線 (624系統)

4 OD整理

4-11 江差ターミナル→熊石 (15:47発)



4-12 江差ターミナル→熊石 (17:35発)



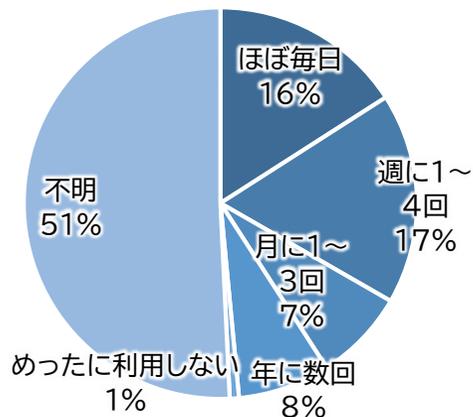
6. 桧山海岸線 (624系統)



5 利用状況 (利用者数 132人)

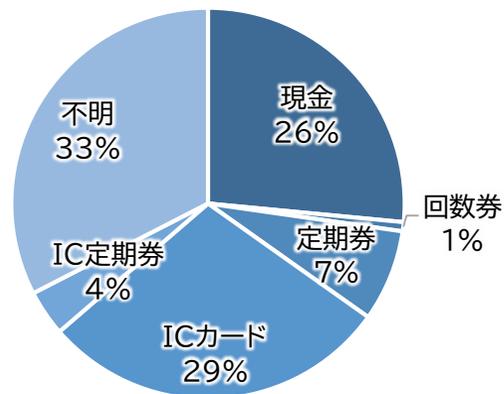
利用頻度

週に1回以上の利用が3割以上



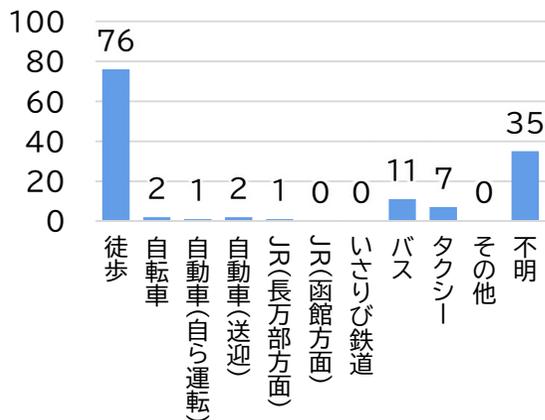
運賃の支払い方法

ICカードが3割



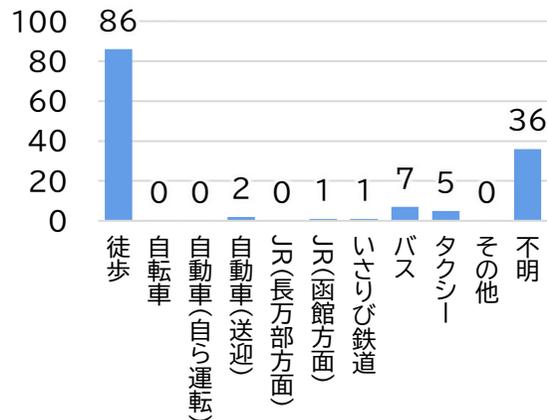
乗車前の交通手段

徒歩、バスの順で多い



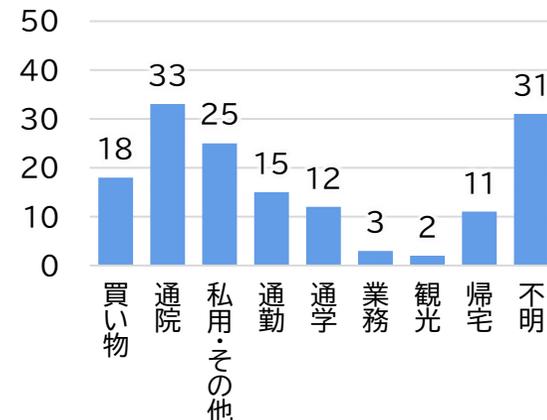
降車後の交通手段

徒歩、バスの順で多い



利用目的

通院、私用・その他、買い物の順で多い



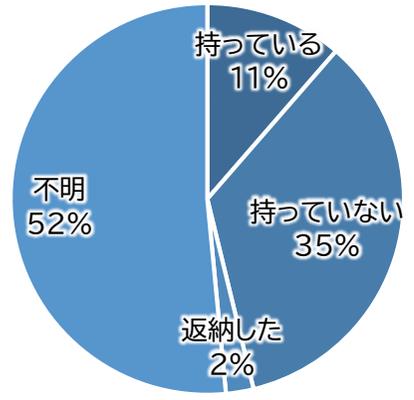


6. 松山海岸線（624系統）

6 運転免許・自動車の保有状況（利用者数 132人）

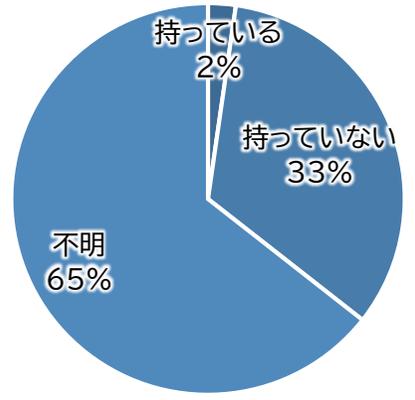
運転免許の保有

保有していないが3割以上



自動車の保有

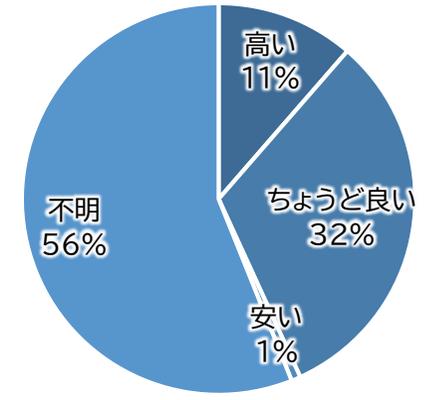
保有していないが3割以上



7 運賃（利用者数 132人）

乗車区間の運賃

ちょうど良いが3割以上



7. 江差・木古内線（631系統）



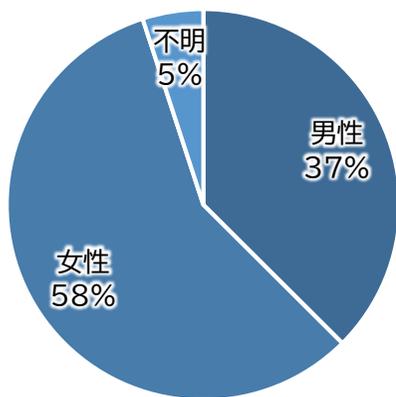
1 運行便数と利用者数

起点 → 終点	発時刻	着時刻	利用者数 (人)
江差高校前 → 木古内駅前	15時 45分	17時 37分	2
	18時 13分	20時 5分	7
江差病院前 → 木古内駅前	6時 5分	7時 55分	2
	7時 10分	9時 0分	3
	10時 40分	12時 30分	3
木古内駅前 → 江差高校前	6時 19分	8時 11分	9
木古内駅前 → 江差病院前	11時 7分	12時 56分	4
	15時 5分	16時 54分	7
	16時 41分	18時 30分	3
	18時 12分	20時 1分	0

2 利用者の属性（利用者数 40人）

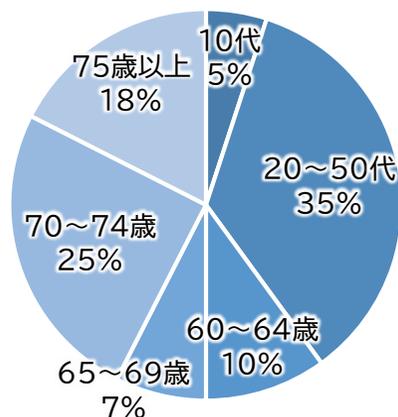
性別

女性が6割近く



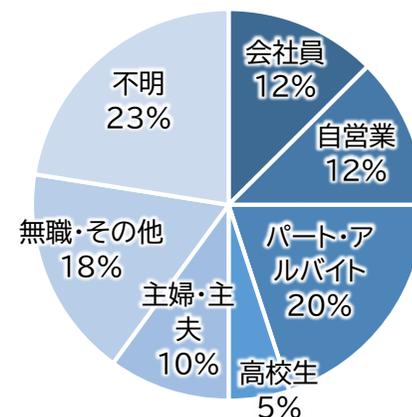
年齢

70歳以上が4割以上



職業

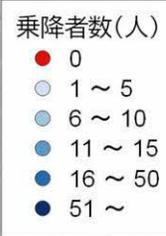
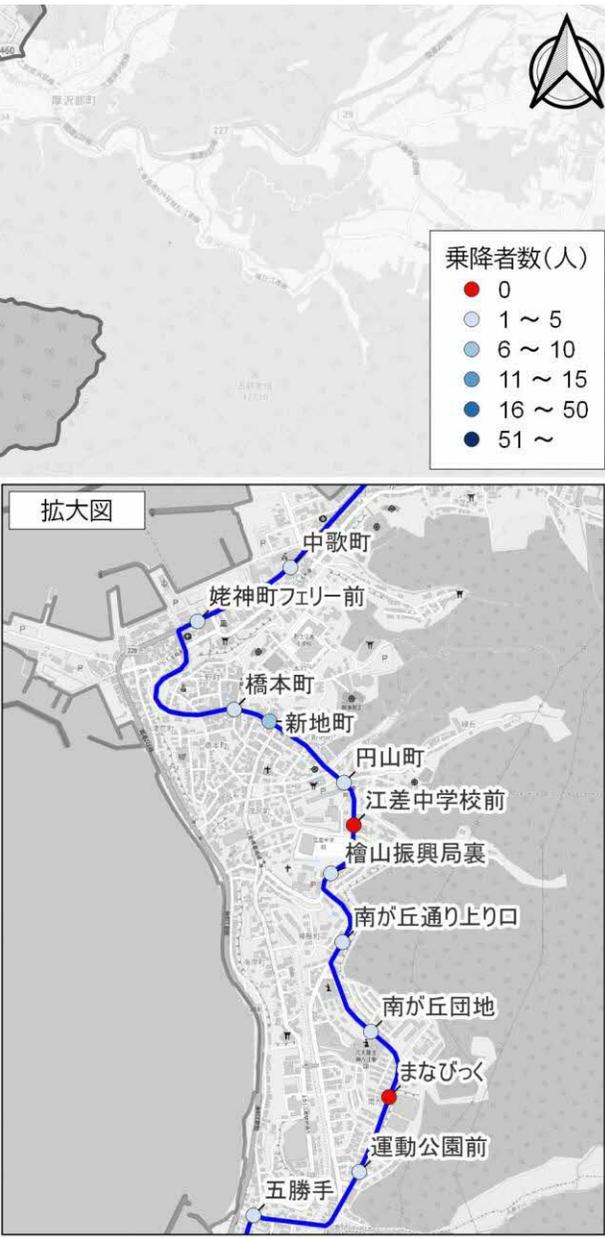
偏りが見られない



7. 江差・木古内線 (631系統)



3 バス停別乗降者数



「宮越」以南のバス停

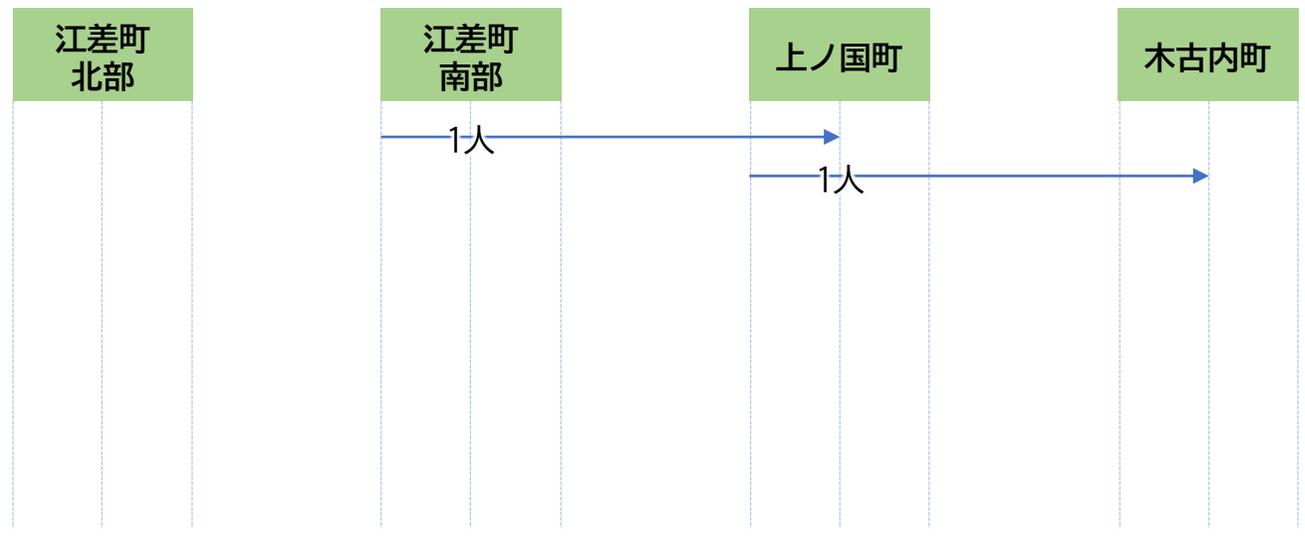
乗降者数	バス停
● (light blue)	湯ノ岱
● (light blue)	湯ノ岱温泉
● (light blue)	中の沢 (上ノ国)
● (light blue)	神明
● (red)	膳棚
● (light blue)	大川 (木古内)
● (red)	吉堀
● (red)	鶴岡禅燈寺前
● (red)	鶴岡大谷地
● (red)	木古内上町
● (light blue)	国保病院前
● (light blue)	木古内駅前



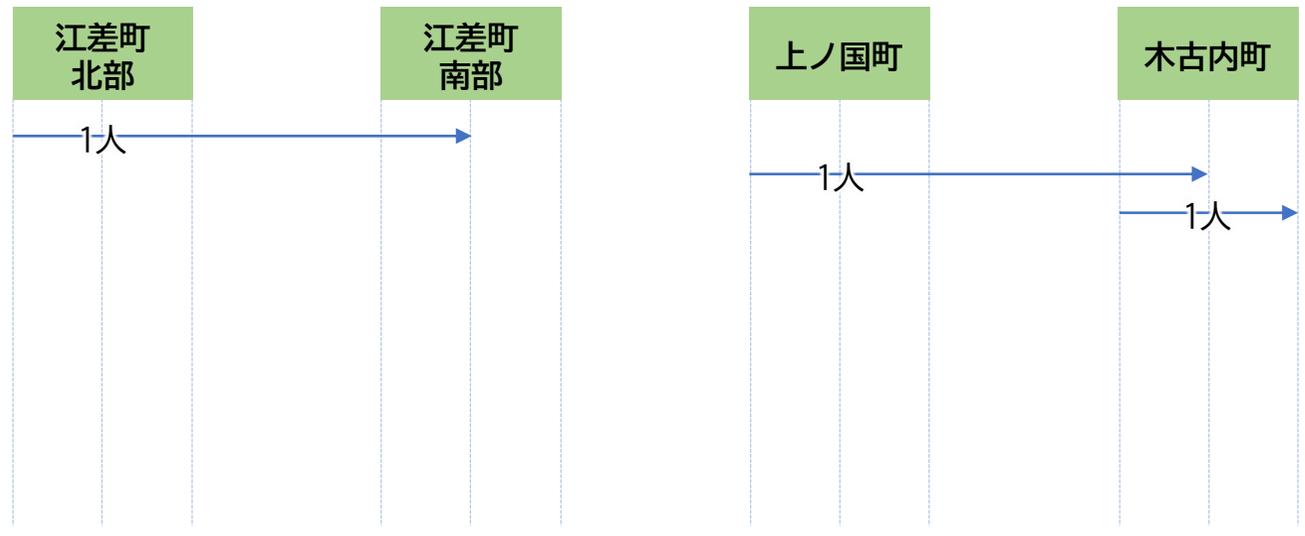
7. 江差・木古内線 (631系統)

4 OD整理

4-1 江差病院前→木古内駅前 (6:05発)



4-2 江差病院→木古内駅前 (7:10発)

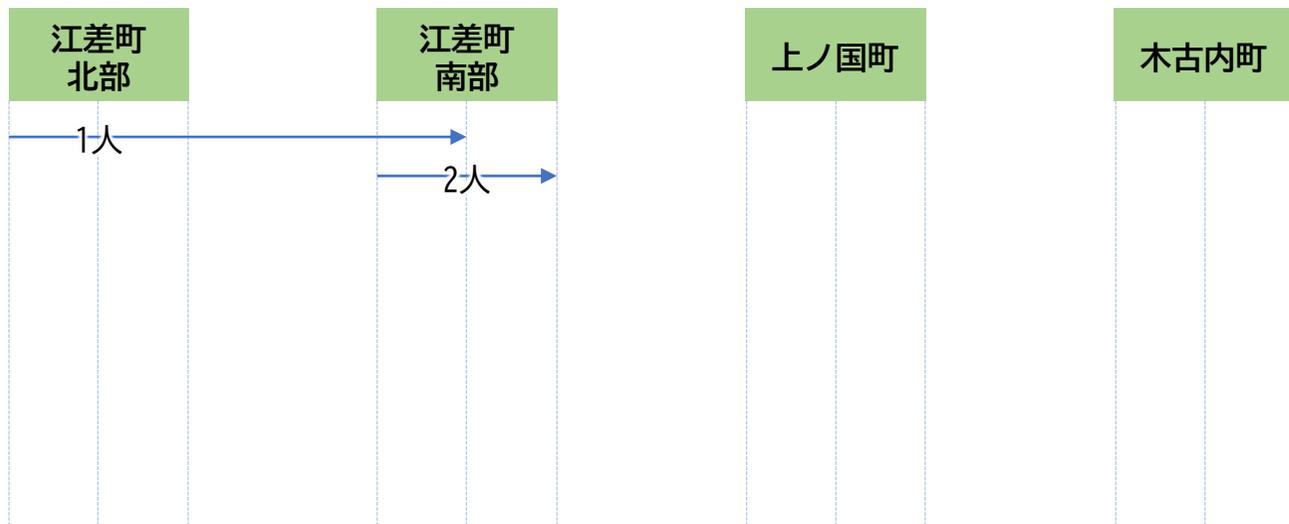


7. 江差・木古内線 (631系統)

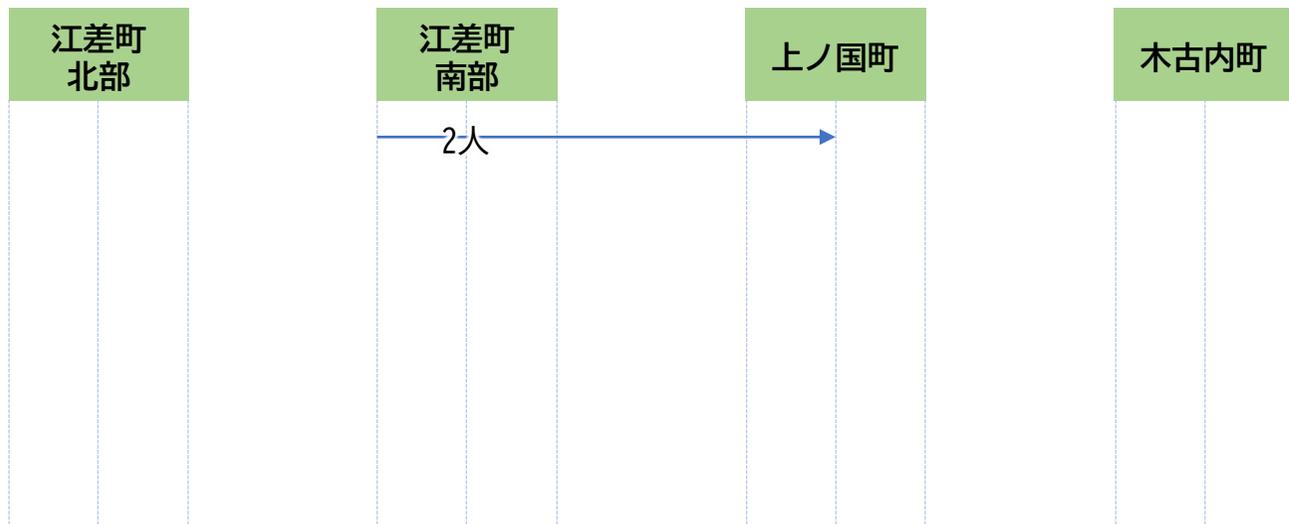


4 OD整理

4-3 江差病院前→木古内駅前 (10:40発)



4-4 江差高校前→木古内駅前 (15:45発)

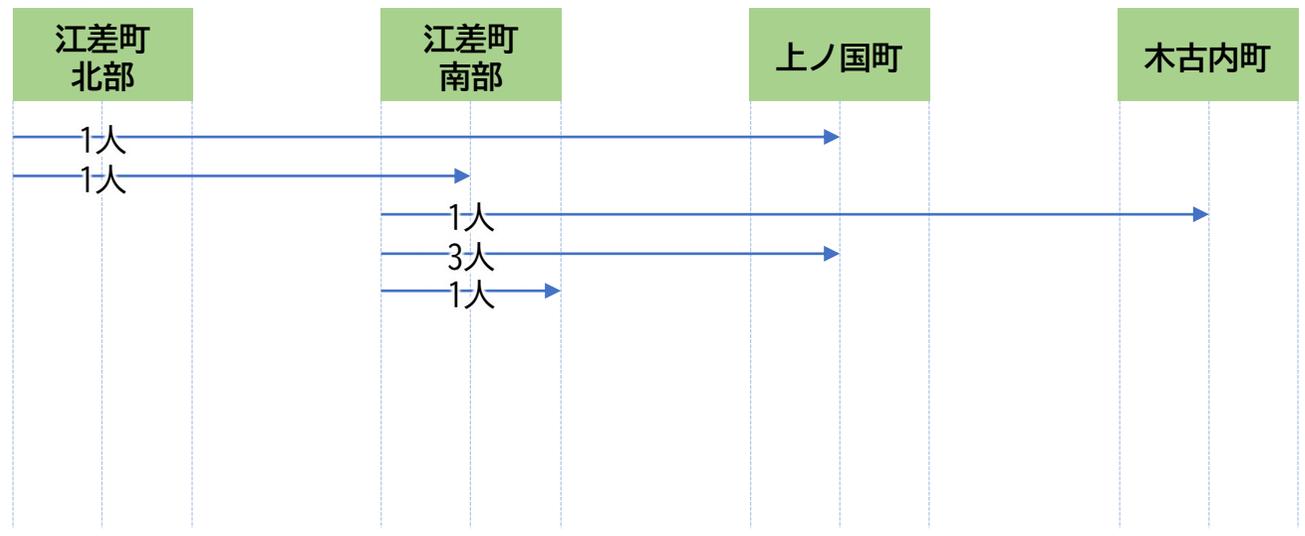




7. 江差・木古内線（631系統）

4 OD整理

4-5 江差高校前→木古内駅前（18：13発）

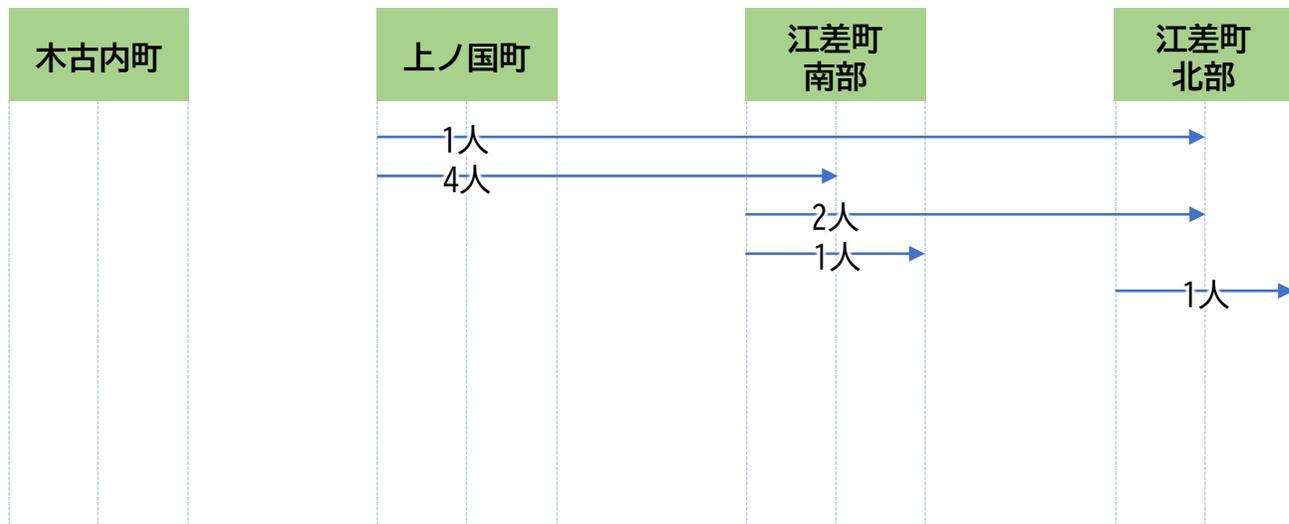


7. 江差・木古内線 (631系統)

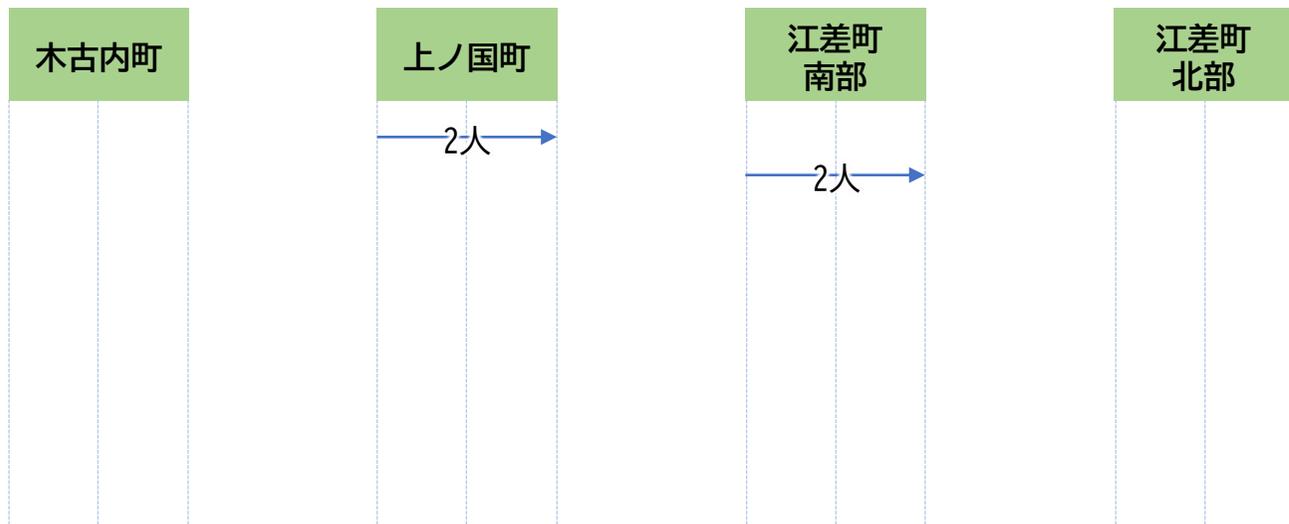


4 OD整理

4-6 木古内駅前→江差高校前 (6:19発)



4-7 木古内駅前→江差病院前 (11:07発)

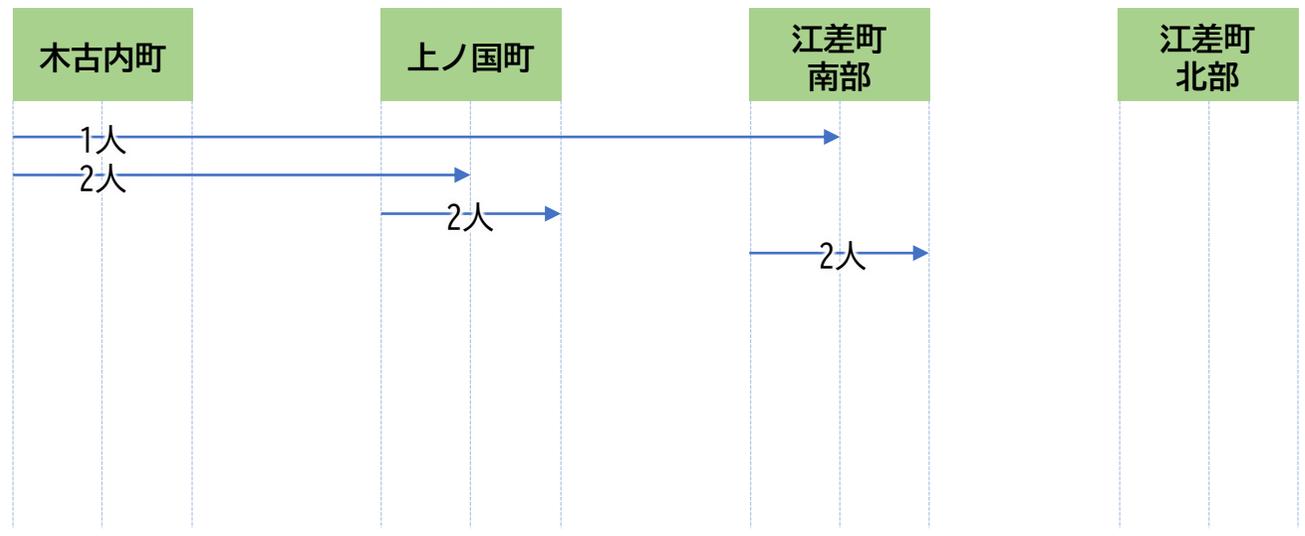




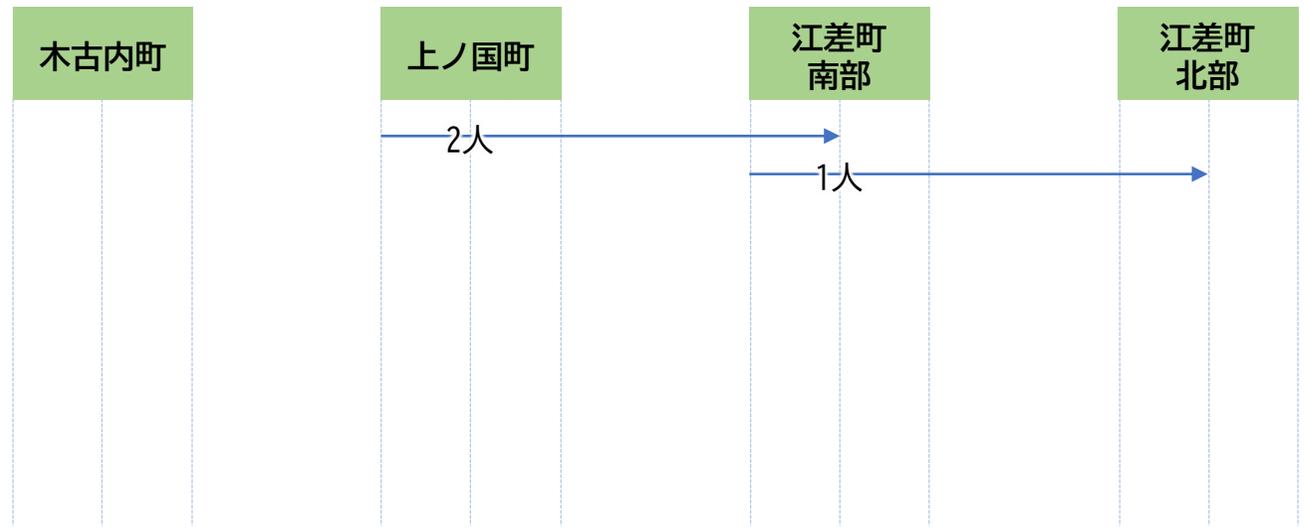
7. 江差・木古内線（631系統）

4 OD整理

4-8 木古内駅前→江差病院前（15：05発）



4-9 木古内駅前→江差病院前（16：41発）





7. 江差・木古内線（631系統）

4 OD整理

4-10 木古内駅前→江差病院前（18：12発）

木古内町

上ノ国町

江差町
南部

江差町
北部

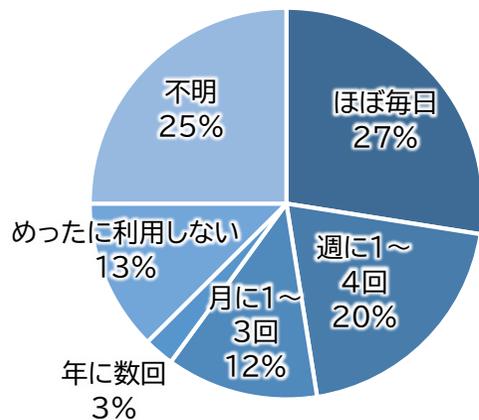
7. 江差・木古内線（631系統）



5 利用状況（利用者数 40人）

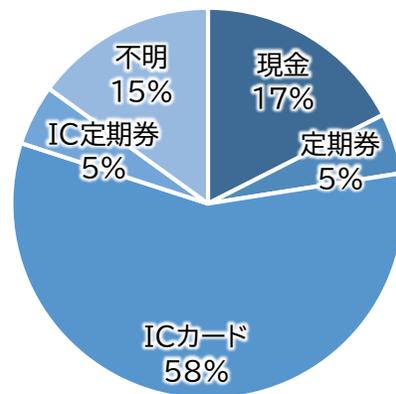
利用頻度

週に1回以上の利用が5割程度



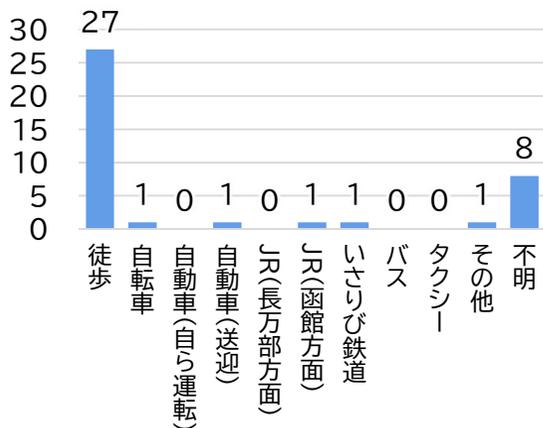
運賃の支払い方法

ICカードが6割程度



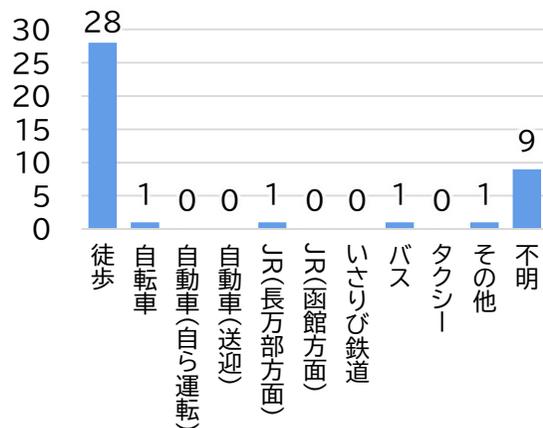
乗車前の交通手段

徒歩が多い



降車後の交通手段

徒歩が多い



利用目的

通勤、買い物、通院の順が多い



7. 江差・木古内線（631系統）



6 運転免許・自動車の保有状況（利用者数 40人）

7 運賃（利用者数 40人）

運転免許の保有

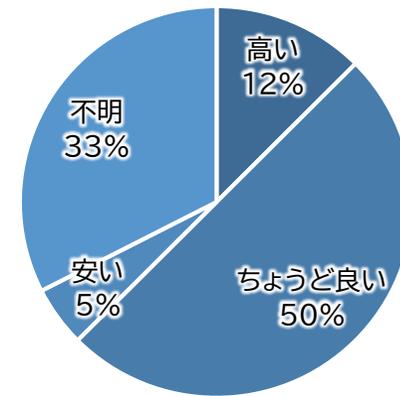
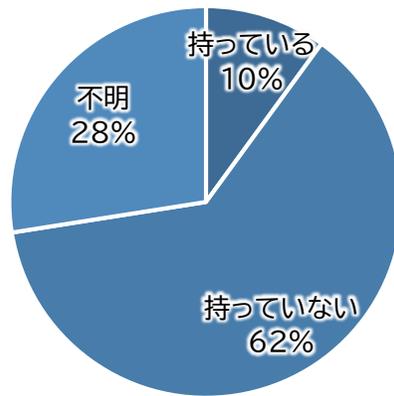
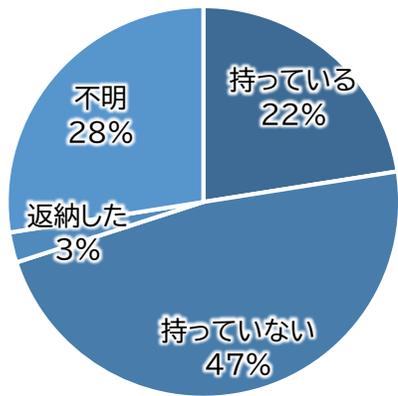
自動車の保有

乗車区間の運賃

保有していないと返納したが合わせて半数

保有していないが6割以上

ちょうど良いが半数





8. 江差・木古内線（632系統）

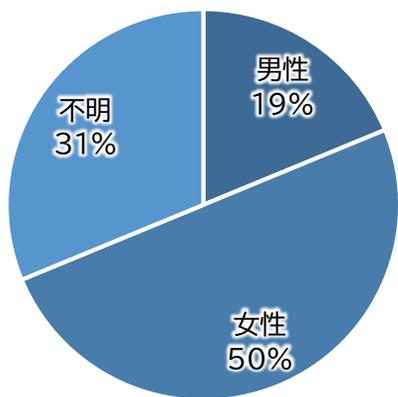
1 運行便数と利用者数

起点 → 終点	発時刻	着時刻	利用者数 (人)
江差高校前 → 木古内駅前	12時 18分	14時 13分	12
木古内駅前 → 江差病院前	9時 16分	11時 8分	20

2 利用者の属性（利用者数 32人）

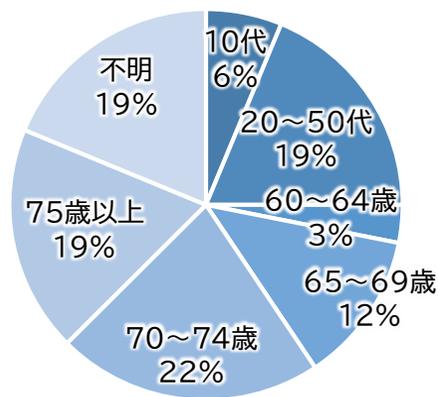
性別

女性が半数



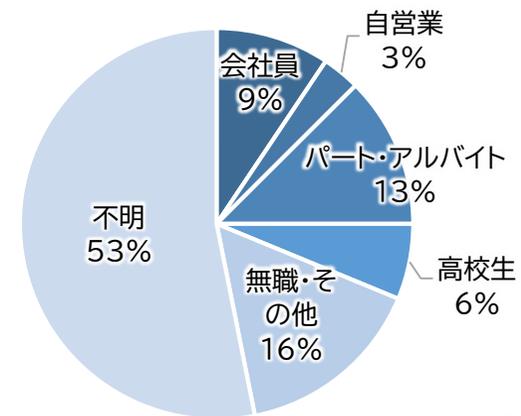
年齢

70歳以上が4割



職業

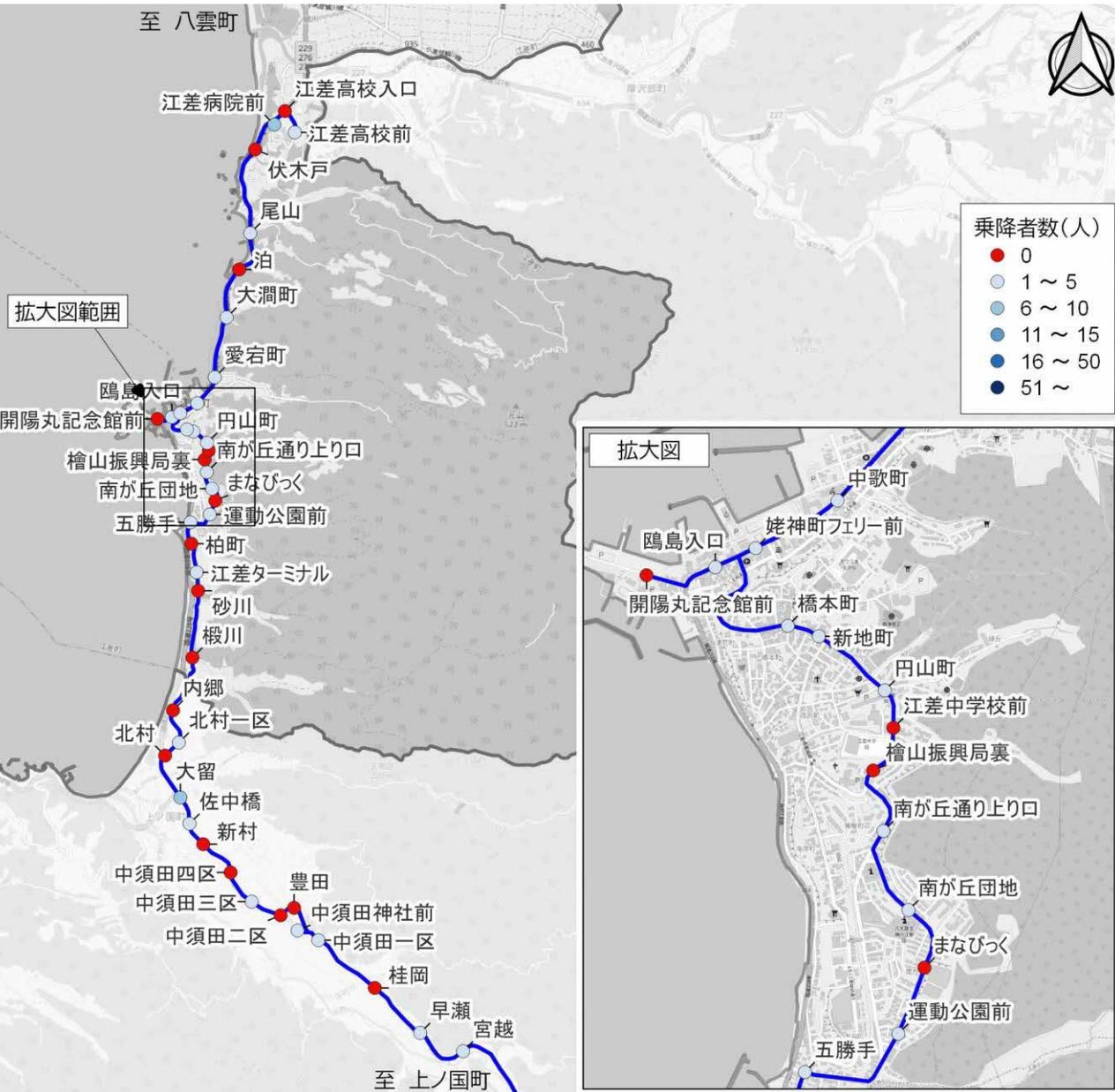
無職・その他、パート・アルバイトが多い



8. 江差・木古内線 (632系統)



3 バス停別乗降者数



「宮越」以南のバス停

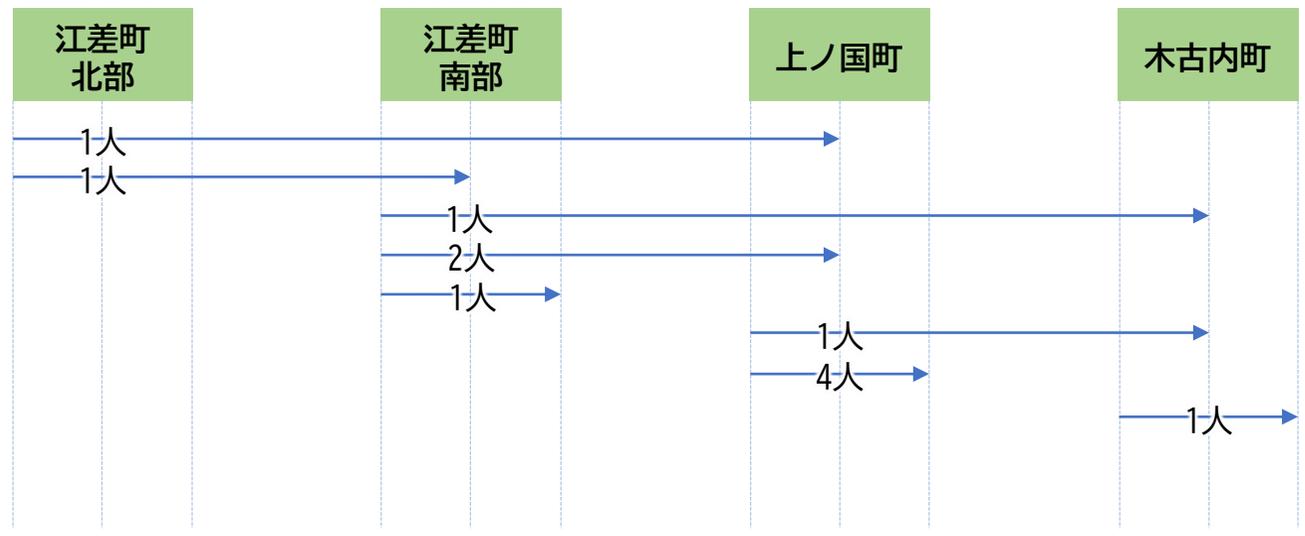
乗降者数	バス停
●	湯ノ岱
●	湯ノ岱温泉
●	中の沢 (上ノ国)
●	神明
●	膳棚
●	大川 (木古内)
●	吉堀
●	鶴岡禅燈寺前
●	鶴岡大谷地
●	木古内上町
●	国保病院前
●	木古内駅前



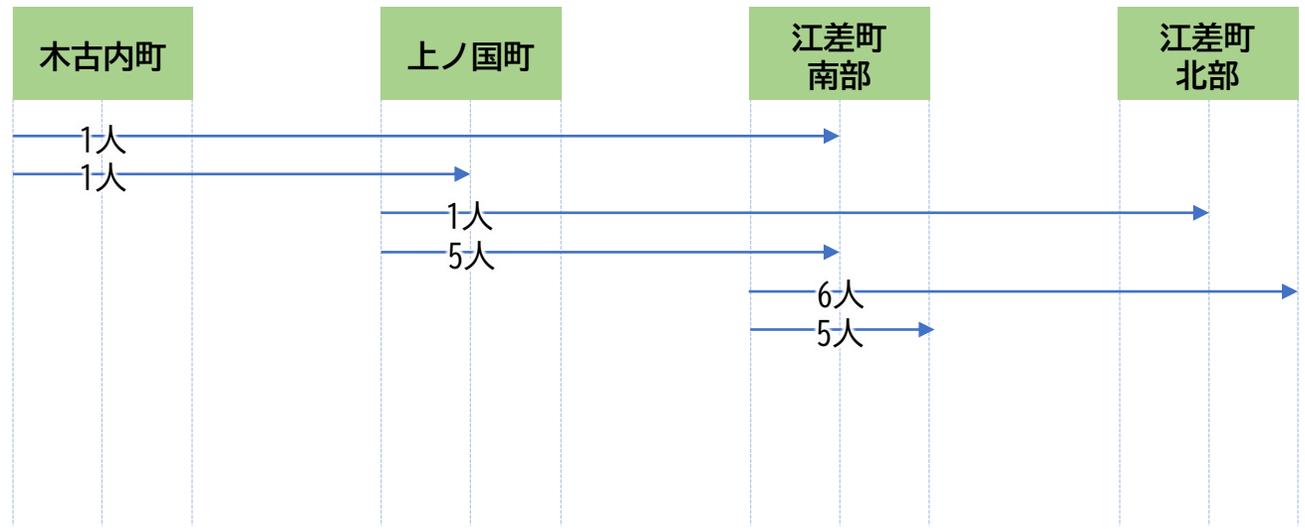
8. 江差・木古内線 (632系統)

4 OD整理

4-1 江差高校前→木古内駅前 (12:18発)



4-2 木古内駅前→江差病院前 (9:16発)



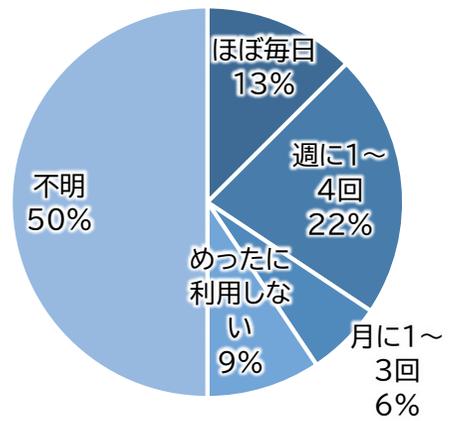


8. 江差・木古内線（632系統）

5 利用状況（利用者数 32人）

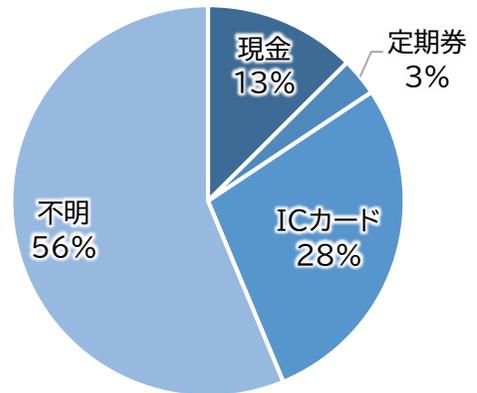
利用頻度

週に1回以上の利用が3割以上



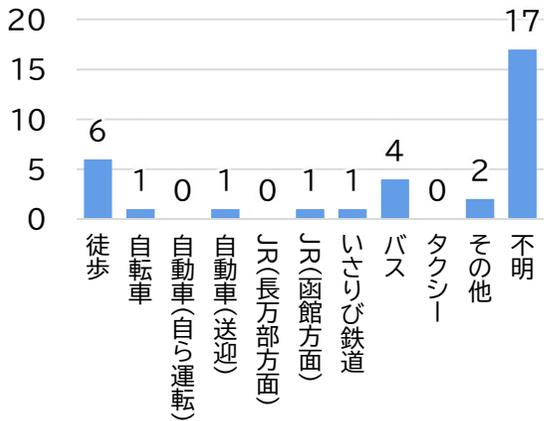
運賃の支払い方法

ICカードが3割程度



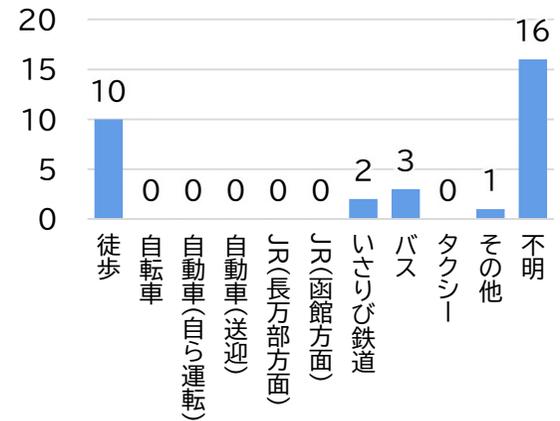
乗車前の交通手段

徒歩、バスの順が多い



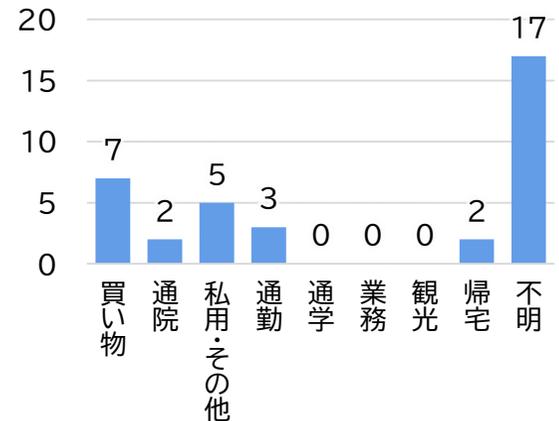
降車後の交通手段

徒歩が多い



利用目的

買い物、私用・その他の順が多い





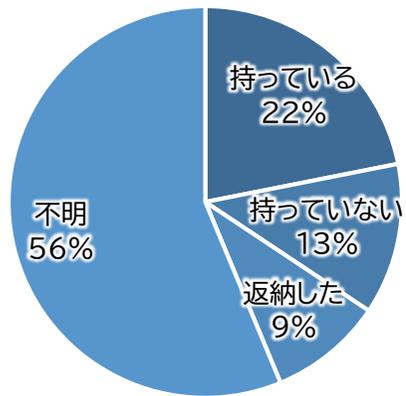
8. 江差・木古内線（632系統）

6 運転免許・自動車の保有状況（利用者数 32人）

7 運賃（利用者数 32人）

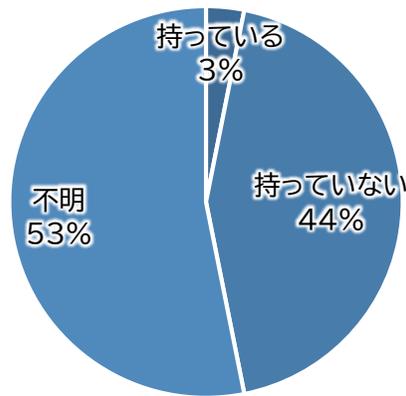
運転免許の保有

保有していない・返納したが合わせて2割



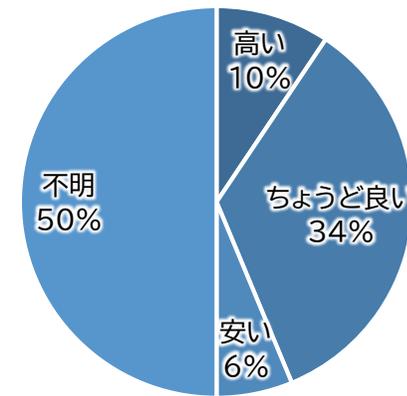
自動車の保有

保有していないが4割上



乗車区間の運賃

ちょうど良いが3割以上



9. 館線 (643系統)



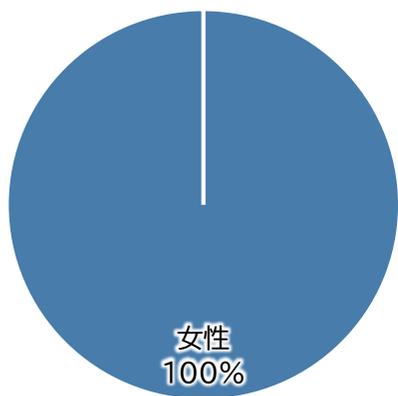
1 運行便数と利用者数

起点 → 終点	発時刻	着時刻	利用者数 (人)
富里 → 江差ターミナル	16時 46分	17時 57分	5

2 利用者の属性 (利用者数 5人)

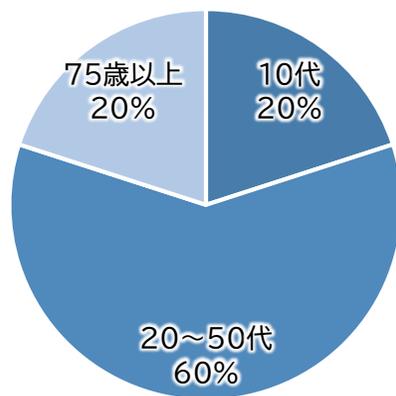
性別

女性のみ



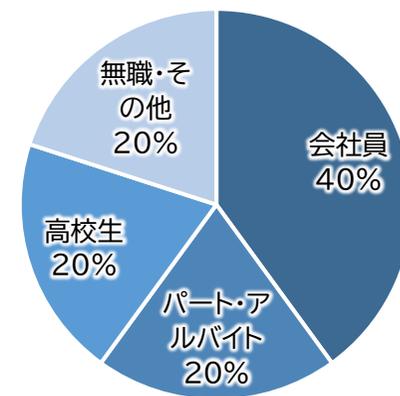
年齢

20～50代が6割



職業

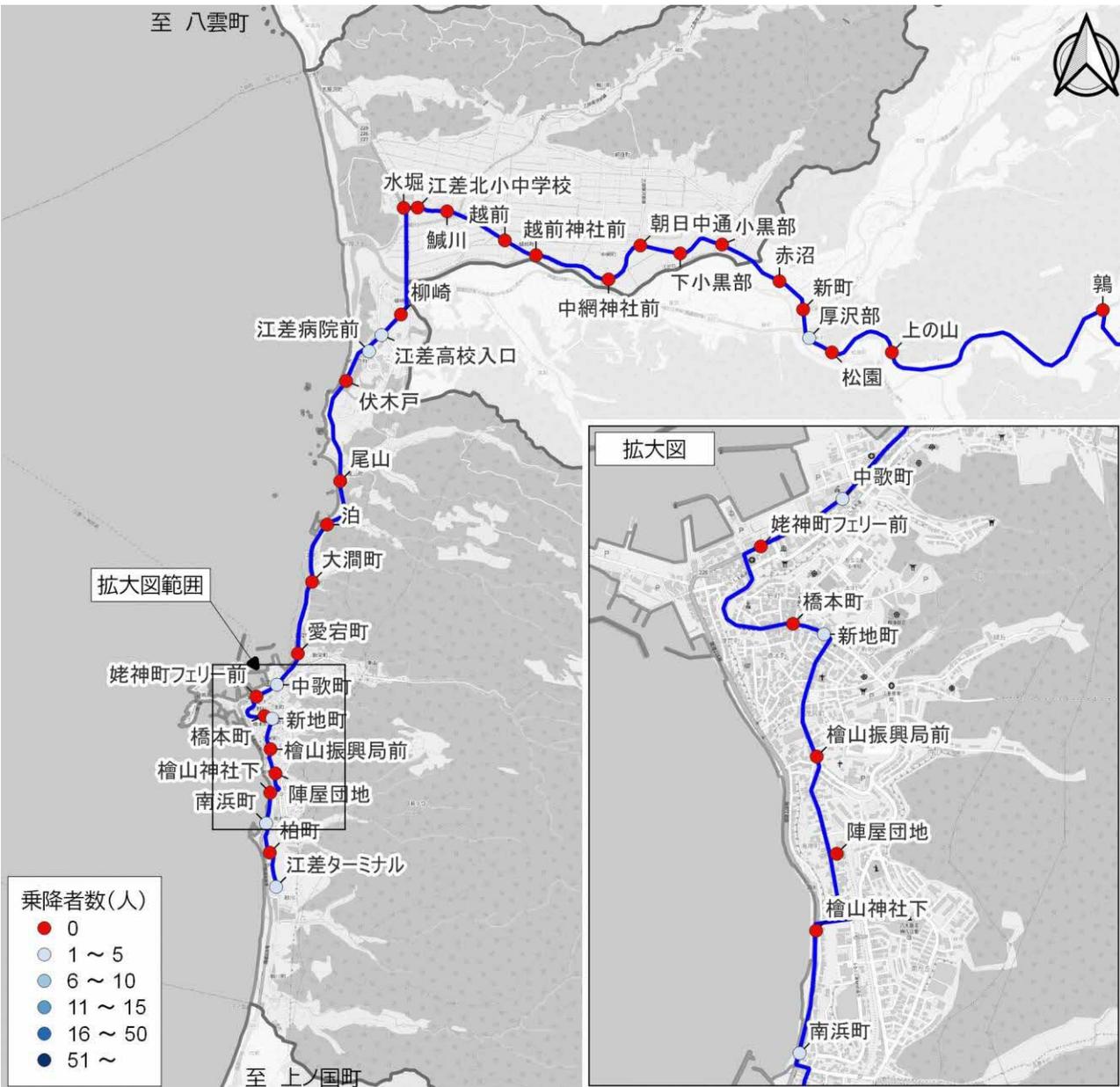
会社員、パート・アルバイトが合わせて6割



9. 館線 (643系統)



3 バス停別乗降者数



「鶉」以東のバス停

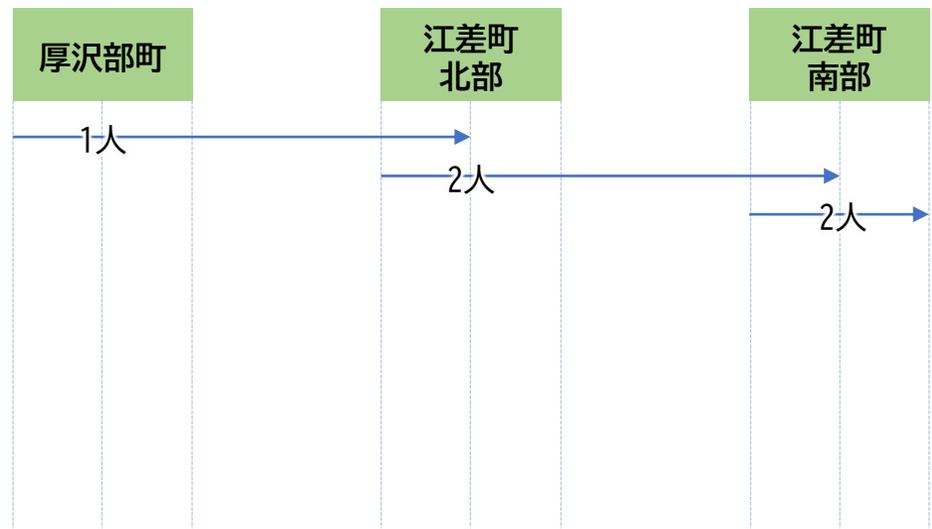
乗降者数	バス停
●	清和
●	館下
●	下館
●	館
●	東部館
●	集会場前
●	養豚場前
●	旧富里学校前
●	富里



9. 館線 (643系統)

4 OD整理

4-1 富里→江差ターミナル (16:46発)



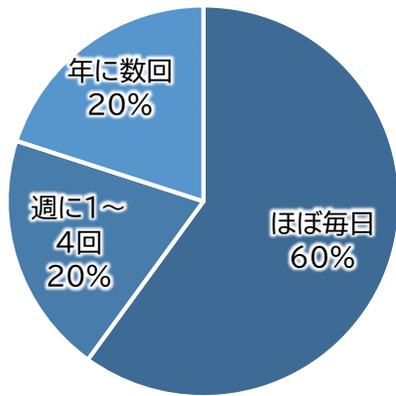
9. 館線 (643系統)



5 利用状況 (利用者数 5人)

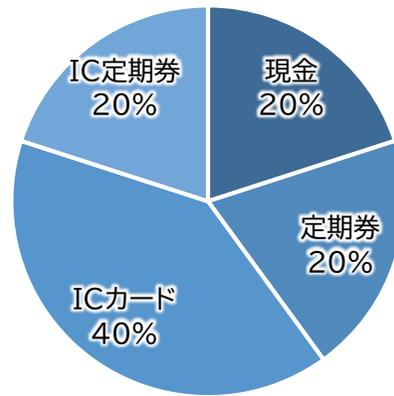
利用頻度

ほぼ毎日の利用が6割



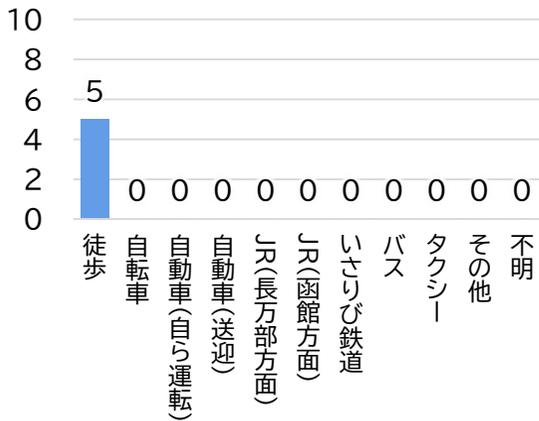
運賃の支払い方法

ICカードが4割



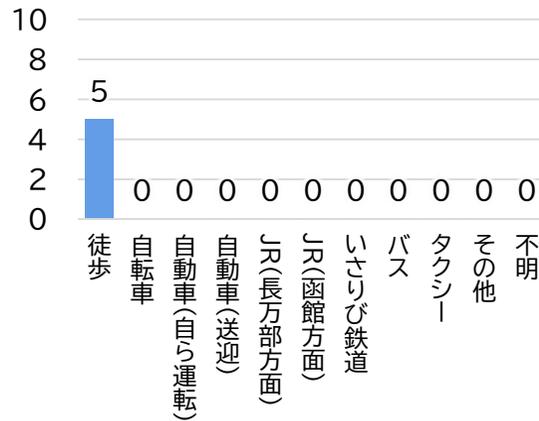
乗車前の交通手段

徒歩のみ



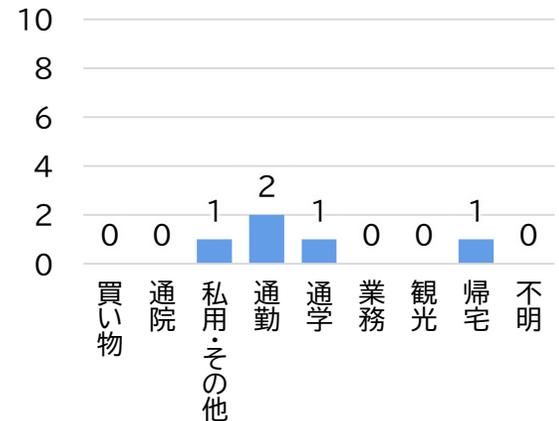
降車後の交通手段

徒歩のみ



利用目的

通勤、通学、私用・その他の利用



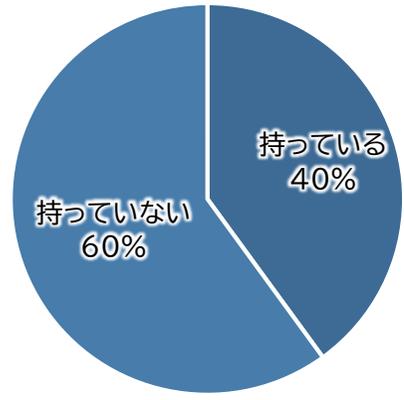


9. 館線 (643系統)

6 運転免許・自動車の保有状況 (利用者数 5人)

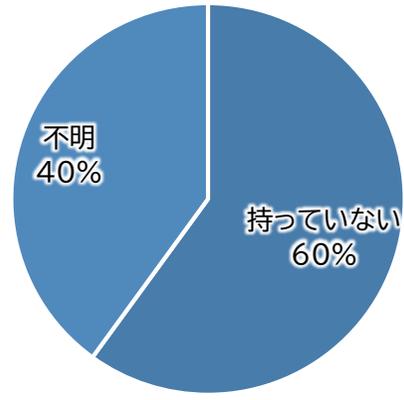
運転免許の保有

保有していないが6割



自動車の保有

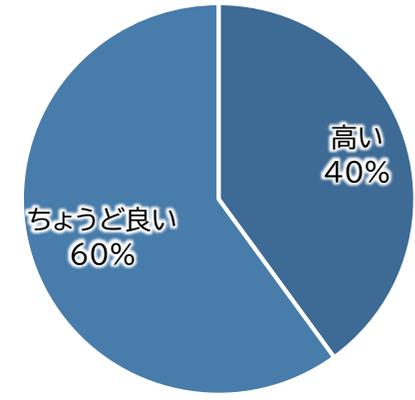
保有していないが6割



7 運賃 (利用者数 5人)

乗車区間の運賃

ちょうど良いが6割





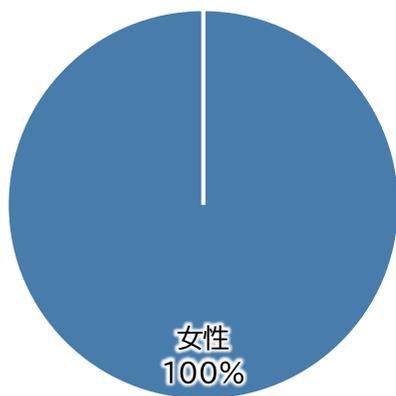
1 運行便数と利用者数

起点 → 終点	発時刻	着時刻	利用者数 (人)
富里 → 江差ターミナル	7時 22分	8時 28分	2

2 利用者の属性 (利用者数 2人)

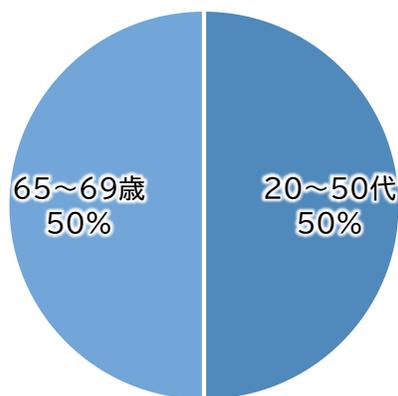
性別

女性のみ



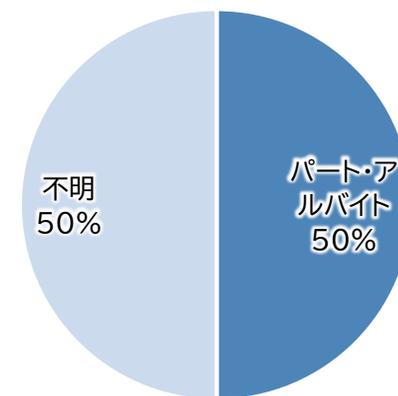
年齢

20～50代、65～69歳



職業

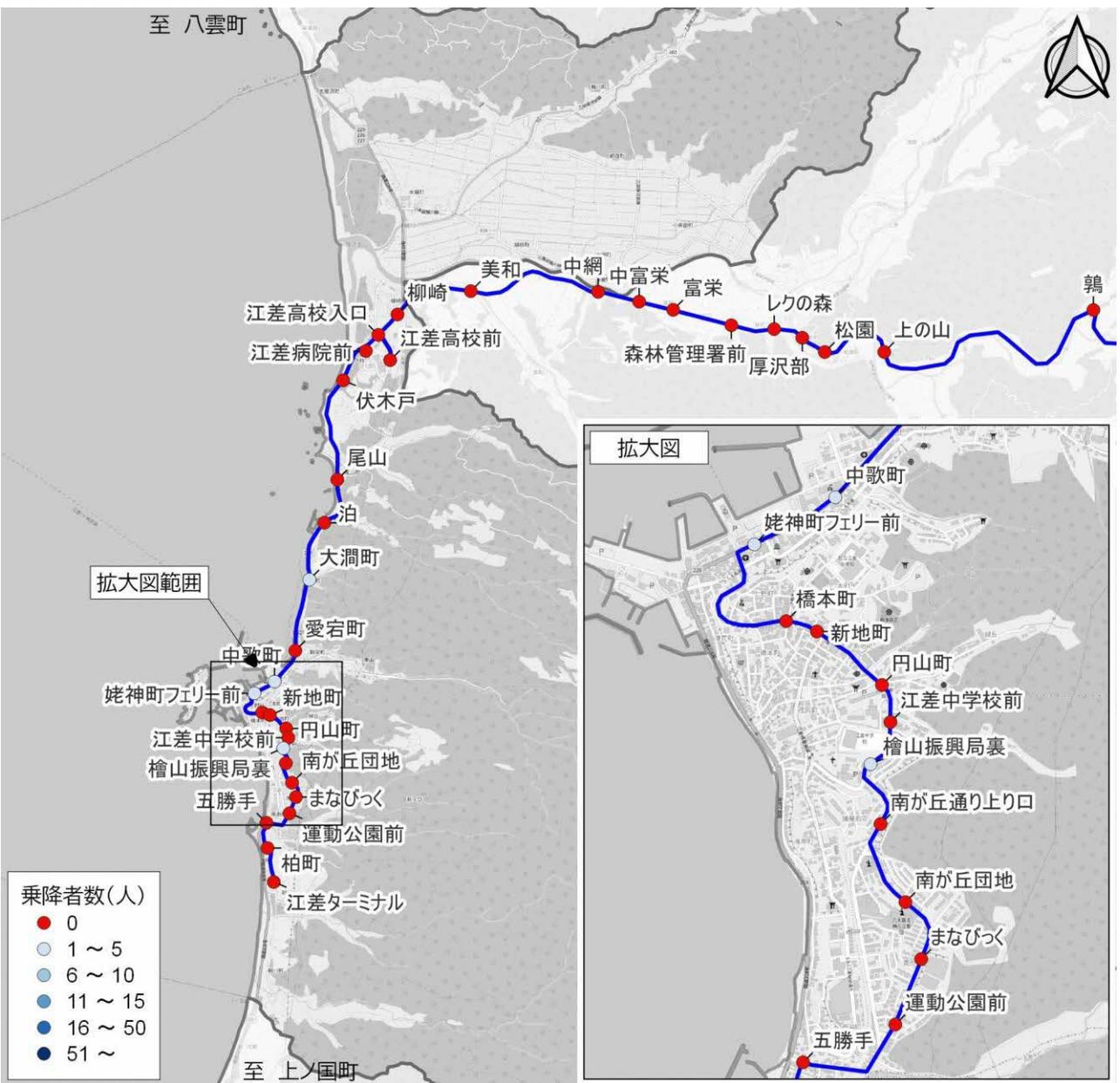
パート・アルバイトの利用



10. 館線 (644系統)



3 バス停別乗降者数



「鶉」以東のバス停

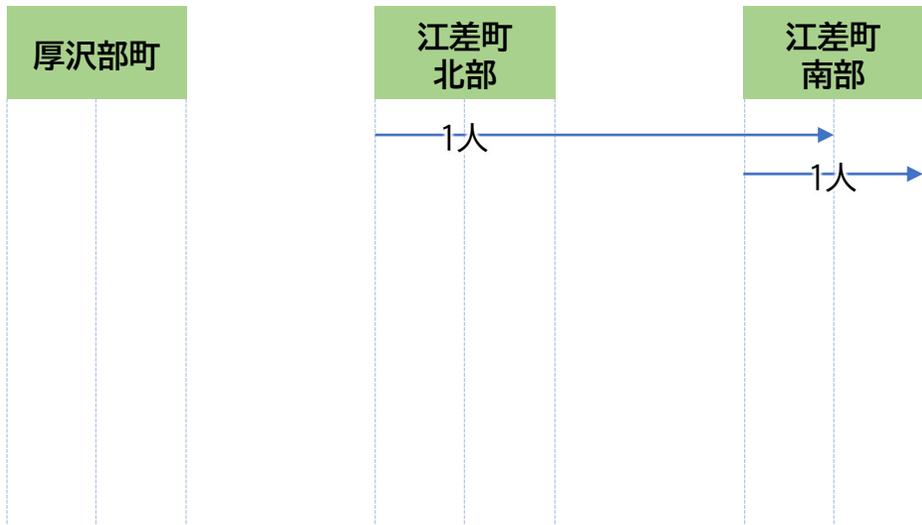
乗降者数	バス停
●	清和
●	館下
●	下館
●	館
●	東部館
●	集会場前
●	養豚場前
●	旧富里学校前
●	富里





4 OD整理

4-1 富里→江差ターミナル (7:22発)

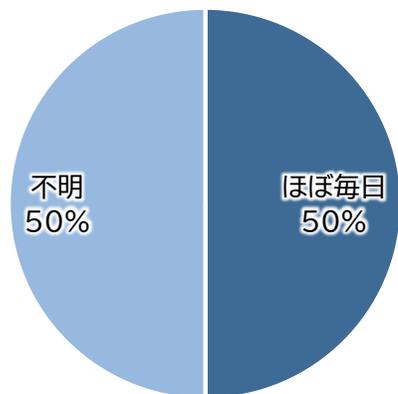




5 利用状況 (利用者数 2人)

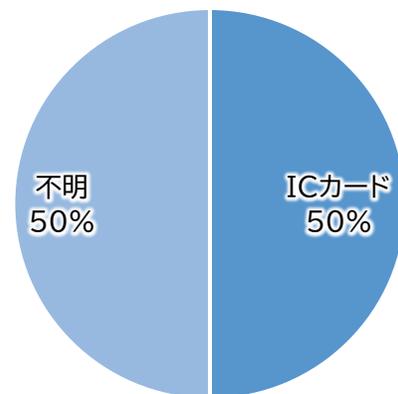
利用頻度

ほぼ毎日の利用



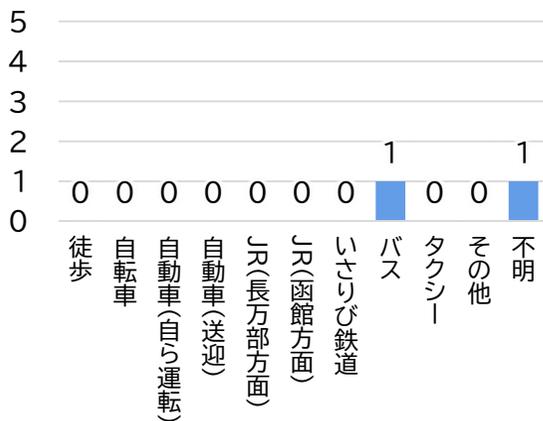
運賃の支払い方法

ICカードの利用



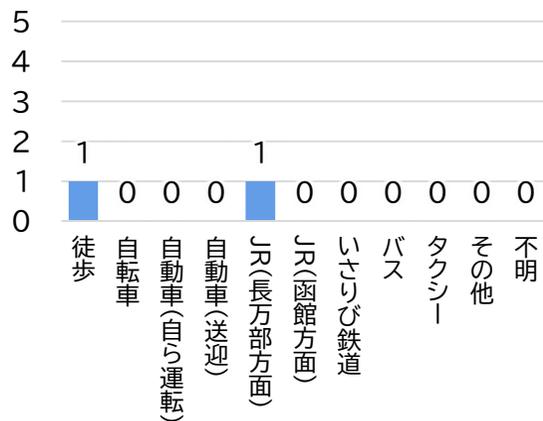
乗車前の交通手段

バスの利用



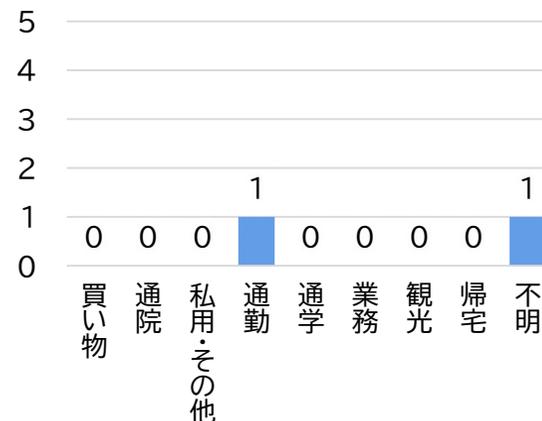
降車後の交通手段

徒歩、JRの利用



利用目的

通勤の利用



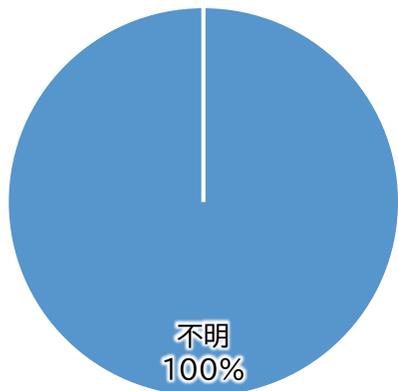


6 運転免許・自動車の保有状況 (利用者数 2人)

7 運賃 (利用者数 2人)

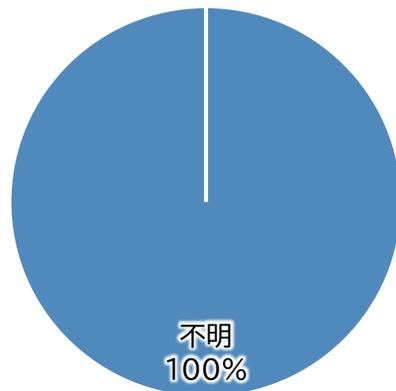
運転免許の保有

(不明)



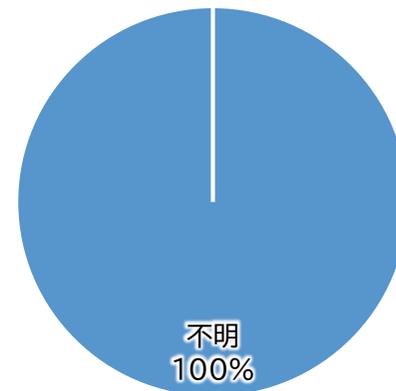
自動車の保有

(不明)



乗車区間の運賃

(不明)



1 1. 館線 (661系統)



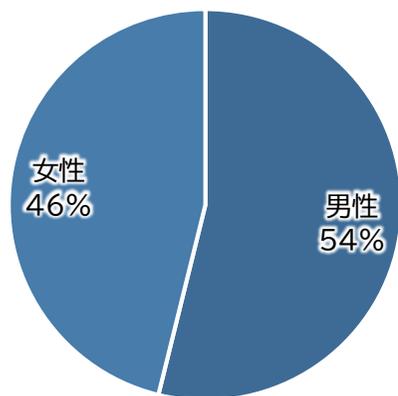
1 運行便数と利用者数

起点 → 終点	発時刻	着時刻	利用者数 (人)
江差ターミナル → 東部館	11時 55分	12時 58分	9
東部館 → 江差ターミナル	13時 8分	14時 11分	4

2 利用者の属性 (利用者数 13人)

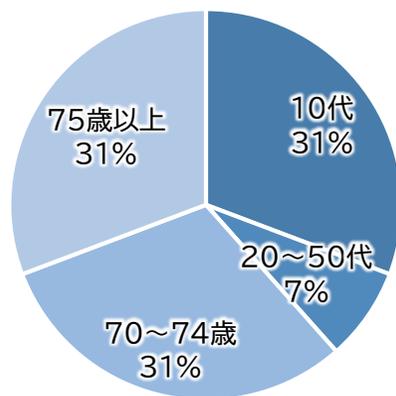
性別

男女ほぼ同数



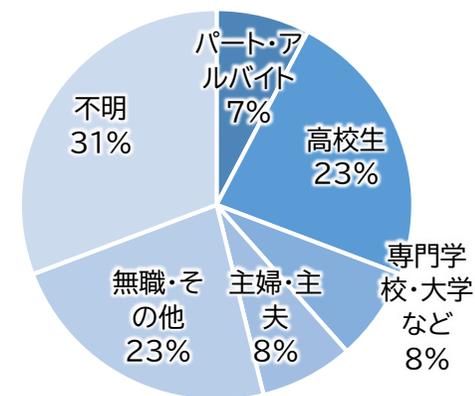
年齢

70歳以上が6割



職業

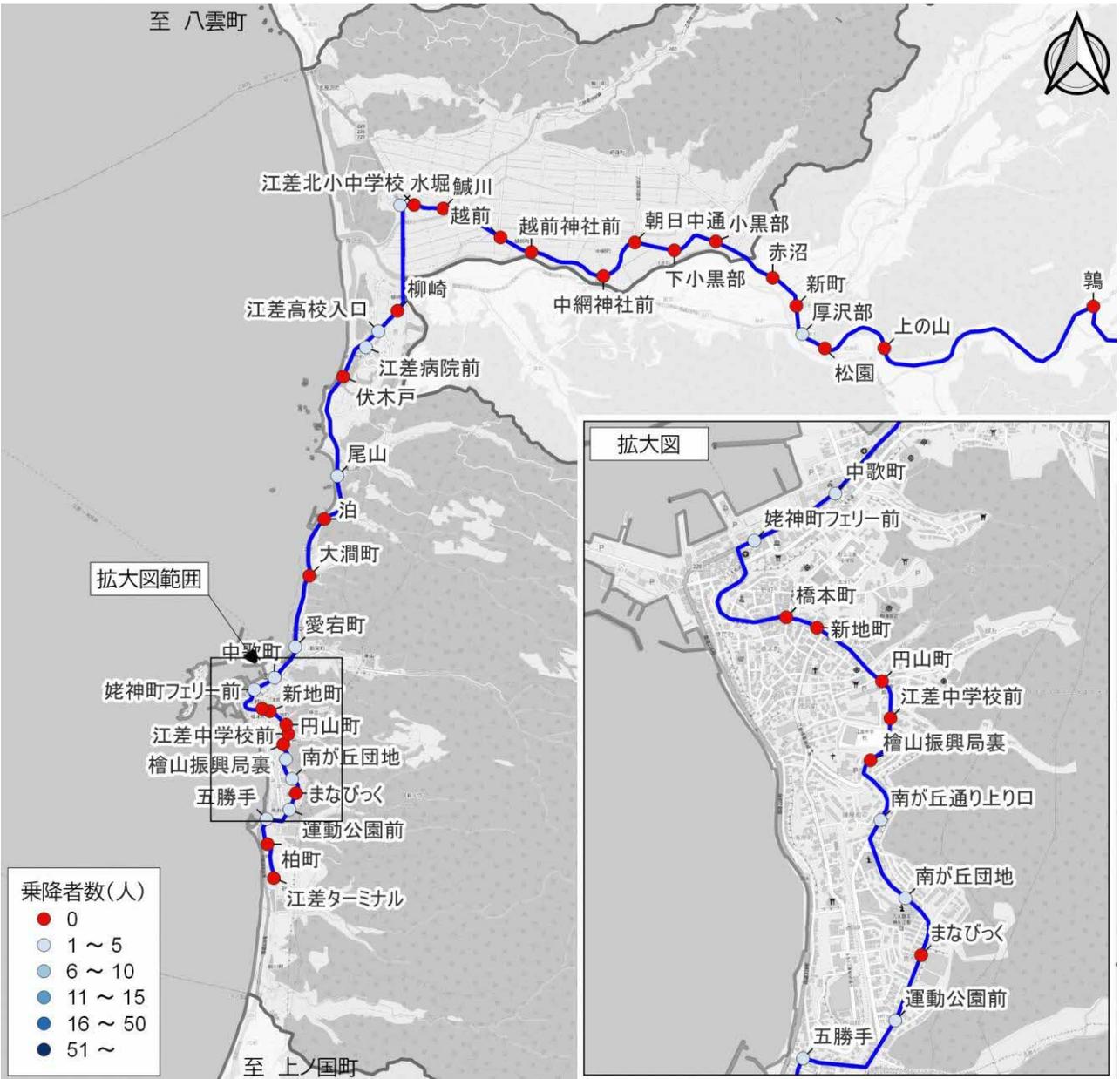
半数が無職・その他



1.1. 館線 (661系統)



3 バス停別乗降者数



「鶉」以東のバス停

乗降者数	バス停
●	清和
●	館下
●	下館
●	館
●	東部館

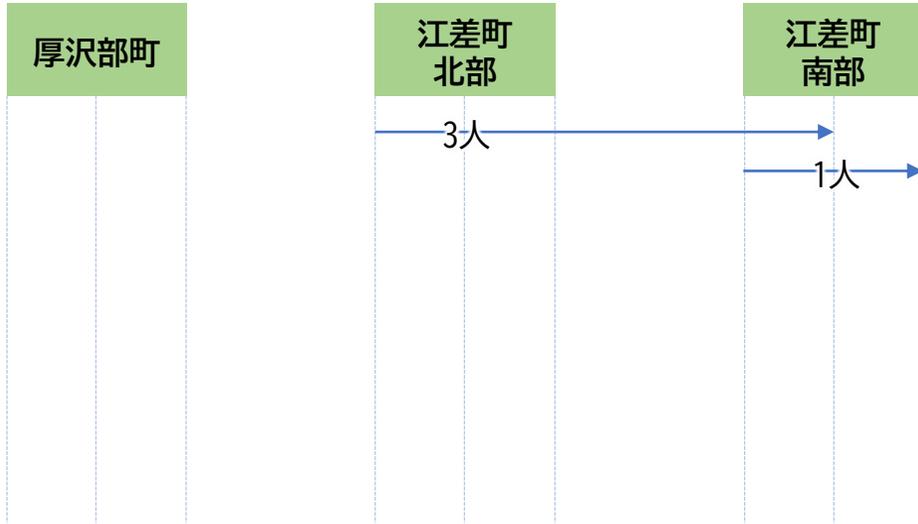


1 1. 館線 (661系統)

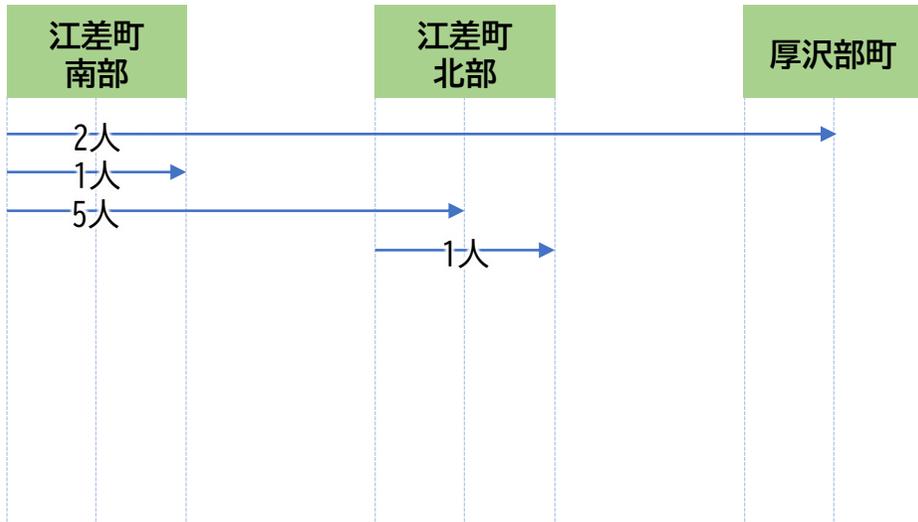


4 OD整理

4-1 東部館→江差ターミナル (13:08発)



4-2 江差ターミナル→東部館 (11:55発)



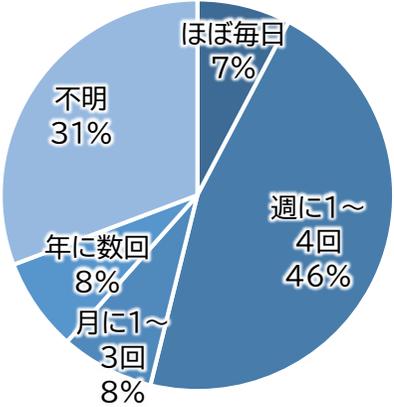
1.1. 館線 (661系統)



5 利用状況 (利用者数 13人)

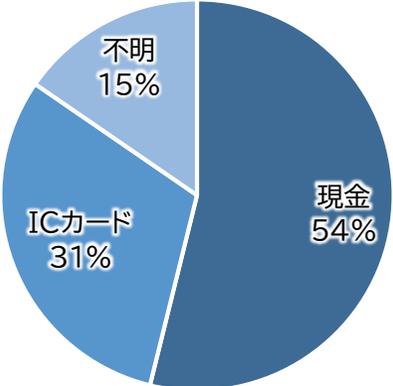
利用頻度

週に1回以上の利用が半数



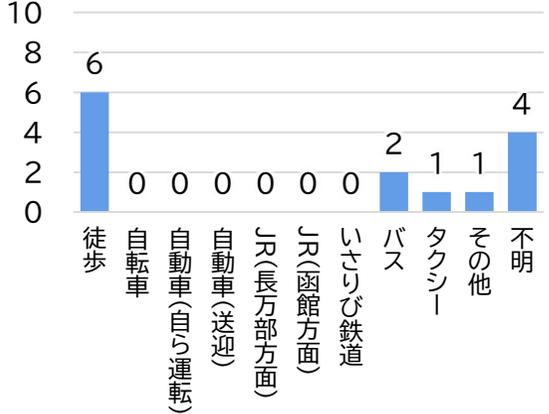
運賃の支払い方法

現金が半数



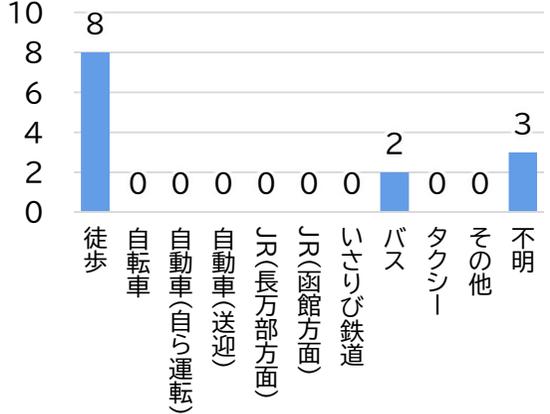
乗車前の交通手段

徒歩、バスの順が多い



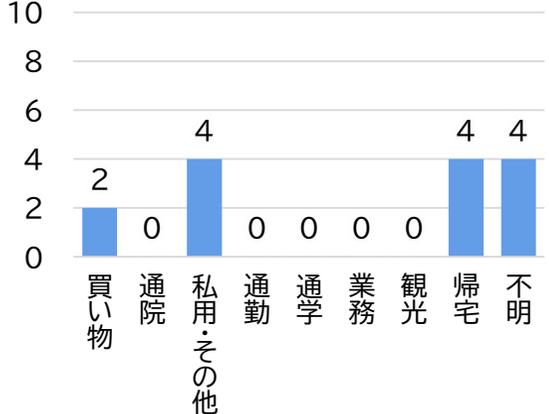
降車後の交通手段

徒歩、バスの順が多い



利用目的

帰宅以外では、私用・その他、買い物の順が多い



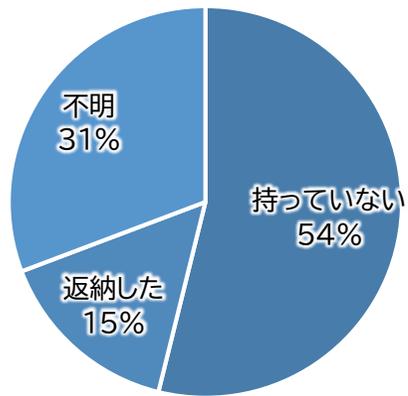


6 運転免許・自動車の保有状況 (利用者数 13人)

7 運賃 (利用者数 13人)

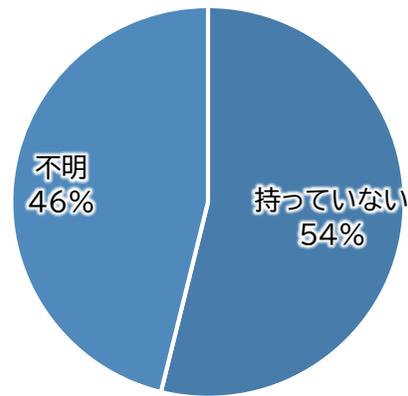
運転免許の保有

保有していないが半数



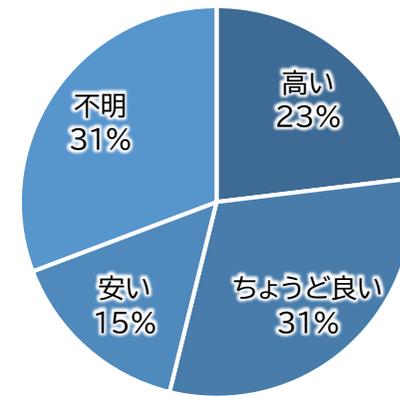
自動車の保有

保有していないが半数



乗車区間の運賃

ちょうど良いが3割



1 2. 稲見線 (651系統)



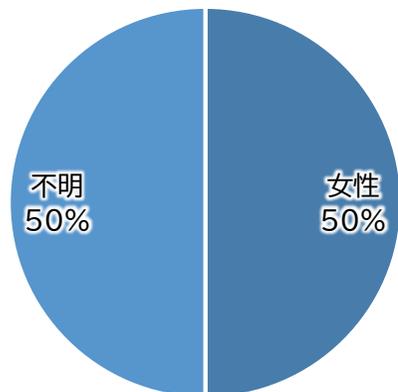
1 運行便数と利用者数

起点 → 終点	発時刻	着時刻	利用者数 (人)
稲見 → 江差ターミナル	7時 32分	8時 23分	2

2 利用者の属性 (利用者数 2人)

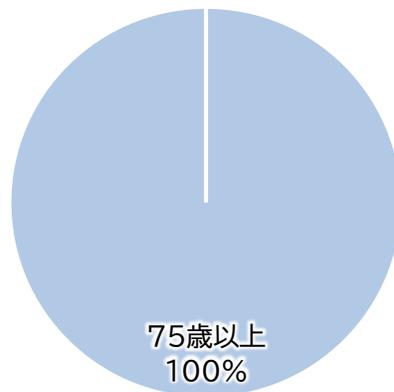
性別

女性の利用



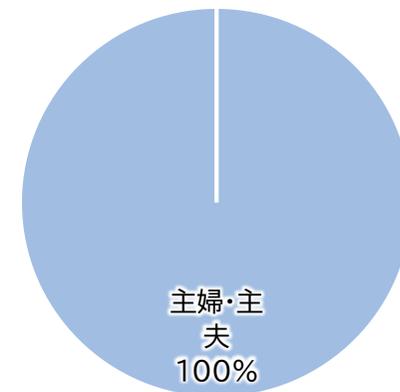
年齢

75歳以上の利用



職業

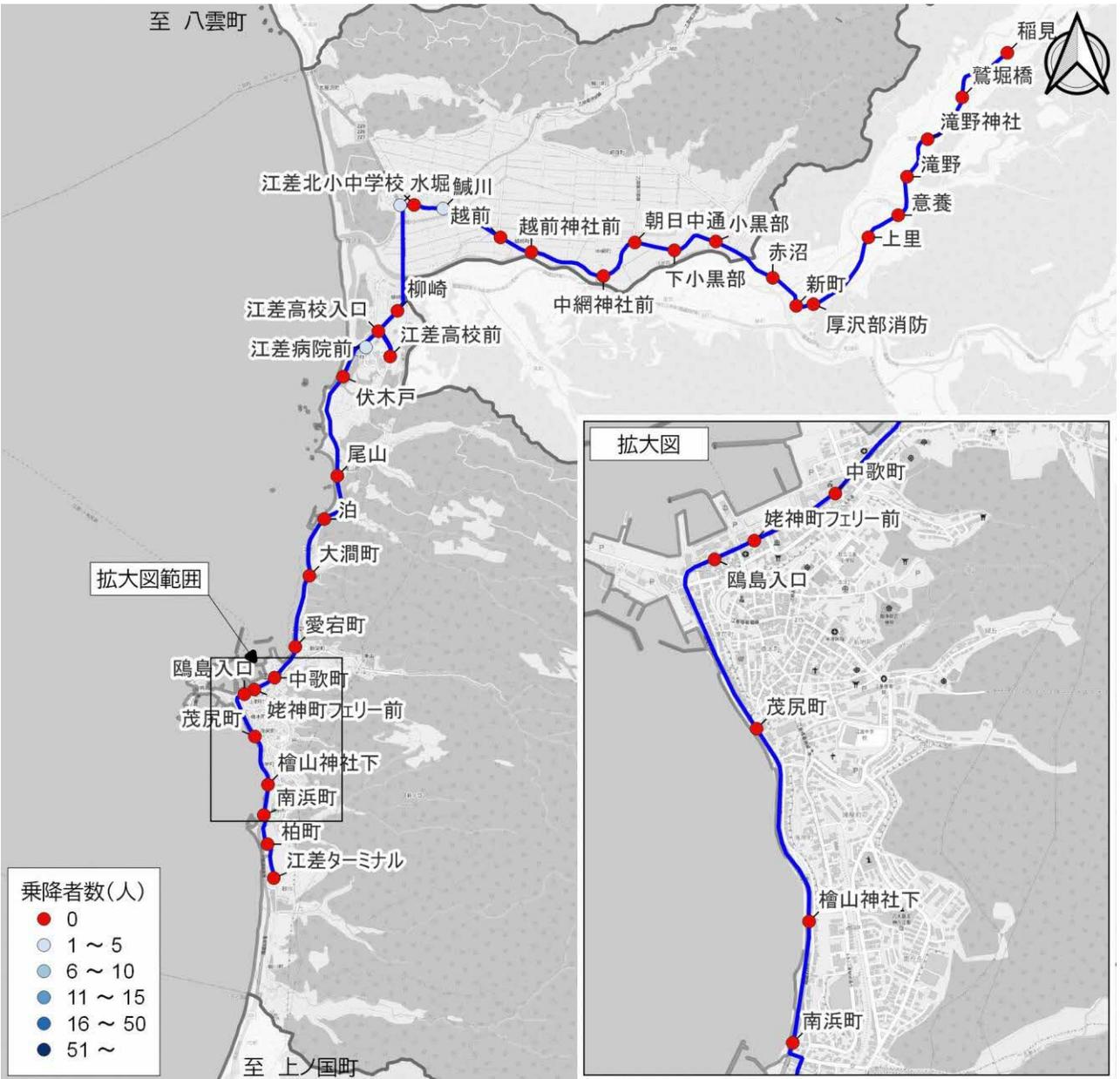
半数が無職・その他



1 2. 稲見線 (651系統)



3 バス停別乗降者数

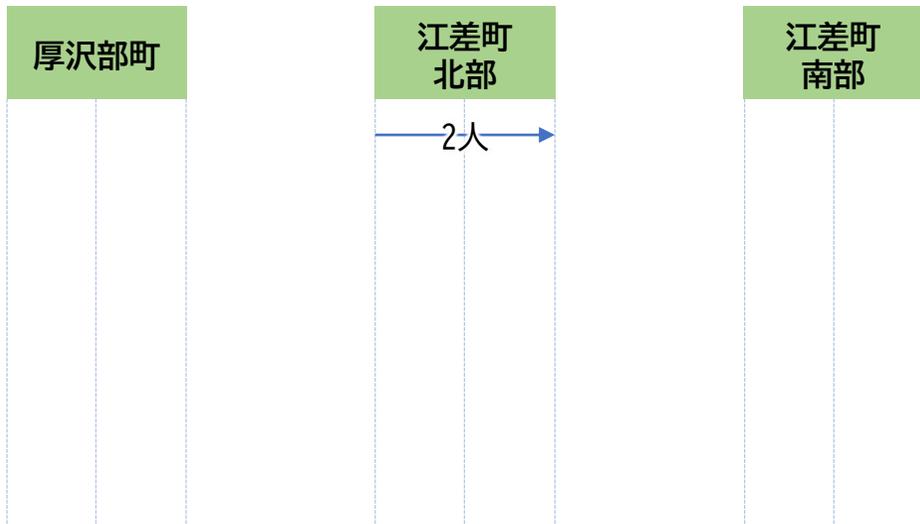


1 2. 稲見線 (651系統)



4 OD整理

4-1 稲見→江差ターミナル (7:32発)



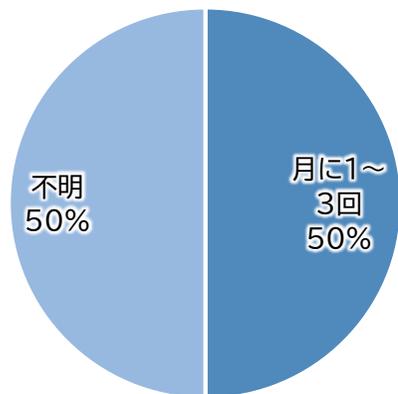
1 2. 稲見線 (651系統)



5 利用状況 (利用者数 2人)

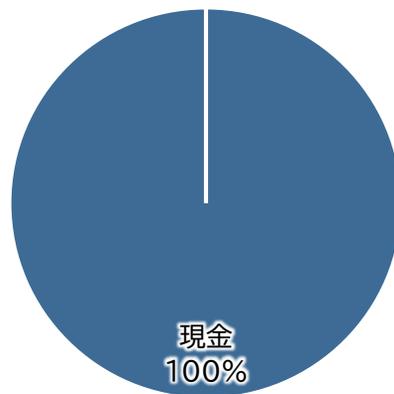
利用頻度

月に数回の利用



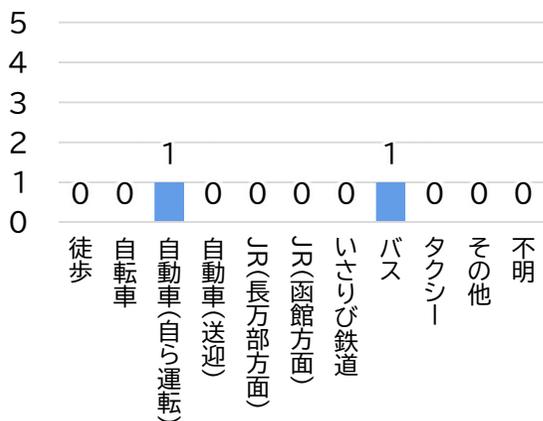
運賃の支払い方法

現金のみ



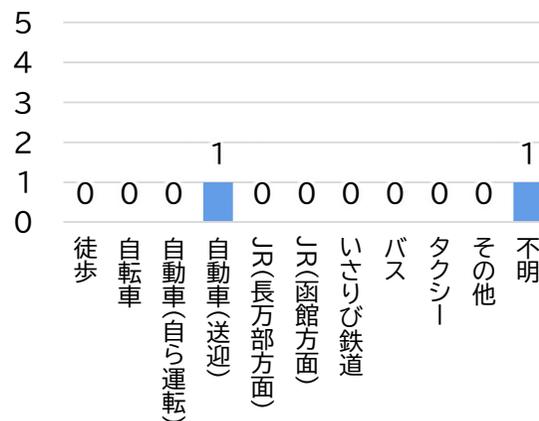
乗車前の交通手段

自ら運転、バス



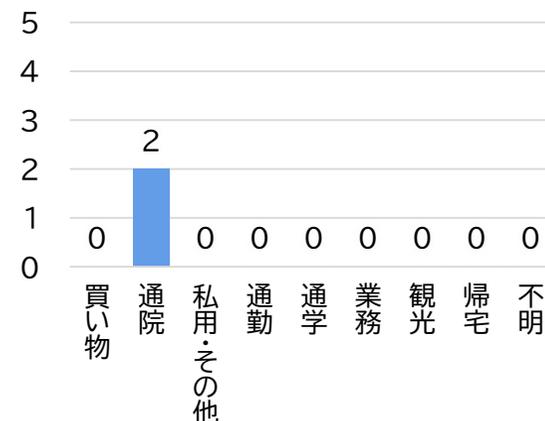
降車後の交通手段

送迎



利用目的

通院での利用



1 2. 稲見線 (651系統)



6 運転免許・自動車の保有状況 (利用者数 2人)

7 運賃 (利用者数 2人)

運転免許の保有

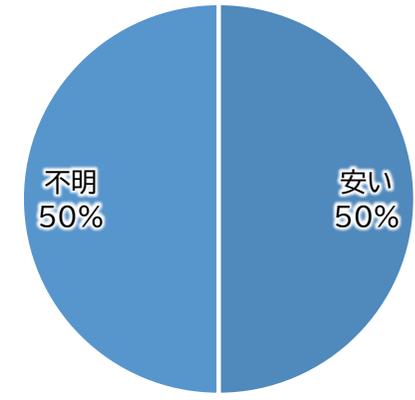
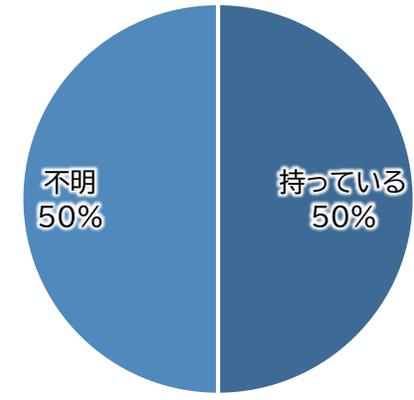
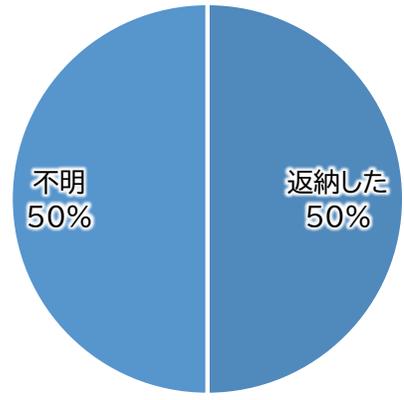
自動車の保有

乗車区間の運賃

返納

保有している

安い



令和4年度第2回 江差町地域公共交通活性化協議会 資料

関係者ヒアリングの結果

作成：日本データサービス株式会社



1.	江差町地域公共交通計画の策定について	2
1-1	計画策定の目的	2
1-2	計画策定までのフロー	2
2.	関係者ヒアリングの概要	3
2-1	実施目的	3
2-2	実施日程・場所・対応者	3
3.	関係者ヒアリング結果のまとめ	4
3-1	町内を運行する移動手段と利用者属性の整理及び課題整理	4
4.	関係者ヒアリング結果の詳細	5
4-1	江差町高齢あんしん課	5
4-2	江差町社会福祉協議会	5
4-3	江差町町民福祉課	6
4-4	江差町追分観光課	6
4-5	江差町教育委員会学校教育課	7
4-6	ヘルパーステーションゆいっこ	7
4-7	特定非営利活動法人南松山在宅福祉支援ゆい	8
4-8	ハートランドフェリー株式会社	8
4-9	函館バス株式会社江差営業所	9
4-10	有限会社松山ハイヤー	9
4-11	町立保育園	10
4-12	道立江差病院	10

1. 江差町地域公共交通計画の策定について



1-1 計画策定の目的

- ・町内を運行する公共交通の効率的な運行
- ・町内に存在する交通空白地域への対応
- ・まちづくり計画との整合性を図った公共交通網の構築
- ・積極的に公共交通を使う町民の意識醸成

これらを解決し、

江差町に住み続けられる公共交通網を構築

することを目的に江差町地域公共交通計画を策定

1-2 計画策定までのフロー

R3年度 (実態把握フェーズ)

- ◆**現況交通実態調査**
 - ・人口分布等の地域概況整理及び利用実態調査等を通じて町内を運行している公共交通の運行・利用実態を整理
- ◆**町民ニーズ把握調査**
 - ・町民の公共交通へのニーズ把握に向け、約1,700世帯を対象にアンケート調査を実施
- ◆**町民意見交換会**
 - ・町民が普段感じている公共交通に関するニーズ等の把握に向けた町民意見交換会を開催

R4年度 (計画策定フェーズ)

- ◆**バス利用実態調査**
 - ・江差町内を運行するバス路線（8路線）の利用実態調査の実施
- ◆**町民意見交換会**
 - ・R3年度で調査した結果を踏まえ、計画期間で実施していく施策内容について協議
- ◆**地域公共交通計画（案）の作成**
 - ・町民ニーズを踏まえ、施策や目標値を記載した地域公共交通計画（案）を作成
- ◆**計画推進に向けた関係者ヒアリング**
 - ・計画策定後、早期の計画着手に向け、運行計画の作成など、関係者へのヒアリングを実施
- ◆**実証運行計画の立案・実証運行の支援**
 - ・計画策定後、町内交通の本格運行を行っていくことを見据え、ルート・エリア、便数、時刻、運賃等を明記した実証運行計画を策定するとともに、実証運行までの準備・取りまとめ等を実施

R5年度以降 (施策実施フェーズ)

- ◆**施策施行
(実証運行・本格運行等)**
 - ・令和4年度に実施予定の実証運行及び実証運行結果を踏まえた本格運行計画等の策定を実施
 - ・江差町地域公共交通計画に示す、利用促進策等も適宜実施



2. 関係者ヒアリングの概要

2-1 実施目的

- ・江差町地域公共交通計画を策定していく上で、町内を運行する各種交通資源に係る関係者の**現状及びニーズを把握**することを目的に、関係者ヒアリングを実施

2-2 実施日程・場所・対応者

分類	開催日	場所	対応者	
庁内関係部署	令和4年5月17日（火）	江差町役場	江差町高齢あんしん課	三好課長、畑主幹、明上主任、金澤保健師、畑主任、野口主事
		江差町社会福祉協議会	江差町社会福祉協議会	中島事務局長
	令和4年8月16日（火）	江差町役場	江差町町民福祉課	竹内課長、兵庫谷主幹
		江差町役場	追分観光課	畑課長、浅見事務局長
		江差町役場	学校教育課	西山主幹、関田校長
交通事業者	令和4年5月17日（火）	ヘルパーステーションゆいっこ	ヘルパーステーションゆいっこ	奈良管理者
	令和4年5月18日（水）	特定非営利活動法人南松山在宅福祉支援ゆい	特定非営利活動法人南松山在宅福祉支援ゆい	小野寺理事長
		ハートランドフェリー株式会社江差支店	ハートランドフェリー株式会社	佐藤支店長、佐野課長
		函館バス株式会社江差営業所	函館バス株式会社江差営業所	横山係長、寺澤所長代理
		有限会社松山ハイヤー	有限会社松山ハイヤー	菊池部長
その他	令和4年8月16日（火）	江差町役場	かもめ保育園	矢口副園長
	令和4年8月17日（水）	江差町役場（WEB会議）	道立江差病院総務課	成田主任



3. 関係者ヒアリング結果のまとめ

3-1 町内を運行する移動手段と利用者属性の整理及び課題整理

	学生	一般	高齢者	要介護 ・要支援	観光客	島民	課題
路線バス（町内移動）	○	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・坂道等の関係でバス停までのアクセスが大変 ・フェリーとの乗継時間が長い
路線バス（町外移動）	○	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・運行キロが長く、所要時間が長い ため、通学利用は困難 ・坂道等の関係でバス停までのアクセスが大変 ・フェリーとの乗継時間が長い
ハイヤー	○	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・バス交通と比較して運賃が高い ・乗務員不足
福祉有償運送	×	×	×	○	×	×	<ul style="list-style-type: none"> ・運賃が安く、運営継続が困難
おでかけサポート事業	×	×	×	○	×	×	-
フェリー事業	×	×	×	×	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・奥尻島内の宿泊施設の不足 ・燃料高騰などにより、運営維持が困難
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バスの定期券代 が高いなどの影響か ら家族による送迎 	<ul style="list-style-type: none"> ・自家用車への依存が 強く、公共交通利用 に繋がらない 	<ul style="list-style-type: none"> ・非運転者の足の確保 が急務 	-	<ul style="list-style-type: none"> ・町内観光施設へのア クセスが不備な施設 も存在 	<ul style="list-style-type: none"> ・江差町内での公共交 通の移動が待ち時間 等の関係から不便 	<p>■江差町地域公共交通計画に おけるターゲット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生 ・高齢者 ・観光客 ・島民



4. 関係者ヒアリング結果の詳細

4-1 江差町高齢あんしん課

- 実施事業について
 - ・高齢者交通費助成事業（65歳以上の高齢者、特定医療費受給者）
 - ・高齢者等外出支援サービス事業（65歳以上の要介護もしくは要支援）
 - ・福祉バスの運行（老人クラブや町内会、福祉関係の研修などの団体）
 - ・ぬくもり保養センター無料送迎バス（65歳以上の高齢者）

- 事業実施に係るリソースについて
 - ・福祉バスの運行で2台のバス車両を保有（20人乗り1台、40人乗り1台）
 - ・運転手は高齢者事業団（60歳以上の高齢者）で運行
 - ・このほか、65歳以上を対象とした「がっつり運動教室」や「いきいき健康教室」で送迎を実施

- 町民から挙がっている移動に関する要望について
 - ・福祉有償運送は夜間営業を行っていないので、緊急対応の面からもハイヤー事業者の確保は町として必要
 - ※ハイヤー事業者の営業時間：深夜2時まで
 - ・生活支援体制整備事業では、一番の課題として「移動」が挙がった
 - ・地域住民間での運送の話も挙がっているが、体制構築が課題

4-2 江差町社会福祉協議会

- 福祉有償運送について
 - ・要介護を対象に実施
 - ・運転手は、訪問介護員（国土交通省の認定）、他、中島事務局長、高齢者事業団1人
 - ・町内移動のみを対象

- おでかけサポート事業について
 - ・おでかけしづらい高齢者等の方を対象に、商業施設で買い物などができる支援を実施
 - ・家から出ていただいて、元気を継続することを目的

- 福祉有償運送及びおでかけサポート事業の継続に向けて
 - ・福祉有償運送の運賃（片道150円）だけでは、福祉有償運送単独では事業継続が難しく、他事業との絡みで継続させている
 - ・おでかけサポート事業の事業継続に向けては、ボランティアを募集するなど、人員確保が必要
 - 江差高校の学生と連携して、高校生がボランティア活動を実施



4. 関係者ヒアリング結果の詳細

4-3 江差町町民福祉課

■実施事業について

- ・在宅で重度の身体・知的障がい者の方を対象に、障害者等福祉タクシー利用助成事業を実施
- ・タクシー1回の乗車につき5枚まで使用できる利用券(500円)を1年間に60枚を限度に交付
- ・その他、公共交通運賃の障がい者割引も実施

■福祉タクシー事業について

- ・主な利用目的は買い物・通院など様々、町外への利用時のみ、医療機関に限定
- ・町内のタクシーだけでなく、近隣町のタクシー会社や介護タクシーも利用できる制度

■町民から挙がっている移動に関する要望について

- ・江差マースは移動の重要なツールとなり得るため、地域公共交通の検討の際には、対象エリアや運行ルートなどの設定が重要
- ・地域福祉計画策定の際のアンケートから、約3割の方は「身近な交通手段がないこと」を江差町の問題点として認識している

4-4 江差町追分観光課

■町内の観光動態について

- ・7月～9月は、各種祭りの開催により入込客数が多く、4月～9月までの上半期で年間入込客数の9割を占める
- ・下半期は、ほとんど観光客の宿泊がないため、工事関係者が主な宿泊層
- ・上半期は、かもめキャンプ場やマリンレジャー体験などの企画はあるが下半期は、企画検討段階

■奥尻町民の移動状況

- ・江差ターミナルにセカンドカーを置いている方が多い
- ・主な行き先は、函館市

■観光に係る移動について

- ・新幹線開通後から、道外観光客が増え、全体の4割程度
- ・新幹線の場合、新函館北斗駅が発着地
- ・江差町までの基本的な移動は、自家用車もしくはレンタカー
- ・祭り開催期間は、バス利用が一部みられることもある
- ・かもめキャンプ場周辺には、買い物施設や入浴施設がないため、一定の移動需要があると思われる
- ・上町の施設には駐車場が少なく、購買機会を逸している可能性
- ・ライドシェアサービスのようなものも有効



4. 関係者ヒアリング結果の詳細

4-5 江差町教育委員会学校教育課

- **スクールバスについて**
 - ・函館バス及び桧山ハイヤーに運行を委託
 - ・町内3方面（朝日、日明、柳崎）に1日3便の運行を基本としている
 - ・また、学休日には部活動バスも運行している
 - ・以前は部活動便を一般バス路線で代替していたが、利用者数減により、活用がなくなった
 - ・停車場所は基本的には函館バス停留所を活用しており、場所によってはスクールバス用の停留所を設置している

- **一般混乗の実施可能性について**
 - ・スクールバスの空席が少なく、ダイヤ的にも難しいと思われる
 - ・スクールバスへの一般混乗よりも、一般バス路線に小中学生を同乗させるやり方が他自治体の事例としてあるが、生徒たちの通学時間に合ったダイヤ編成が可能かどうかは難点

- **町内の学校の状況について**
 - ・江差小、江差北小（全校45人）、南が丘小の3校
 - ・当初は江差北中学校のスクールバスからスタートし、現在は小学校まで拡大
 - ・江差北小学校近くの信号は、自動車の抜け道になっており、速度を出す自動車が多く危険

4-6 ヘルパーステーションゆいっこ

- **福祉有償運送について**
 - ・要介護1以上及び障がい認定の方を対象
 - ・運転手は国土交通省の認定を受けて、運行を実施（運転手数は、6人（うち主には3人））
 - ・保有車両台数は、2台（セダン（車いすを積めるようにしている）、軽自動車）
 - ・町内移動のみを対象

- **福祉有償運送の継続に向けて**
 - ・ガソリン代や賃金の高騰で、なかなか厳しい運賃設定（片道150円）のため値上げの可能性を要検討

- **町民から挙がっている移動に関する要望について**
 - ・病気になった際に、バスで移動するわけにはいかないので、福祉有償運送もしくはハイヤーのようなドアツードアの移動手段が必要



4. 関係者ヒアリング結果の詳細

4-7 特定非営利活動法人南桧山在宅福祉支援ゆい

- **福祉有償運送について**
 - ・登録者105人で、通院目的がほとんど（町内だと道立病院、歯科医院）
 - ・要介護及び障がいの方を対象（単身世帯、女性、要介護者が多い）
 - ・運転手4人（50代1人、60代2人、70代1人）
 - ・保有車両数4台（軽自動車、運転手個人の車両）
 - ・町内及び町外への移動も対象
 - ・コロナワクチン接種や繁次郎温泉などの移動手段としての利用もあり

- **福祉有償運送の継続に向けて**
 - ・道立病院は片道800円、町内は片道400円、函館方面は往復7,500円による一律運賃の設定であるが、他の事業者では距離制での運賃設定としているケースが多く見受けられるため、値上げの可能性を要検討
 - ・車の維持費などが高く、今後の継続性に不安がある
 - ・運転手の高齢化なども深刻化しており、事業継続が不安
 - ・上記の不安事を含め、江差マースの取組が本格化すると、解消の手立てになると考えている

4-8 ハートランドフェリー株式会社

- **フェリー事業について**
 - ・利用者数は新型コロナウイルス感染症の影響により激減（2019年で54,540人の利用が、2021年で38,587人）
 - ・利用者減少の主な利用者は、一般客
 - ・フェリー事業の主な利用は、奥尻島民の買い物や通院
 - 離島割引により、島民が現金支払いで半額で利用可

- **江差MaaSの実装化に向けた既存交通との連携**
 - ・バスとフェリーの接続が悪く、待ち時間が長いことから、その補完として、江差MaaSには期待をしている
 - ・江差町が奥尻島民の買い物場所として活性化することを期待している
 - 現状は島民がフェリー乗り場に自家用車を駐車し、島民同士でカーシェアを行っているが、島民の高齢化により今後も継続するかは見通しが不安定

- **フェリー事業継続に向けて**
 - ・燃料費の高騰による運航経費の圧迫
 - ・島内宿泊施設の不足による観光利用の低迷
 - ・島内の観光地としての整備不足



4. 関係者ヒアリング結果の詳細

4-9 函館バス株式会社江差営業所

■江差営業所管轄の路線について

- ・新型コロナウイルス感染症による影響に加え、人口減少の影響もあり、路線バス利用者は減少の一途を辿っている
- ・江差営業所管轄の路線は、ポンチョクラスの車両でも対応可能
→ポンチョクラスの場合には車両代が高額なことがネック

■広域交通について

- ・江差営業所管轄の広域路線について、運行キロが長大となっており、ハブ化などによる路線の短絡化が必要
→函館方面では、新函館北斗駅のハブ化が考えられる

■江差MaaSへの協力体制について

- ・江差MaaSへの協力について営業所としては協力をさせていただきたい
- ・電話予約等の協力も可能
- ・商業施設の売り出し関係をバス車内に掲示するなど可能

4-10 有限会社桧山ハイヤー

■ハイヤー事業について

- ・小型車両5台、9名乗り車両2台 計7台を保有
- ・運転手は6名（正規外は0人、大型2種保有者は2名）
- ・営業時間は朝7時から深夜2時まで

■その他事業について

- ・江差北中学校のスクールバス（部活対応のみ、登下校は人数が多く函館バスで対応）運行事業を実施

■ハイヤー事業の継続に向けて

- ・小型車両の多くは、札幌医大の先生の送迎で手一杯であり、小型車両①～2台で町内移動を賄っている状況
- ・運転手が不足しており、利用者が増加した段階で、対応が困難になる恐れ

■町民から挙がっている移動に関する要望について

- ・固定客が多く、利用者からの要望は特にはない
- ・観光客利用は、ほぼない（開陽丸付近の利用が多いが、ハイヤー利用にはつながっていない）

■江差MaaSへの関わりについて

- ・桧山ハイヤーなどの交通資源、商業施設等の経済循環を踏まえて、江差町としての交通体系の規模を検討していく必要がある
- ・ジャンボハイヤー車両の日中時間帯の空き時間を活用して運行は可能
→当初はスモールスタートとして、週1～2回程度の運行でも良いのではないか
- ・運転手確保が厳しいので、個別の対応は難しい
→乗合交通として、実施が望ましい
- また、委託料金の固定型ではなく、運賃メーターによる精算で行うと、町側としても余計な経費がかからない



4. 関係者ヒアリング結果の詳細

4-11 町立保育園

■通園時の交通手段について

- ・親の送迎がほとんどで、1世帯で自家用車を2台持っていることも少なくない
- ・たまに、祖父母が送迎していることもある
- ・朝は8時30分頃、帰りは17時くらいに集中している
- ・通園時の交通手段について、特に要望は挙がっていない

■江差町及び周辺自治体の子育て環境について

- ・町内には保育園が3箇所、認定こども園が1箇所、病院内保育1箇所の計5箇所の施設がある
- ・厚沢部町や上ノ国町から通園している家庭もある

4-12 道立江差病院

■通院者の状況について

- ・午前中に診療を終わらせたい通院者が多いため、7:50~10:30の時間帯に集中する傾向
- ・1日でおよそ160人の通院者が来ていると想定され、8割近くが午前中の診療を受けている

■通院時の交通手段について

- ・バスで来ている方は、診察開始時間よりも早く来ていることが多い
- ・バスでの通院は帰りの時間帯が合わず、診察が終わってから2時間以上待つケースもある
- ・タクシーも含め公共交通で来ている方は全体の3~4割くらいと想定される

■江差MaaSへの関わりについて

- ・病院という性格上、患者の情報と地域共通アプリとの整合性を保つことは、非常に重要なため、診療予約での活用に向けては十分な検討、協議が必要
- ・次回診察日と配車予約と連動があると便利
- ・乗り合い交通だと、病院側で来てほしい時間に来られない可能性があるため、医療面に配慮したシステム等が必要と思っている
- ・仮に連携する場合には、患者名の誤りなどの取り間違いは絶対に発生しないようにする必要がある

■町民から挙がっている移動に関する要望について

- ・公共交通の時間に合わせたいため、診察時間などの調整を求められることがある
- ・上ノ国町の透析患者は通院時に時間が合わないなど不便を感じている
- ・朝の時間帯はバス利用者が多く、座席に座れないことが多い

令和4年度江差マース実証実験に係る自家用有償旅客運送の登録に向けた協議

1. 趣旨

- (1) 昨年度から実施の新たな交通サービスの導入に向けた「江差マース実証実験」について、本年10月～11月にかけて江差町と包括連携協定を締結しているサツドラホールディングス株式会社を主体に、市街地中心部を対象エリアとするオンデマンドバスの実証運行（道路運送法第21条・一般旅客自動車運送事業による乗合旅客運送許可）を、有限会社桧山ハイヤーを運行事業者として実施中。
- (2) 本年12月以降においても、国土交通省「共創モデル実証プロジェクト（共創による地域交通形成支援事業）」を活用した上で「江差マース実証実験」を継続することとし、対象エリアの拡大などさらなる実証内容の充実化を図っていく。
- (3) 本年12月以降の実証運行については、江差町が実施主体となり住民の交通サービスを提供する「自家用有償旅客運送（市町村運営有償運送）」の登録を受けることとし、また、より安全な交通サービスの提供を行うため、交通事業者が市町村からの委託を受け、そのノウハウを活用し運行管理等を担う「事業者協力型」による自家用有償旅客運送を行う。

2. 運行概要

運行形態	<ul style="list-style-type: none"> 事前に乗降地点を設定の上、配車予約のあった乗降地点間のみを最短距離で運行する区域運行方式(オンデマンド型交通)とする 複数の配車予約がある場合には、予約状況に応じて複数乗車する乗り合い制を採用
旅客の範囲	交通空白地有償運送(町内に居住する住民及び町外からの訪問者(事前登録制))
運行区域	江差町全域(北部・南部に区分けしそれぞれの区域内での運行) <ul style="list-style-type: none"> 北部(五厘沢町、鯉川町、朝日町、小黒部町、中網町、越前町、水堀町、柳崎町、伏木戸町、田沢町、尾山町、泊町、大潤町) 南部(愛宕町、新栄町、豊川町、東山、桧岱、中歌町、姥神町、上野町、本町、橋本町、鷗島、津花町、茂尻町、新地町、緑丘、円山、陣屋町、海岸町、南が丘、萩の岱、南浜町、柏町、砂川、檜川町) ※1 別紙「【資料5】対象エリア図・運送エリア図」のとおり
事業者協力型(委託事業者)	【北部】函館バス株式会社 【南部】有限会社桧山ハイヤー
運行期間	令和4年12月6日(火)～令和5年1月31日(火) <ul style="list-style-type: none"> ※2 運行日は火曜日、水曜日、金曜日及び土曜日 ※3 年末年始(12月29日～1月3日)は運休とする ※4 12月6日(火)・7日(水)・9日(金)・10日(土)は無料運行とする
運行時間	【午前】8時～正午 【午後】1時～4時 <ul style="list-style-type: none"> ※5 土曜日のみ午後2時から午後5時までの運行 ※6 平日の正午～午後1時までの1時間は運転手の休息のため運休とする
運行車両	<ul style="list-style-type: none"> 函館バス株式会社 ワンボックス車両(乗車定員11人未満) 1台 有限会社桧山ハイヤー ジャンボハイヤー(函館300あ219・定員10人・自社所有) 1台 ※7 ワンボックス車両についてはレンタル車両(白ナンバー)による対応とし、本協議会による協議が整い次第、契約手続きを進める ※8 故障等が生じた場合の予備車両については運行事業者が所有する車両等で対応予定 ※9 新型コロナウイルス感染症の影響による車内空間の密を少しでも避けるため、運送期間中の乗車定員は6名とする ※10 車両の区別のため、運行車両には専用のマグネットシートを貼り付けるものとする <p style="text-align: right;">(貼付イメージ)</p> 

運転者及び 運行管理・整備 管理の責任者	運行事業者（ 函館バス株式会社・有限会社松山ハイヤー ）
配車予約	<ul style="list-style-type: none"> ・電話番号・自宅住所・EZOCA 番号などの事前登録者が利用可能で、スマホアプリ、電話または一部乗降地点に設置予定のタブレット端末からの予約が可能 ・スマホアプリはLINE(江差町公式アカウント)を活用することとし、乗車日の1週間前からの予約受付とする ・電話予約については「①オペレーターによる電話予約を函館バス株式会社に業務委託」し、「②運休・運行時間外の応答を自動音声電話」による対応とする ・株式会社未来シェアが開発したAI配車予約システム「SAVS」による配車予約の管理を行い、株式会社駅探が開発するLINEなどの予約ツールと連動する仕組み ※11 スマホアプリ（LINE）や自動音声電話による事前予約について、10月～11月実施の実証実験では最短予約可能時間を10分前までとしていたが、本実証運行では運行区域の拡大や冬期運行であることを考慮し15分前までとする ※12 函館バス株式会社がオペレーターを担う電話予約について、乗車日の前日のみの予約受付とし、また、利用者に対しては営業所での通常の問い合わせ対応の兼ね合いから時間帯に応じて電話が集中する可能性があることを予め周知するなどし、スマホアプリ（LINE）や自動音声電話の積極的な利用を促すこととする
旅客から収受 する対価 （運賃）	<ul style="list-style-type: none"> ・北部、南部ともに、大人(小学生以上)1人あたり500円(現金のみ)の1日フリー乗車料金を適用する ・小学校就学前の未就学児については無料とする ※13 乗客からの利用料金（500円/人・日）支払いを確認次第、当日の日付が記入された乗車チケットを手渡し、2回目以降(当日限り)の乗車時に運転手に掲示する仕組み ※14 乗車トラブルを避けるため、運転手は「料金の支払い確認・乗車チケットの配付・乗車チケットの日付確認」を徹底する
周知方法	実証運行の内容について、多くの住民に認知、利用してもらうため、広報誌（チラシ配布含む）、町ホームページ、住民説明会及び新聞等で周知を行う

2. 乗降地点(南部)

拠点 番号	拠点名称	カテゴリー						地区名
		行政	金融	買物	通院	交通	娯楽	
01	自宅（運送区域内）							
02	愛宕町バス停（下り）					●		愛宕町
03	愛宕町バス停（上り）					●		
04	道南勤医協江差診療所				●			中歌町
05	江差町役場	●						
06	北洋銀行江差支店		●					
07	江差町会所会館	●						姥神町
08	開陽丸青少年センター			●				
09	医療法人社団恵愛会佐々木病院				●			
10	江差郵便局		●					上野町
11	江差警察署前（対鷗館）	●						
12	レディスショップたじま			●				本町
13	法華寺通り商店街・寄来所						●	
14	道南うみ街信用金庫本店		●					橋本町
15	ラルズマート江差店			●				
16	江差港フェリーターミナル					●		—

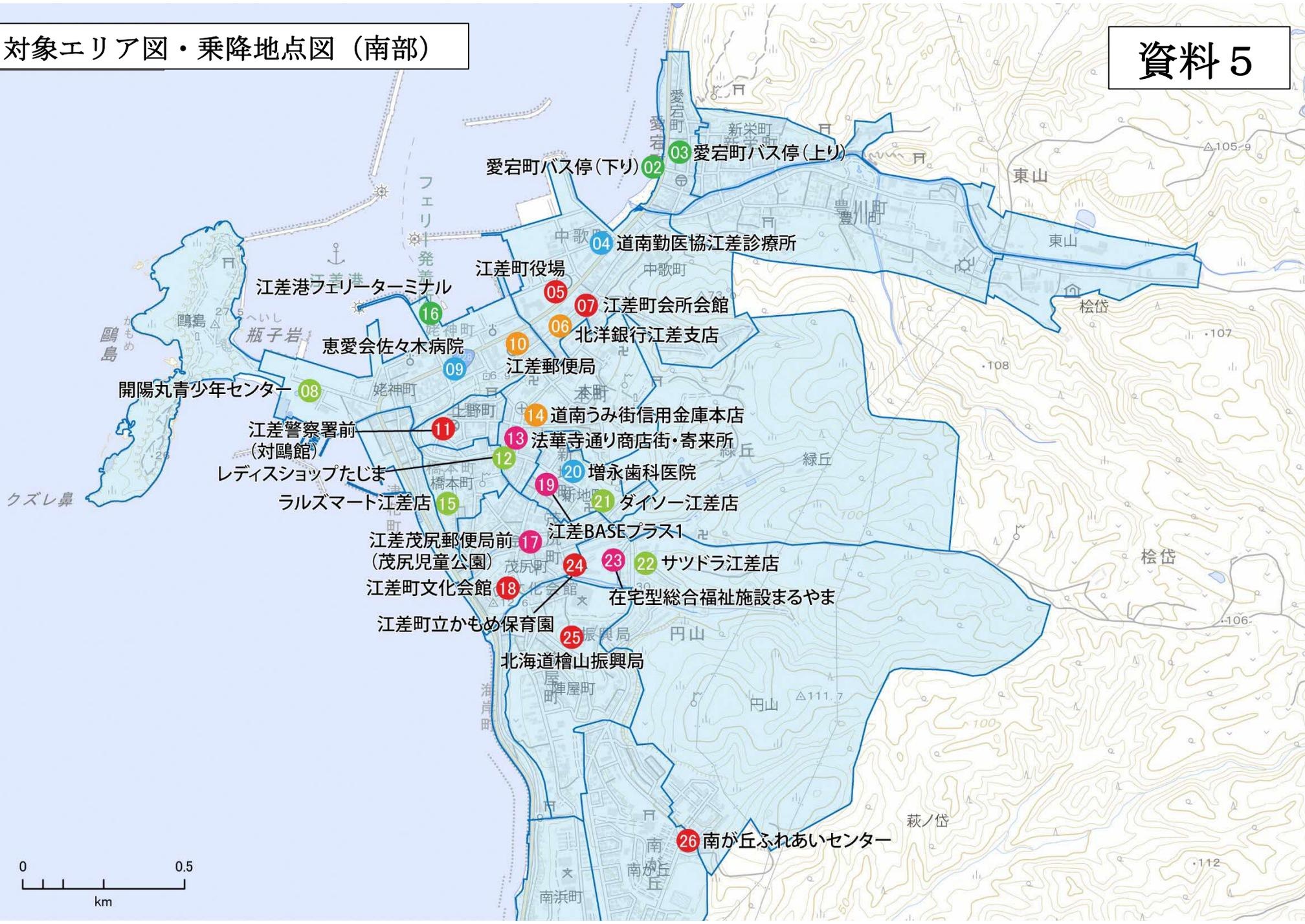
拠点番号	拠点名称	カテゴリー						地区名
		行政	金融	買物	通院	交通	娯楽	
17	江差茂尻郵便局前（茂尻児童公園）		●					茂尻町
18	江差町文化会館						●	
19	江差BASEプラス1						●	新地町
20	増永歯科医院				●			
21	ダイソー江差店			●				
22	サツドラ江差店			●				円山
23	在宅型総合福祉施設まるやま						●	
24	江差町立かもめ保育園	●						
25	北海道檜山振興局	●						陣屋町
26	南が丘ふれあいセンター						●	南が丘
27	江差ターミナル（函館バス江差営業所）					●		砂川

3. 乗降地点(北部)

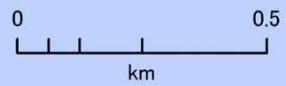
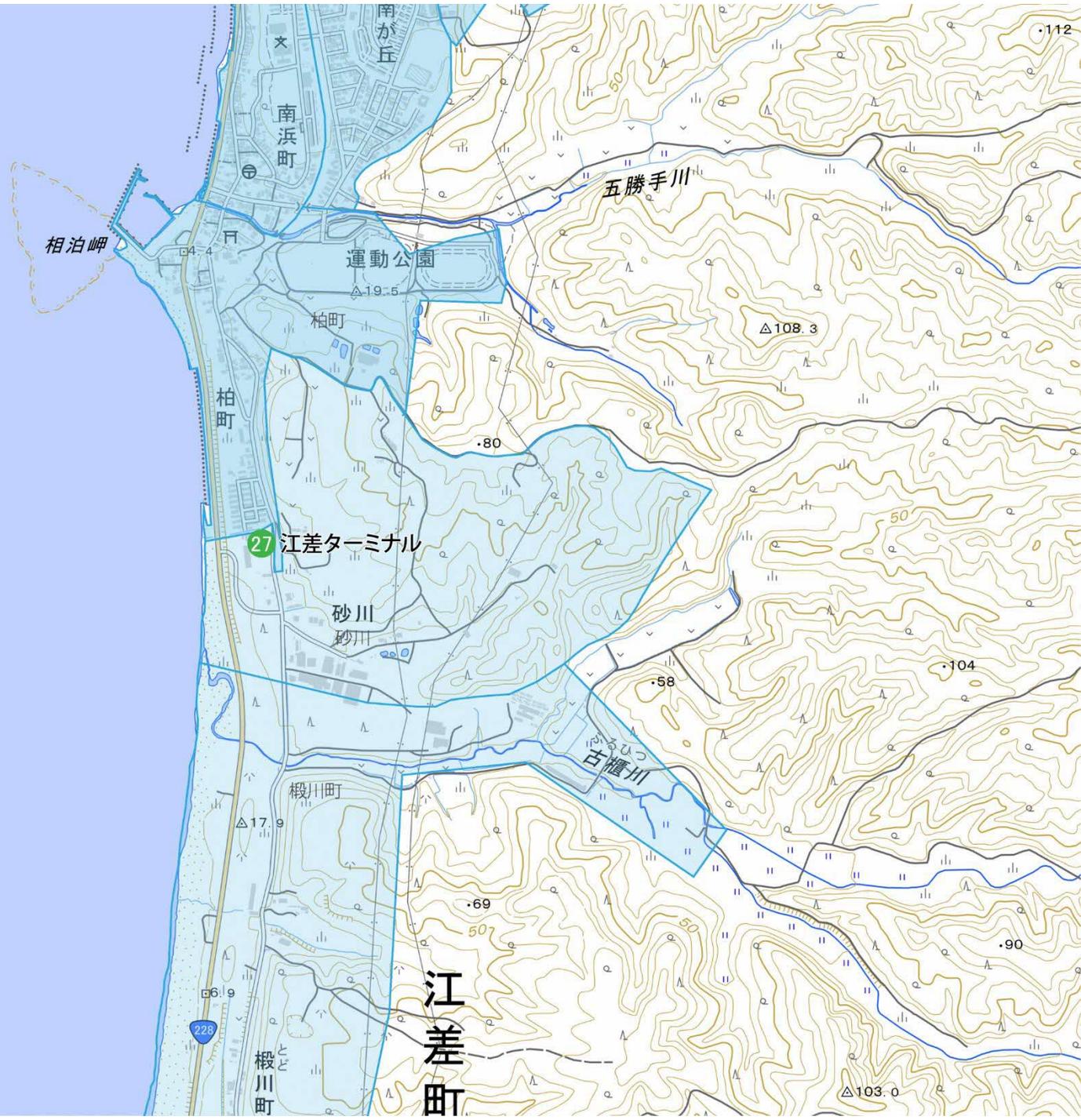
拠点番号	拠点名称	カテゴリー						地区名
		行政	金融	買物	通院	交通	娯楽	
01	自宅							
28	小黒部簡易郵便局		●					小黒部町
29	J A新はこだて農業協同組合江差支店		●					水堀町
30	江差町コミュニティセンター水堀会館						●	
31	江差町立水堀保育園	●						
32	江差水堀郵便局		●					
33	水堀バス停（下り）					●		
34	水堀バス停（上り）					●		
35	サツドラ江差柳崎店			●				柳崎町
36	ローソン江差柳崎店			●				伏木戸町
37	イエローグローブ江差店			●				
38	フードセンターブンテン江差店			●				
39	北海道立江差病院				●			尾山町
40	江差町立日明保育園	●						
41	江差尾山郵便局		●					
42	尾山町バス停（下り）					●		
43	尾山町バス停（上り）					●		

4. 実証運行開始までのスケジュール

- ◆10月17日（月） 令和4年度第2回江差町地域公共交通活性化協議会（本日）
- ◆10月下旬～ 函館運輸支局への道路運送法に係る手続き
- ◆11月 1日（火） 広報えさし11月号掲載 **※本実証運行に関する概要等を掲載**
- ◆11月上旬～中旬 乗降地点に指定する各施設の管理者との協議 **※停留所の設置予定はなし**
- ◆11月中旬～下旬 町内（北部を中心）での住民説明会の実施
- ◆11月中旬～下旬 各運行事業者との運行体制に係る最終調整
- ◆12月 1日（木） 広報えさし12月号掲載 **※折込チラシ配布予定**
- ◆12月 6日（火）～10日（土） 試乗運行（無料）期間
- ◆12月13日（火） 運行（有料）開始予定



【南部】



乗降地点

01 自宅

愛宕町

02 愛宕町バス停(下り)

03 愛宕町バス停(上り)

中歌町

04 道南勤医協江差診療所

05 江差町役場

06 北洋銀行江差支店

07 江差町会会館

姥神町

08 開陽丸青少年センター

09 医療法人社団恵愛会佐々木病院

10 江差郵便局

上野町

11 江差警察署前(対鷗館)

本町

12 レディスショップたじま

13 法華寺通り商店街・寄来所

14 道南うみ街信用金庫本店

橋本町

15 ラルズマート江差店

—

16 江差港フェリーターミナル

茂尻町

17 江差茂尻郵便局前(茂尻児童公園)

18 江差町文化会館

新地町

19 江差BASEプラス1

20 増永歯科医院

21 ダイソー江差店

円山

22 サツドラ江差店

23 在宅型総合福祉施設まるやま

24 江差町立かもめ保育園

陣屋町

25 北海道檜山振興局

南が丘

26 南が丘ふれあいセンター

砂川

27 江差ターミナル

【北部】



乗降地点

01 自宅

小黒部町

28 小黒部簡易郵便局

水堀町

29 JA新はこだて農業共同組合江差支店

30 江差町コミュニティセンター水堀会館

31 江差町立水堀保育園

32 江差水堀郵便局

33 水堀バス停(下り)

34 水堀バス停(上り)

柳崎町

35 サツドラ江差柳崎店

36 ローソン江差柳崎店

伏木戸町

37 イエローグローブ江差店

38 フードセンターブンテン江差店

伏木戸町

39 北海道立江差病院

尾山町

40 江差町立日明保育園

41 江差尾山郵便局

42 尾山町バス亭(下り)

43 尾山町バス亭(上り)

北海道運輸局 運輸支局長 殿

地域公共交通会議等において協議が調ったことを証する書類(案)

申請のあった自家用有償旅客運送については、下記のとおり地域公共交通会議等において、一般旅客自動車運送事業者によることが困難であり、かつ、地域住民等の旅客輸送を確保するために必要であるとの協議が調ったので、その旨証明します。

記

1. 自家用有償旅客運送の種別

交通空白地有償運送 ・ 福祉有償運送

2. 地域公共交通会議等の名称及び対象市町村

(名称) 江差町地域公共交通活性化協議会

(対象市町村) 江差町

3. 地域公共交通会議等にて協議が調った年月日

令和4年 月 日

4. 運送主体の名称、住所、代表者の氏名

運送主体: 江差町

住所: 北海道檜山郡江差町字中歌町193-1

代表者氏名: 江差町長 照井 誉之介

5. 調った協議の内容

(1) 路線又は運送の区域

江差マース(オンデマンド型交通)

⇒ 町内の北部(五厘沢町、鹹川町、朝日町、小黒部町、中網町、越前町、水堀町、柳崎町、伏木戸町、田沢町、尾山町、泊町、大潤町)及び南部(愛宕町、新栄町、豊川町、東山、桧岱、中歌町、姥神町、上野町、本町、橋本町、鷗島、津花町、茂尻町、新地町、緑丘、円山、陣屋町、海岸町、南が丘、萩の岱、南浜町、柏町、砂川、楸川町)それぞれの区域内にて自宅及び商業施設等の乗降地点において配車予約のあった乗降地点間のみを最短距離で運行する区域運行方式。

(2) 旅客から収受する対価(対価の内容を添付すること)

1日フリー乗車制で大人(小学生以上)1人あたり500円とする。

⇒ 当日限り有効の乗車チケットを利用者に配付

小学校就学前の乳幼児は無料とする。

(3) 運送しようとする旅客の範囲

町内に居住する住民及び町外からの訪問者(事前登録方式)

6. その他特記事項

令和4年 月 日

江差町地域公共交通活性化協議会

会長 田畑 明

江差町地域公共交通活性化協議会分科会(専門部会)における協議事項

1. 乗降地点

資料4・資料5のとおり

⇒ 「北部地域の道立江差病院」について、既存のバス路線等への影響を考慮し、専門部会では
①乗車専用 or ②乗車と降車両方とするか議論

【江差町整理】

「乗車専用地点」ではなく、他と同じく「乗降地点」とする

【考え方】

- ◆既存のバス路線へ乗車しないという路線への影響は、運行ダイヤ等を考慮すると薄い。
<ダイヤの状況>
 - 水堀から道立病院までのバス（午前） 7:54 発、7:57 発、9:59 発、11:12 発
 - 小黒部から道立病院までのバス（午前） 7:45 発
- ◆本実証実験の結果を踏まえ、既存のバス路線への影響が大きいと判断される場合には、本格運行時における「乗車専用地点」とすることへの検討を行う。

2. 運賃設定

①都度運賃（1回あたり300円～500円前後） or ②1日フリー乗車料金（500円～1,000円）
or ③2週間～1カ月程度の長期間による回数券の事前販売などを想定
⇒ 専門部会では、北部と南部それぞれでの設定とするか、一律での設定とするか議論

【江差町整理】

北部・南部とも一律で1日フリー乗車料金500円で設定

【考え方】

- ◆あくまでも実証実験に限った料金設定とし、本実証実験の利用状況や終了後に実施予定の住民アンケートの結果を踏まえながら、フリー乗車料金以外の片道運賃、距離制運賃、定期料金（1カ月定期など）など本格運行時の運賃設定について協議していく。
- ◆まずは本実証実験を通して積極的な利用を促すことを主眼に置き、また、複数地点の乗り継ぎを促すことから、1日フリー乗車料金による設定とする。
<南部の例>
 - ・役場から檜山振興局まで：1.5km / 役場から函館バス江差営業所まで：3.9km / 老人福祉センターからラルズマート：1.8km<北部の例～全て道立江差病院への距離>
 - ・尾山郵便局2.4km / 柳崎児童館1.2km / 北小学校2.6km / 小黒部簡易郵便局6.1km / 朝日児童館6.6km / 鰯川寿の家6.4km

3. 配車予約

専門部会では、オペレーターによる電話予約導入の必要性について協議

【江差町整理】

電話でのオペレーションも行うこととする。

ただし、LINEや音声電話予約にインセンティブを持たせる。

【考え方】

- ◆電話でのオペレーション予約は前日に限り、当日は受け付けない。
- ◆当日受付の場合、函館バス株式会社での通常業務に支障が出る可能性が懸念されるため。
- ◆あくまでも、LINEや自動音声電話による予約の積極的な活用を促すこととし、自動音声電話については運行時間外での対応で調整していく。